第一章 林業

● 森林法施行規程

明治四十一年四月二十一日
縣令第二十八號

森林法施行規程左ノ通之ヲ定ム。

第一章 森林ノ監督

第一條 森林又ハ森林ノ管理ヲ公共團體又ハ社寺ノ所有ニ屬スル森林ニ於テ樹種ノ改良又ハ森林ノ現狀ニ著シキ變更ヲ爲サントスルトキハ森林法第二十五條ノ規定ニ依リ知事ノ認可ヲ受クヘシ

但シ樹高一間以上ノ立木竹地ニ於テ樹種ノ改良ヲ爲サントスルトキ又ハ樹高一間以上ノ立木竹地ニ於テ伐採ヲ爲サントスルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二條 森林又ハ森林ノ管理ヲ公共團體又ハ社寺ニ委託セントスルトキハ森林法第二十五條ノ規定ニ依リ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第三條 公共團體又ハ社寺カ他人ノ所有ニ屬スル森林又ハ森林ノ管理ヲ受託シタルトキハ其ノ旨ヲ知事ニ屆出ツヘシ

第四條 森林ノ管理ヲ受託シタル公共團體又ハ社寺ハ森林ノ現狀ニ著シキ變更ヲ爲サントスルトキハ森林法第二十五條ノ規定ニ依リ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第五條 森林ノ管理ヲ受託シタル公共團體又ハ社寺ハ森林ノ現狀ニ著シキ變更ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ知事ニ屆出ツヘシ

第六條 森林ノ管理ヲ受託シタル公共團體又ハ社寺ハ森林ノ現狀ニ著シキ變更ヲ爲サントスルトキ又ハ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ知事ニ屆出ツヘシ

第七條 削除

第二章 森林ノ監督

第一節 森林ノ保護

第八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル設備ヲ爲スヘシ

第九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第二十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第二十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第二十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第二十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第二十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第三十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第三十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第三十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第三十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第三十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第三十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第三十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第三十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第三十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第四十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第四十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第四十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第四十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第四十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第四十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第四十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第四十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第四十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第五十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第五十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第五十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第五十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第五十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第五十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第五十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第五十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第五十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第五十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第六十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第六十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第六十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第六十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第六十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第六十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第六十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第六十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第六十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第七十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第七十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第七十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第七十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第七十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第七十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第七十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第七十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第七十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第七十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第八十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第八十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第八十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第八十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第八十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第八十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第八十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第八十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第八十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第八十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第九十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第九十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第九十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第九十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第九十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第九十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第九十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第九十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第九十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第九十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百二十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百二十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百二十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百二十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百二十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百二十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百二十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百二十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百二十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百二十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百三十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百三十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百三十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百三十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百三十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百三十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百三十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百三十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百三十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百三十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百四十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百四十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百四十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百四十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百四十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百四十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百四十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百四十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百四十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百四十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百五十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百五十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百五十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百五十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百五十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百五十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百五十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百五十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百五十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百五十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百六十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百六十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百六十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百六十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百六十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百六十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百六十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百六十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百六十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百六十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百七十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百七十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百七十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百七十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百七十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百七十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百七十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百七十七條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百七十八條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百七十九條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百八十條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百八十一條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百八十二條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百八十三條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百八十四條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百八十五條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受ケタル場所ニ此ノ限ニ在ラス

第百八十六條 森林ノ所有者又ハ森林ノ管理ヲ受託シタル者ハ森林ノ保護ニ關シ必要ナル命令ヲ受

ムルトキハ二筆以上ヲ併合シ一施業ヲ爲スコトヲ得

第十條　保安林一箇年間ノ研伐面積ハ輪伐齢ヲ以テ立木竹地全面積ヲ除シタル商以内トシ隔年作業ニ在リテハ其ノ商ニ隔年ノ年數ヲ乘シタル積ヨリ大ナルコトヲ得ス但シ擇伐法ニ依ル研伐區域ハ研伐面積ノ三倍以上トス

第十一條　保安林ニ於ケル輪伐齢ハ左ノ標準ニ依ルヘシ

一　矮林ハ　十年以上
二　喬林ハ　三十年以上
三　竹林ハ　三年以上
四　中林ノ上木ハ　三十年以上下木ハ十年以上

第十二條　保育ノ爲ニ爲ス研伐又ハ枯木竹、損木竹、危險木竹若ハ障碍木竹ノ研伐ヲ爲サムトスル場合ニ於テ特ニ知事ノ許可ヲ得タルトキハ立木竹伐採ノ禁止又ハ施業方法ノ指定ニ拘ラス之ヲ行フコトヲ得

第十三條　森林法第二十條但書又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル切芝ノ採取ハ幅一尺以内ノ水平線狀トシ其ノ間隔ハ二尺以上ヲ保タシムヘシ

第十四條　無立木竹地又ハ荒廢地タル保安林ニシテ森林法ノ規定ニ依リ未タ施業要領ノ通達ヲ受ケサル土地ニ對シテハ第一條ノ規定ヲ準用ス

第三章　土地ノ使用及收用

第十五條　森林法第六十一條ニ依リ他人ノ土地ニ立入リ目標ヲ設置シ又ハ支障木竹研伐ノ許可ヲ得ムトスルトキハ第三號樣式ニ依リ知事ニ申請スヘシ

第十六條　知事ニ於テ森林又ハ森林ノ事業ニ關シ實地調書ノ必要ニ依リ他人ノ土地ニ立入リ測量ヲ爲シ又ハ支障木竹ヲ研伐セムトスルトキ若ハ土地所有者又ハ森林所有者ノ立會ヲ要スルトキハ所轄市町村長ニ通知ス市町村長ハ直ニ其ノ旨ヲ關係者ニ通知スヘシ
前項立會ノ通知ヲ受ケタル關係者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第四章　森林組合

第十七條　森林組合ニ於テハ左ノ區分ニ依リ遲滯ナク之ヲ知事ニ届出ツヘシ

一　歳入出豫算ハ其年度前
二　歳入出決算竝年度内事業成績ハ其ノ年度後一箇月以内
三　總會及總代會ハ議案ヲ添付シ開會ノ日ヨリ少ナクトモ五日以前其ノ決議事項ハ閉會後五日以内
四　役員會ノ決議事項ハ閉會後五日以内

第十八條　森林組合ノ理事、監事ノ選任報告ニハ其選任カ森林組合令第十七條第四項ニ牴觸セサルコト清算人ノ選任届出ニハ其清算人カ未成年者、禁治産者、準禁治産者、剝奪公權者、停止公權者、裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人又ハ破産者ニアラサルコトノ市町村長ノ證明書ヲ添付スヘシ

第十八條ノ一　森林法第七十條ニ依リ組合ノ承諾ヲ得ヘキ行爲ニシテ知事ノ許可ヲ要スルモノナルトキハ其ノ申請書ニ組合ノ承諾書ヲ添付スヘシ

第五章　森林警察

第十九條　森林法第七十八條第一項ニ依ル火入ハ左ノ場合ニ限ルモノトス

一　土地開墾ノ爲必要ナルトキ
二　造林地掃ノ爲必要ナルトキ
　但シ天然更新ニ依ル造林地掃ニ付テハ此限ニ在ラス
三　害蟲驅除ノ爲必要ナルトキ

第十九條ノ一　警察官吏ノ許可ヲ受クヘキ火入願ハ第四號樣式ニ依リ所轄警察官署ニ申請スヘシ
　但シ第二十五條ニ依ル開墾ノ爲火入ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ開墾許可書ノ謄本ヲ添付スヘシ

第二十條　前條ノ火入ハ夜間若ハ風勢穩カナラサル日ニ行フコトヲ得ス

第二十條ノ一　火入區域ノ周圍ニハ適當ノ防火線ヲ設ケ落葉、下草其他一切ノ燃燒物ヲ除去シ他ニ延燒ノ虞ナカラシムヘシ
　火入者ハ區域ノ廣狹ニ依リ相當人夫ヲ配置シ臨時消防ニ差支ナキ樣注意スヘシ

第二十一條　森林害蟲發生シ若ハ蔓延ノ虞アルコトヲ認メタルトキハ所轄市町村長ニ急報スヘシ
　町村長前項ノ急報ヲ受ケ若ハ自ラ認メタルトキハ森林所有者ヲシテ直ニ驅除豫防ヲ行ハシメ之ヲ郡長及警察官吏ニ急報スヘシ

第二十二條　郡市長又ハ警察官吏前條ノ報告ヲ受ケ又ハ自ラ認メタルトキハ所轄市町村長ニ急報スヘシ
　郡市長ハ前項ノ場合ニ於テ其ノ害蟲ノ種類竝被害ノ狀況等ヲ知事ニ急報スヘシ

第二十三條　蟲類以外ノ動物又ハ黴菌ノ爲森林ノ被害ヲ認メタルトキハ所轄市町村長ニ急報シ町村長ハ郡長ニ郡市長ハ其ノ狀況ヲ知事ニ急報スヘシ

第二十四條　害蟲ノ驅除豫防ヲ行ヒタルトキハ第五號樣式ニ依リ驅除豫防終了後速ニ町村長ハ郡長ニ郡市長ハ知事ニ報告スヘシ

第六章　森林開墾

第二十五條　森林法第三十二條ニ依ル開墾制限地ニ於テ開墾ヲ爲サムトスルトキハ第二號樣式ニ準シ施業二箇月以前知事ニ申請スヘシ

第二十六條　前條ノ開墾ニシテ地租條例ノ開墾、地目變換若ハ地類變換ニ該當スルモノ又ハ有租地カ免租地トナルヘキモノハ土地臺帳謄本ヲ添付スヘシ

第七章　罰則

第二十七條　第十三條第二十條ノ規定ニ違背シタル者ハ三十日未滿ノ拘留又ハ貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス

第八章　附則

第二十八條　森林法及森林法施行規則若ハ本則ニ依リ知事ニ提出スル書面ハ所轄郡市町村長ヲ經由スヘシ

第二十九條　民有山林保護組合準則ニ依リ設立セシ民有山林保護組合ハ明治四十二年六月三十日迄ニ森林法及同法ニ基ク命令ノ規定ニ依リ森林組合ニ組織變更ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十條　左記各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲サムトスル場合ニ於テ其ノ地區又ハ用地カ森林又ハ森林トシテ管理スヘキ土地ナルトキハ第二號樣式ノ三ノ開墾調書ヲ添付スヘシ此ノ場合ニ於テハ本規程ニ基キ森林開墾ノ申請ヲ爲シタルモノト看做ス
一　耕地整理法ニ依リ耕地整理組合設立又ハ整理施行地區變更ノ認可ヲ受ケムトスルトキ
一　土木起工規則ニ依リ許可ヲ受ケムトスルトキ
一　墓地及埋葬取締細則ニ依リ墓地竝火葬場ノ新設又ハ取擴ノ許可ヲ受ケムトスルトキ

第三十條ノ一　第七條又ハ第二十五條ニ依リ作業ノ許可ヲ受ケタル者其ノ作業中ハ實地ニ許可年月日、指令番號、字名、地番、許可面積、作業期限及土地所有者竝作業人ノ住所氏名ヲ明記シタル標札ヲ建設スヘシ

第三十一條　本令ハ明治四十一年五月一日ヨリ施行ス

第三十二條　明治三十一年滋賀縣令第五十三號ハ明治四十二年六月三十日限明治三十一年滋賀縣令第六十二號明治三十四年滋賀縣令第四十三號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十三條　明治四十四年八月三十一日迄ニ第五條第二項ニ該當スル事實

ヲ生シタル森林又ハ土地ニ對シテハ其申請若クハ屆出期間ヲ明治四十四年十月三十日迄トス

第一號樣式

營林計劃認可申請書

別紙之通營林致度候間御認可相成度關係書類添付此段申請候也

年　月　日

何（氏子、檀徒又ハ信徒總代）　某印
何　某印
何　某印
何　某印

何郡（市）何町（村）長（何神社神職又ハ何寺住職）

知事宛

（公共團體ヨリ申請スルモノニ限リ關係議會ノ決議錄謄本交付スルヲ要ス）

施業方法書

郡（市）町（村）大字	字	地番	地目	林種（禿赭地無立木竹地林種改良地ノ別）	全面積　臺帳面積	全面積　實測又ハ見込	植栽年度	施業面積	樹種	植栽數　一町歩當リ	植栽數　總數	備考
計												

附錄

一　土地所有者　、、、、、、、

二　林地現在ノ狀況　、、、、、、、

三　樹苗需用ノ方法　、、、、、、、

四　防火線設備ノ方法　、、、、、、、

注意

一　林種欄ニハ普通林保安林ノ別ヲ記入スヘシ尙砂防指定地ナルトキハ砂防ノ二字ヲ朱記スヘシ

二　植栽年度トハ其年四月一日ヨリ翌年三月末日迄ヲ云フ

三　林地現在ノ狀況ハ現在ノ地況及林況ヲ記入スヘシ

四　樹苗需用ノ方法ハ縣ヨリ交付ヲ受ケ植栽ニ供スルモノナルカ又ハ自費ヲ以テ購求シ植栽スルモノナルカ等ヲ區分ノ上記入スヘシ

五　防火線設備ノ方法ハ危險ノ虞アル箇所ニハ幅何間ノ防火線ヲ設備ス云々又實地ノ狀況之ヲ特設スルノ必要ナキトキハ其ノ旨記入スヘシ

〔滋賀令〕

營林費額調書

年度	地拵費	苗木費　新植	苗木費　補植	植付費　新植	植付費　補植	手入刈費	其ノ他費用	計
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
計								

注意

一　地拵費欄ニハ植栽前ニ於テ林地ヲ整齊スル費用ヲ記入スヘシ

二　手入刈費欄ニハ植栽後苗木ノ育成ヲ圖ル爲雜草木ヲ刈除スル費用ヲ記入スヘシ

三　其ノ他費用欄ニハ上ニ記載セルモノヽ外要スヘキ費用ヲ記入スヘシ

四　樹苗ニシテ縣ヨリ交付ヲ受クルモノナルトキハ其旨備考ニ記載スルヲ要ス

五　地拵植付手入刈等ニシテ夫役賦課ニ係ルモノハ金額ニ換算シテ記入シ尙其旨備考ニ記載スヘシ

〔滋賀令〕

・保護取締方法

（一）營林上必要ノ爲特ニ擔任者ヲ定メタル場合ハ其ノ擔任者ノ氏名又ハ團體ノ名稱及其ノ權限等ヲ記載スヘシ

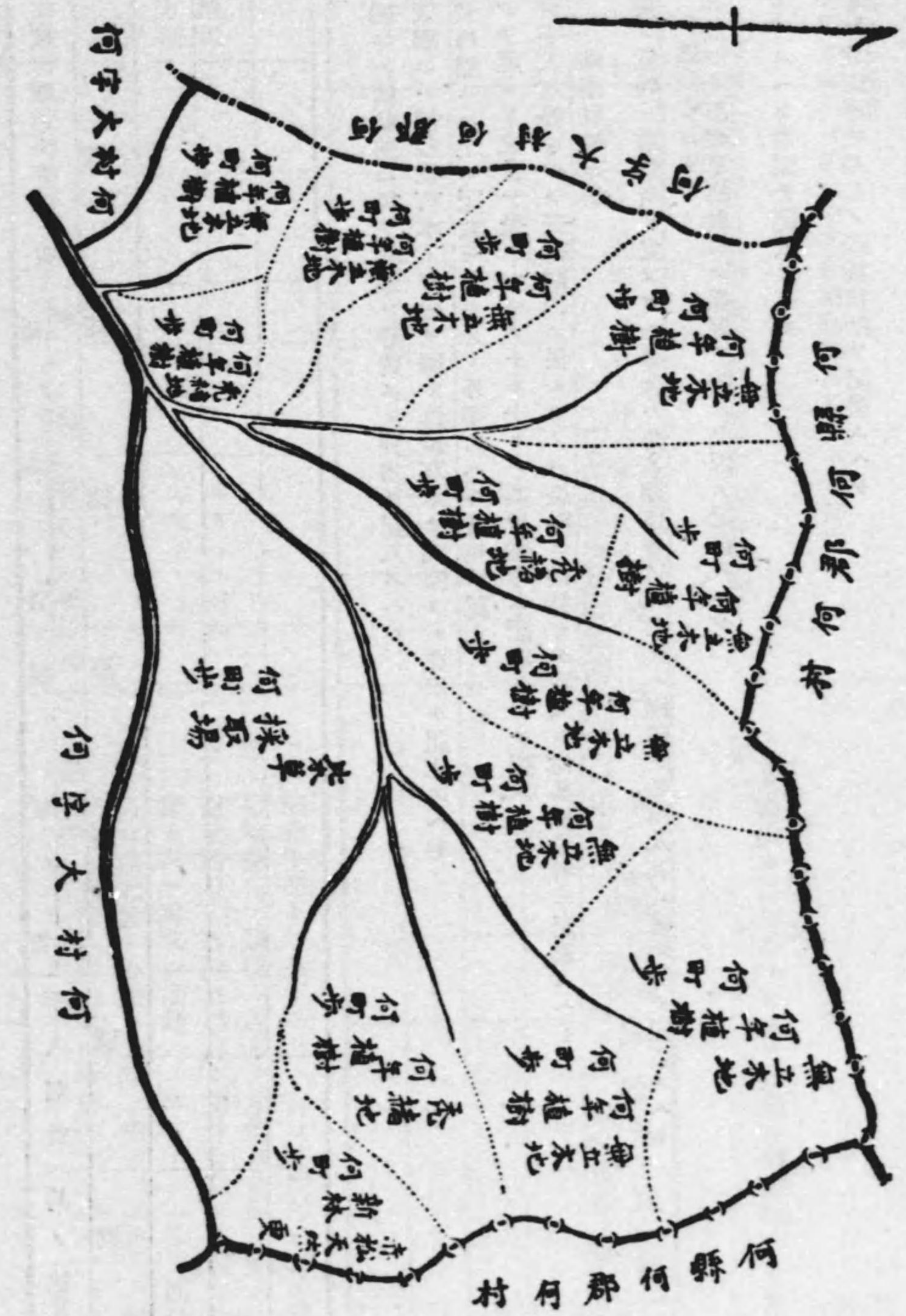
（二）施業地内ニ於テ土石柴草樹根等ノ採掘ヲ許スヤ否ヲ記載スヘシ

（三）手入刈ヲ施行スヘキ期間ヲ記載スヘシ

（四）間伐ノ開始年度時季伐期迄ノ回數程度ヲ記載スヘシ

（五）伐木ニ關シテハ輪伐齡ヲ喬林、矮林、又ハ中林若ハ竹林ニ區別調査シ記載スヘシ

注意　一　圖中ニ地番二筆以上ヲ有スル場合ハ其ノ地番界ヲ明瞭ニ記入スヘ



何郡(市)何町(村)大字何字何番何番(外何十筆)

〔滋賀令〕

〔滋賀令〕

第二號様式ノ一　(調書)

木竹伐採作業調書

森林所在	郡(市)町(村)大字字地番地目二筆以上ニ渉ルトキハ列記スヘシ
林種別	保安林、普通林ノ別及砂防指定地ノ關係ヲ記載スヘシ
全面積	何町何段歩二筆以上ニ渉ルトキハ合計ヲ掲ケ内何番何程何番何程ト區分ヲ記載スヘシ
立木竹地面積	前欄ニ同シ
伐採面積	前欄ニ同シ
伐採區域	何段何畝歩
作業種別	皆伐、擇伐、保育伐、危險木(竹)伐採、障害木(竹)伐採、損木(竹)伐採、枯木(竹)伐採ノ別ヲ記入スヘシ
作業年別	連年作業又ハ何箇年隔年作業ノ別ヲ記入スヘシ
樹竹種	扁柏何分、杉何分、雜木何分等ノ別ヲ記入スヘシ
樹竹齢	松何年、扁柏何年、杉何年乃至何年、雜木何年乃至何年ノ別ヲ記入スヘシ
輪伐齢	松何年、扁柏何年、杉何年ノ別ヲ記入スヘシ
疎密	疎、密、中庸ノ別ヲ記入スヘシ
伐採數量	松何本、杉何本、雜木何棚(何束)等ノ別ヲ記入スヘシ
伐採跡地ノ整理	伐採跡地ハ一坪ニ付杉苗何本宛ヲ植栽ス、萌芽ヲ養成ス天然下種ニ依リ松ヲ仕立ツ等ノ別ヲ記入スヘシ
作業人	住所氏名

注意

一　保育伐ニハ伐採區域、作業年別、輪伐齢、代採跡地整理ノ四欄記入ヲ要セス

二　危險木竹、障碍木竹、損木竹、枯木竹ノ伐採ニハ伐採區域、作業年別、樹竹齢、輪伐齢、疎密ノ五欄記入ヲ要セス

第二號様式ノ二　(調書)

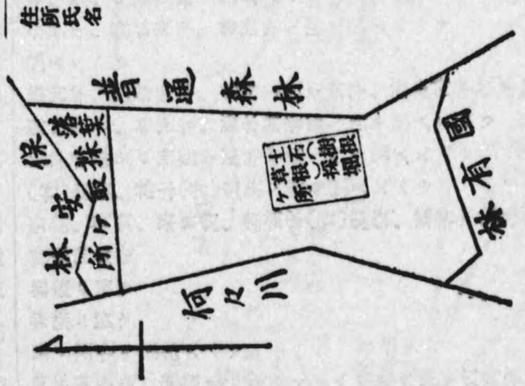
陶土(何々)採取作業調書

森林所在	第二號様式ノ一ニ同シ
林種別	同上
全面積	同上
作業面積	第二號様式ノ一ノ伐採面積欄ニ同シ
傾斜及方位	
樹竹種	杉、松、雜木混淆、雜木、苦竹
樹齢	何年、何年乃至何年
採取物數量	陶土何立坪、石灰石何立坪、築石何才、轉石何個、切芝何坪、松根株何個、薯蕷何貫匁、埋木何個、落葉何貫匁、落枝何束、

第二號樣式ノ三

森林開墾申請

一　何郡（市）町（村）大字何字何第何番地目何
　　森林面積　何段何畝何歩



作業人	法地	方法	植栽	植栽ノ年月日	開墾期限
住所氏名	整理	工事	植栽本数		
何某	何々ノ地拵	小柴何束、下草何束、檜皮剝取何束、松脂採取何貫匁、薪炭採			
何某	砂防工事	取何貫匁、枝打杉何本			
何某	何ノ地拵	（必要ナシ）採取地ノ（西南方何間ノ處）（下方何間谷幅ノ狹ヶ			
何某	何ノ地拵	ル處）ニ高何尺長何間、馬路何尺、何割勾配ノ（石堆埭）（土堆埭）			
何某	何ノ地拵	（何個）何年何月迄ニ築設シ肩出ヶル上作業ニ著手ス			
何某	何ノ地拵	伐採ヲ受ケテ作業ニ著手シ作業終了ノ年月日迄ニ跡地整理同時ニ標苗			
何某	何ノ地拵	等ノ如ク記載スヘシ			

第二號樣式ノ四

森林內容書放牧申請

四　本規程第三十條ノ場合ニ在リテハ關書ノ末尾ニ土地所有者記名調印スヘシ	利ノ區分ヲ記載スヘシ	三　聲ノ頂權利者ヨリ申請スル場合ニ在リテハ申請人ノ關書ハ其ノ權利ノ範圍ヲ明ニシ且ツ其ノ權利ノ設定ヲ證スヘキ書類ヲ添付スヘシ	二　土地ノ權利ノ使用收益ニ關係スル一切ノ權利ヲ謂フ	一　地租條例ニ關係スルトキ竝本規程第三十條ニ該當スル場合ニ在リテハ採取物數量關以下記入ヲ要セス

備考	放牧ノ頭數	疎林	樹種	土壤	面積	放牧地全面積	有地無保安林ノ	砂防指定地	地所在
周圍ノ境	何十頭	何年	何何樹種以上ヲ混交又ハ何年ノ樹齢ヲ以テ何方ニ傾ク	礫質壤土又ハ壤質砂土、粘土等ノ別	何町歩	何町歩	土砂扞止保安林（水源涵養保安）	（砂防指定地）ニアラス	何郡（市）町（村）大字何字何第何番地目（山林）（原野）（雜種地）

垣（柵、土壘、石垣）ヲ築設ス

（内閣ノ場合ニハ左ノ如ク記載スヘシ）

内閣

何段何畝歩

右森林（今般）別紙調書ノ通リ開墾致度ニ付御許可相成度圖面添附此段申請候也

年　月　日

住所

土地所有者何　某㊞

知事宛

開墾調書（本調書ニ調書裏ノ地番ヲ要スル場合ニ限リ之ヲ調製スルモノトス）

所在地	森林ノ種類	有地無保安林ノ	砂防指定地	全面積	土壤	樹種	樹齢	疎密	本數	伐採ノ方法	伐採ノ年月日	伐採ノ後植栽ヲ要スル年月日	植栽本數	植栽ノ方法	植栽ノ年月日	備考
何郡（市）町（村）大字何字何第何番地目（山林）（原野）（雜種地）	（保安林）（普通林）	（砂防指定地）ニアラス	何町何段何畝何歩	何町歩	何	何	何	何	何	何	何年何月何日	何年何月何日	何	何	何年何月何日	

（何々）

（續）

備考	放牧ノ頭數	疎林	樹種	土壤	面積	放牧地全面積	有地無保安林ノ	砂防指定地	地所在
周圍ノ境	何十頭	何年	何何樹種以上ヲ混交又ハ何年樹齢ヲ以テ何方ニ傾ク	礫質壤土又ハ壤質砂土、粘土等ノ別	何町歩	何町歩	土砂扞止保安林（水源涵養保安）	（砂防指定地）ニアラス	何郡（市）町（村）大字何字何第何番地目

垣（柵、土壘、石垣）ヲ築設ス

今般牛（何何）放牧致度候間何年何月迄何ヶ月間御許可相成度別紙圖面添附此段申請候也

年　月　日

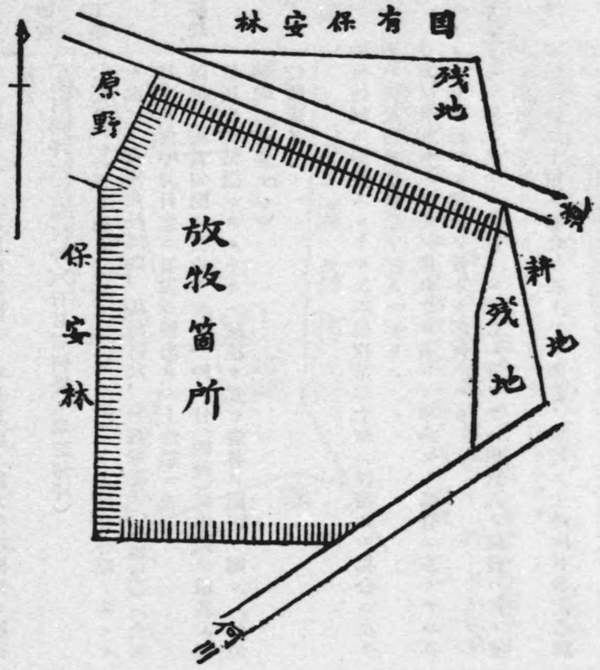
住所

土地所有者（賃又ハ借地上權者）何　某印

郡（市）町（村）大字

森林內牛（何何）放牧施業書

知事宛



第三號樣式

目標設置（支障木竹伐伐）（他人ノ土地ニ立入）申請

自分所有ノ森林ニ於テ（施業案編製）（林道開設又ハ何々）ニ付（實地調査）（實地測量）ノ爲別紙調書ノ土地ニ立入リ（目標設置）（支障木竹伐伐）（目標設置及支障木竹伐伐）致度候間御許可相成度圖面相添此段申請候也

年　月　日

郡（市）町（村）大字　何　某印

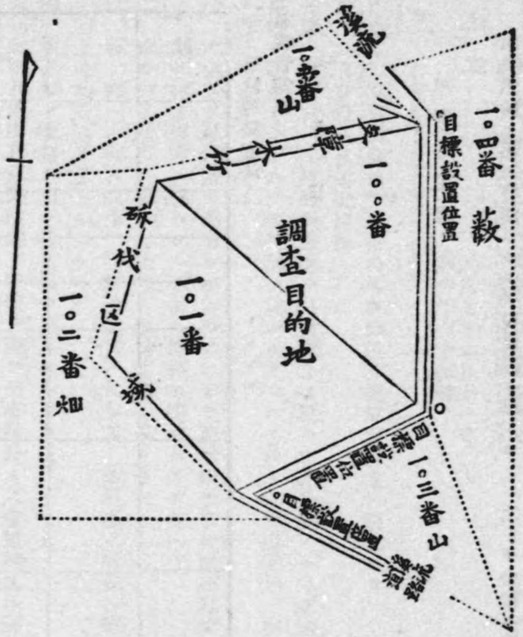
知事　宛

調書

立入ルヘキ他人ノ所有地	所在　郡市町村大字字地番地目（外何筆）
	臺帳面積　、、、、、、、
	所有者　住所氏名
調査ノ目的	（測量）（木材運搬用鐵索架設）（林道開鑿）（何々）
調査期間	何年何月何日ヨリ何年何月何日迄何日間
目標ノ種類及數量	木杭何本何々
支障木竹	松何本何尺〆、雜木何本何棚何分小柴及枝條何束淡竹何本何束（數量ハ凡ソノ見積）
支障木竹處分法	（伐伐ノ儘所有者ニ引渡ス見込）（相當價格ニテ自分ヘ買收シタキ見込）（伐伐後直ニ所有者ト協定ノ見込）

注意

一　二筆以上ニ渉リテ列記スルコト能ハサル場合ハ調査ノ目的調査期間ノ二欄ヲ除ク外別ニ明細書ノ添付ヲ要ス



第四號樣式

森林（森林接近地）火入申請

今般何何ノ爲メ明治何年何月何日ヨリ何月何日迄別紙調書ノ土地ニ於テ火入致度候間御許可相成度別紙調書圖面（承諾書）添付此段申請候也

年　月　日

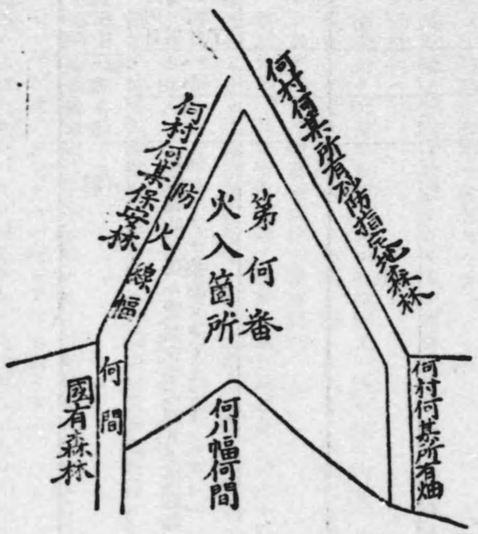
郡（市）町（村）大字　何　某印

何何警察（分）署長宛

（火入テ爲サムトスル森林又ハ土地カ他人ノ所有若ハ占有ニ屬スルトキハ承諾書ヲ添付スヘシ）

火入調書

所在地	何郡（市）町（村）大字何字何第何番地目何
保安林ニ關係有無	保安林（保安林ニアラス）
砂防指定地ニ關係ノ有無	砂防指定地（砂防指定地ニアラス）
全面積	何町何段歩
火入面積	何段歩
防火ノ設備	防火線ハ幅何間、延長何間、火入面積何程、消防人夫何人出役等其他消防設備ノ必要事項



第五號樣式

森林害蟲驅除豫防成績報告

驅除豫防施行地			害蟲名稱	被害ノ狀況	驅除豫防著手及其終了月日	驅除豫防ニ係ル費額	備考
郡(市)町(村)	大字	字一地番	森林所有者				
			(杉金龜子) (赤蛙蝨) (松蛞蝓) (何々)	(何月頃ヨリ何年何月何日ニ發生シ全林ニ蔓延シ幼樹ノ何分ノ何ヲ損害セシ)(何々)	何年何月何日著手 何年何月何日終了	驅除豫防ニ係ル費額中金何圓ハ夫役賦課ニ係ルモノナリ換算シタル(何々)	
計							

一　驅除豫防方法

右報告候也

年　月　日

(滋賀市)長又ハ町(村)長　何　某　印

知事(郡長)宛

注意

驅除豫防ニ係ル費額ニシテ夫役賦課ニ係ルモノハ之レヲ金額ニ換算シテ記載スヘシ

(滋賀令)

●公有林野造林補助規程

大正七年九月十一日
縣令第四十四號

(滋賀令)

沿革　大正八年七月縣令第四三號改正

大正六年三月滋賀縣令第十二號公有林野造林補助規程左ノ通改正ス

公有林野造林補助規程

第一條　市町村、市町村組合又ハ町村組合ニ於テ左記各號ノ一ニ該當スル事業ヲ爲シタルトキハ本規程ノ定ムルトコロニ依リ毎年度豫算ノ範圍內ニ於テ補助金ヲ交付ス

一　大字其ノ他部落ノ所有タリシモノニシテ明治四十三年四月以後新ニ市町村ノ所有ニ移シタル土地ニ造林ヲ爲シタルトキ

二　市町村ノ所有ニ屬スル土地ニ造林ヲ爲シタルトキ

三　縣、郡、市町村組合、町村組合又ハ大字其ノ他部落ノ所有ニ屬スル土地ニ造林ヲ爲シタルトキ

四、前各號ノ造林ニ對シ防火線ヲ設ケタルトキ

五　大正八年四月以後法定ノ手續ヲ經テ公有林野ノ入會整理又ハ部落有林野ノ統一ヲ爲シタルトキ

第二條　天然造林ニ對シテハ左記各號ノ一ニ該當スル作業ヲ實施シタルトキニ限リ補助金ヲ交付ス但シ同一作業ニ對シテハ一回限リトス

一　天然下種ニ適スル僞所ニ於テ下種ヲ容易ナラシムル爲行フ雜草荊棘ノ刈拂及地表ノ掻起作業

二　天然生稚樹保育ノ爲ニ行フ雜草荊棘ノ刈拂作業

三　天然生稚樹ノ疎立セル部分ニ對スル補植作業

第三條　補助金額ハ事業ノ成績ヲ調査シ左記標準ニ依リ之ヲ定ム

一　第一條第一號ノ造林

第七類　勸業、權度、氣象及測候　第二章　林業

イ　無立木地ニ造林シタルトキハ其ノ經費ノ三分ノ二以內

ロ　伐採跡地ニ造林シタルトキハ其ノ經費ノ二分ノ一以內

二　第一條第二號及第三號ノ造林

イ　無立木地ニ造林シタルトキハ其ノ經費ノ二分ノ一以內

ロ　伐採跡地ニ造林シタルトキハ其ノ經費ノ五分ノ二以內

三　防火線ノ造設ニ對シテハ其ノ經費ノ二分ノ一以內

四　第一條第五號ニ對シテハ面積一町歩ニ付金五拾錢以內

第四條　補助金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ニ依リ前年六月三十日迄ニ申請スヘシ但シ第一條第一項第三號ノ造林ニ在リテハ土地ノ借地權ヲ證スル書類ノ謄本ヲ添付スヘシ

第五條　補助金ノ交付ヲ申請シタル者ハ事業終了後直ニ第二號書式ニヨル屆書ヲ提出スヘシ

第六條　補助金ノ交付ヲ申請シタル造林地又ハ防火線ニ對シテハ隨時官吏又ハ吏員ヲシテ之ヲ實査セシメ必要ト認ムルトキハ作業ノ方法ヲ指示セシムルコトアルヘシ補助金交付ノ後亦同シ

第七條　第一條第一號乃至第四號ノ事業ヲ爲シ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業施行ノ年ヨリ五箇年間毎年一回以上相當ノ手入ヲ爲スヘシ前項ノ手入ヲ終ヘタルトキハ其ノ都度知事ニ屆出ツヘシ

第八條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニハ補助金ヲ交付セス

一　一箇年ノ造林面積樹木ニ在リテハ一團地五反歩未滿竹ニ在リテハ一團地五畝歩未滿ノモノ

二　一町歩ノ植栽本數三千本未滿ノモノ但シ竹林ハ毎竹六百株未滿山櫻ヤシヤアシ及アカシヤハ一萬五千本未滿ノモノ

三　成林ノ見込ナキモノ但シ補植手入ヲ爲シタルモノニアリテハ此ノ限

ニ在ラス

四　本規程ニ依リ發スル指示ニ違反シタル者

第九條　左記各號ノ一ニ該當スルモノト認ムルトキハ既ニ交付シタル補助金ノ全部又ハ一部ヲ返納セシメ仍將來補助金ヲ交付セサルコトアルヘシ

一　補植又ハ手入ヲ怠リタル者

二　本規程ニ依リ發スル指示ニ違反シタルモノ

三　本規程ニ依リ提出スル書類ニ虚僞ノ記載ヲナシ其ノ他不正ノ行爲アリタルモノ

第十條　本規程ニ依リ提出スル書類ハ所轄郡長ヲ經由スヘシ

附則

第四條ノ申請期限ハ本年ニ限リ八月三十一日トス

第一號書式ノ一

公有林野造林補助金交付申請書

所在地		郡(市)町(村)大字字地番地目
植樹造林	全面積	臺帳面積　何町歩 實測面積　何町歩
	施業案又ハ施業要領	何年何月認可ヲ經タル施業案(施業要領)ニ基キ施業ス 未タ施業案(施業要領)ヲ編成セス
	造林地ノ區別	無立木地(伐採跡地)
	植栽面積	何林班何小班(林ノ小字何)實測面積何町歩
	一段歩當樹種別植栽本數	何々　何本 何々　何本
	樹種別植栽本數	何々　何本 何々　何本
	樹苗供給先	自營苗圃又ハ何郡何村何某ヨリ何本買入ノ豫定等
	經費	金何圓但シ一町歩ニ付何程
	植栽著手及終了ノ豫定年月日	何年何月何日著手 何年何月何日終了ノ豫定
天然造林	全面積	臺帳面積　何町歩 實測面積　何町歩
	施業案又ハ施業要領	何年何月認可ヲ經タル施業案(施業要領)ニ基キ施業ス 未タ施業案(施業要領)ヲ編成セス
	樹種及面積	樹種何 何林班何小班(林ノ小字何)實測面積何町歩
	作業種類	下種用手入作業(地表掘起作業)(保育用手入作業)(補植作業)
	經費	金何圓但シ一町歩ニ付何程
	造林著手及終了ノ豫定年月日	何年何月何日著手 何年何月何日終了ノ豫定
防火線	種類	固定防火線(臨時防火線)
	延長及幅員	延長何間　幅何間
	坪數	何坪
	經費	金何圓但シ一坪ニ付何程
	施工著手及終了ノ豫定年月日	何年何月何日著手 何年何月何日竣功ノ豫定

〔滋賀令〕

右ノ通事業實行可致ニ付造林補助金御交付相成度造林豫定圖添付申請候也

年　月　日

知事宛

何町(村)長　何　某㊞

第一號書式ノ二

何々有林

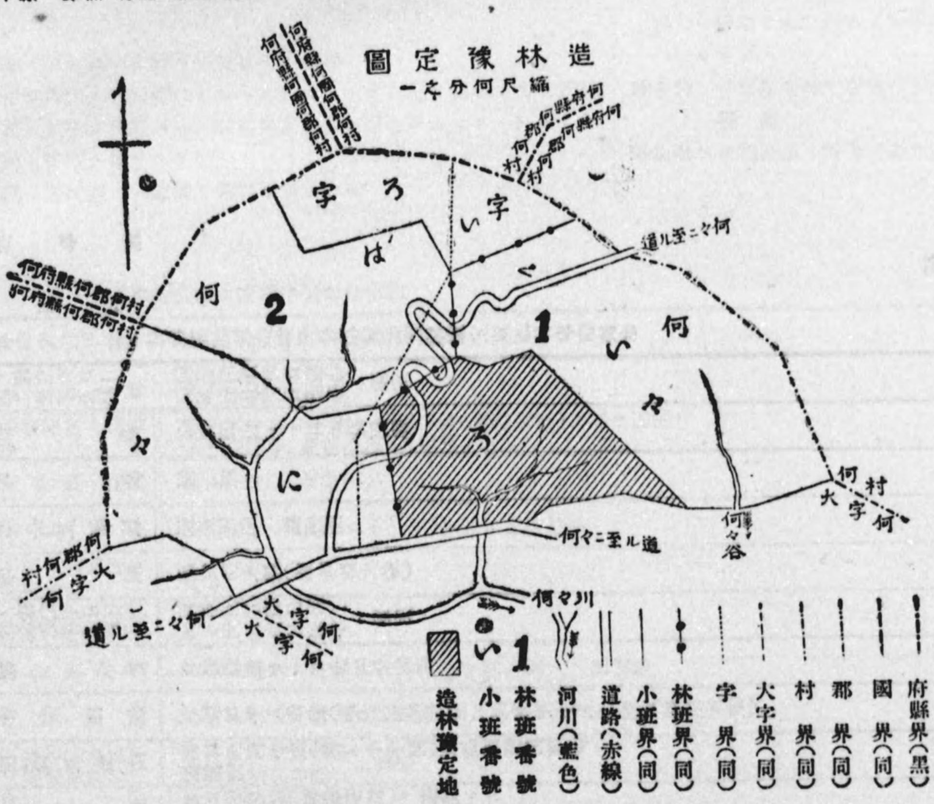
何郡市何町村大字何字何何番

臺帳段別　何町何段何畝何歩

實測段別　何町何段何畝何歩

造林豫定圖

縮尺何分之一



凡例

府縣界(黑)

國界(同)

郡界(同)

村界(同)

大字界(同)

字界(同)

林班界(同)

小班界(同)

道路(赤線)

河川(藍色)

林班番號

小班番號

造林豫定地

第一號書式ノ三

公有林野整理補助金交付申請書

入會整理(一統野林)	所在地	郡市町村大字字地番地目　(外何筆)
	面積	入會整理(部落有林野統一)　臺帳面積　何町歩　實測又ハ見込面積　何町歩
	整理(統一)ノ方法	整理(統一)ノ豫定方針ヲ簡明ニ記載スヘシ

右ノ通事業實行可致ニ付補助金御交付相成度申請候也

年　月　日

町村長　何　某㊞

知　事　宛

第二號書式ノ一

終了屆

造林	豫定ノ通全部終了ス 或ハ面積ヲ何町歩ニ變更シ杉何本扁柏何本ヲ植栽セリ
防火線	豫定ノ通終了ス或ハ幅何間長何間ニ變更造設ス
入會整理(林野統一)	豫定方針ノ通協定ノ上(變更シタルトキハ其ノ事實ヲ記載シ)何年何月何日法定ノ手續ヲ了ス

何年何月何日付ヲ以テ補助金申請致置候事業ハ前記ノ通終了致候ニ付經費明細書(造林及防火線事業ニ限リ添付ヲ要ス)相添此段報告候也

年　月　日

何町(村)長㊞

知　事　宛

第二號書式ノ二

經費明細書

一人工造林面積(天然造林面積)何町何段歩

一植栽本數杉(扁柏)(山檜)何本

一防火線　何百坪

右事業費何百何拾圓

內譯

種別	員數	價	小計	摘要
地拵人夫	何人	何十錢	何圓何十錢	一段歩ニ付何人何分掛ノ
杉苗（母竹淡竹）	何本	何錢	何圓	
黒松苗（母竹苦竹）	何本	何錢	何圓	
植栽人夫	何人	何十錢	何圓	一人ニ付何本植栽
計				

注意

一、摘要欄ハ積算ノ基礎ヲ簡明ニ記載スヘシ

一、天然造林ニ在リテハ植栽本數ノ行ニ作業ノ種類ヲ揚ケ補植作業ナルトキハ補植シタル本數ヲ記載スヘシ

一、天然造林ニ使役シタル人夫ハ掘起作業ナレハ掘起人夫トシ手入作業ナレハ補植人夫トシテ種別欄ニ記載スヘシ

一、防火線ニ使役シタル人夫ハ單ニ人夫ト記載スヘシ

◉造林奬勵規程

大正七年九月十一日縣令第四十五號

追加　大正八年九月縣令第四九號、九年五月第四一號、一〇年三月第二一號、一二年三月第一五號、一四年三月第二一號、一五年七月第五九號改正

造林奬勵規程左ノ通之ヲ定ム

造林奬勵規程

第一章　苗圃奬勵

第一條　公有社寺有又ハ私有ノ林野ニ造林ノ目的ヲ以テ樹苗ヲ養成スル者ニ對シテハ本規程ニ依リ奬勵金ヲ交付ス

第二條　本規程ニ依リ奬勵金ヲ交付スヘキ樹種ハ杉、檜、胡桃、漆、扁柏、赤松、黒松、欅、山櫨、栗、厚朴ノ十一種トス

奬勵金ハ播種及床替ニ對シ其ノ成績ヲ調査シ施業經費ノ二分ノ一以內ヲ交付ス

第三條　左記各號ノ一ニ該當スルモノニハ奬勵金ヲ交付セス

並公共團體組合學校山林會等ニシテ苗圃ヲ設置シ樹苗ヲ配付セムトスルモノニ對シテハ本規程ニ依リ奬勵金ヲ交付ス

〔滋賀令〕

一　營利ヲ目的トスルモノ

二　播種又ハ床替ニシテ其ノ成績不良ノモノ

三　一箇所一坪未滿ノ播種、五百本未滿ノ床替

四　赤松、黒松ハ二回以上其ノ他ノ樹種ハ三回以上ノ床替

五　本規程ニ依リ發スル指示ニ違反シタルモノ

第四條　奬勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ第一號書式ニ依リ毎年二月末日迄ニ申請スヘシ

前項ノ申請ヲ爲シタル者ハ十月末日迄ニ第四號書式ニ依リ報告書ヲ提出スヘシ

第五條　奬勵金ノ交付ヲ受ケタル者故意又ハ怠慢ニ依リ樹苗ヲ枯死セシメタルトキハ奬勵金ノ全部若ハ一部ヲ返納セシムルコトアルヘシ

第五條ノ二　杉、扁柏苗圃ヲ經營スルモノハ病害驅除、豫防ノ爲藥液（ボルドー液）ヲ施用スヘシ其ノ原料タル硫酸銅ハ無償ニテ之ヲ交付ス

第五條ノ三　原料ノ交付ヲ受ケムトスルモノハ別紙第五號書式ニ依リ申請スヘシ經營者多數ナルトキハ市町村長、山林會、郡市町村農會又ハ其他ノ代表者ヨリ申請スルコトヲ得

第五條ノ四　原料ノ交付ヲ受ケ驅除、豫防ヲ施行セサルモノアルトキハ其ノ全部又ハ一部ヲ還付セシムルコトアルヘシ

第二章　植樹奬勵

第六條　公有、社寺有又ハ私有ノ林野ニシテ左記各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ本規程ニ依リ奬勵金ヲ交付ス

一　立木散生地竝無立木地ノ植栽

二　天然林ノ伐採跡地ニ於ケル植栽

第七條　奬勵金ハ一町歩ニ付金貳拾圓以內トシ造林ノ成績ヲ調査シ其ノ類ヲ定ム

〔滋賀令〕

第八條　左記各號ノ一ニ該當スルモノニハ奬勵金ヲ交付セス

一　一箇年ノ植栽面積一團地一段歩未滿ノモノ

二　一町歩ノ植栽本數三千本未滿ノモノ但シ山櫨、ヤシャブシ及アカシヤハ一萬五千本未滿ノモノ

三　公有林野造林補助規程又ハ荒廢地復舊補助規程ニ依リ補助金ノ交付ヲ受クルモノ

四　天然造林

五　成林ノ見込ナキモノ但シ補植手入ヲ爲シタルモノニアリテハ此ノ限ニ在ラス

六　本規程ニ依リ發スル指示ニ違反シタルモノ

第九條　奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第二號書式ニ依リ毎年二月末日迄ニ申請スヘシ但シ借地造林ニ在リテハ其ノ借地ヲ證スル書類ノ謄本ヲ添付スヘシ

第十條　補植又ハ手入ヲ怠リタル者ニハ奬勵金ノ全部又ハ一部ヲ返納セシムルコトアルヘシ

第三章　造林ノ監督及指導奬勵

第十一條　一團地實測面積十町歩以上ノ林野ニ對シ奬勵金ノ交付ヲ受ケ造林セムトスルモノハ事業著手前左ノ區分ニ從ヒ第三號書式ニ依ル施業計畫ヲ定メ知事ニ屆出ツヘシ

一　「一團地實測」面積二百町歩以上ノモノハ施業案

二　「一團地實測」面積十町歩以上二百町歩未滿ノモノハ施業案又ハ施業要領

第十二條　奬勵金ノ交付ヲ受クル者ハ特別ノ樹種ヲ除クノ外左ノ標準ニ依リ植栽スヘシ但シ土地ノ狀況ニ依リ其ノ標準ニ依リ難キトキハ其ノ理由ヲ申請書ニ詳記スヘシ

針葉樹一町歩ニ付四千五百本
濶葉樹一町歩ニ付三千本

第十三條　奬勵金ノ交付ヲ受クル苗圃又ハ造林地ニハ隨時官吏又ハ吏員ヲシテ之ヲ實査セシメ必要ト認ムル作業ノ方法ヲ指示セシムルコトアルヘシ

第十四條　奬勵金ノ交付ヲ申請シタル苗圃又ハ造林地ヲ變更シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ知事ニ屆出ツヘシ

第十五條　奬勵金ノ交付ヲ受ケタル苗圃又ハ造林地ニ被害アリタルトキハ直ニ其ノ實況ヲ知事ニ報告スヘシ

第十六條　事業ノ計畫又ハ作業指導ノ爲技術員ノ派遣ヲ求メムトスルモノハ左記各號ノ事項ヲ具シ知事ニ申請スヘシ

一　申請ノ目的
二　所在地
三　面積

技術員ノ派遣ニ關シ必要ナル人夫賃ハ申請者ノ負擔トス

第十七條　本規程ニ依リ提出スル書類ハ所轄市町村長ヲ經由スヘシ

附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正六年二月　滋賀縣令第七號苗圃奬勵規程同年同月　滋賀縣令第八號植樹奬勵規程ハ之ヲ廢止ス

（第一號書式ノ一）

苗圃奬勵金交付申請書

所在地	郡（市）町（村）大字地番地目	
種別	自營苗圃ト樹苗配付ヲ目的トセル苗圃トノ區別	
經營者	何々	
苗圃面積	播種圃　樹種別　何坪 何回床替　同　何坪	計何坪 計何坪
樹種及數量	播種　樹種別　何合 何回床替　同　何萬本	
種子及樹苗供給先	種子ハ何郡何村ニ於テ採取又ハ何郡何村何某ヨリ買入ノ豫定等樹苗ハ前年播種シタルモノ等	
播種又ハ床替事業著手及終了ノ豫定年月日	何年何月何日著手 何年何月何日終了ノ豫定	

右ノ通苗圃ノ經營可致ニ付苗圃奬勵金御交付相成度別紙圖面添付申請候也

年　月　日

郡市町村大字

〔滋賀令〕

知事宛

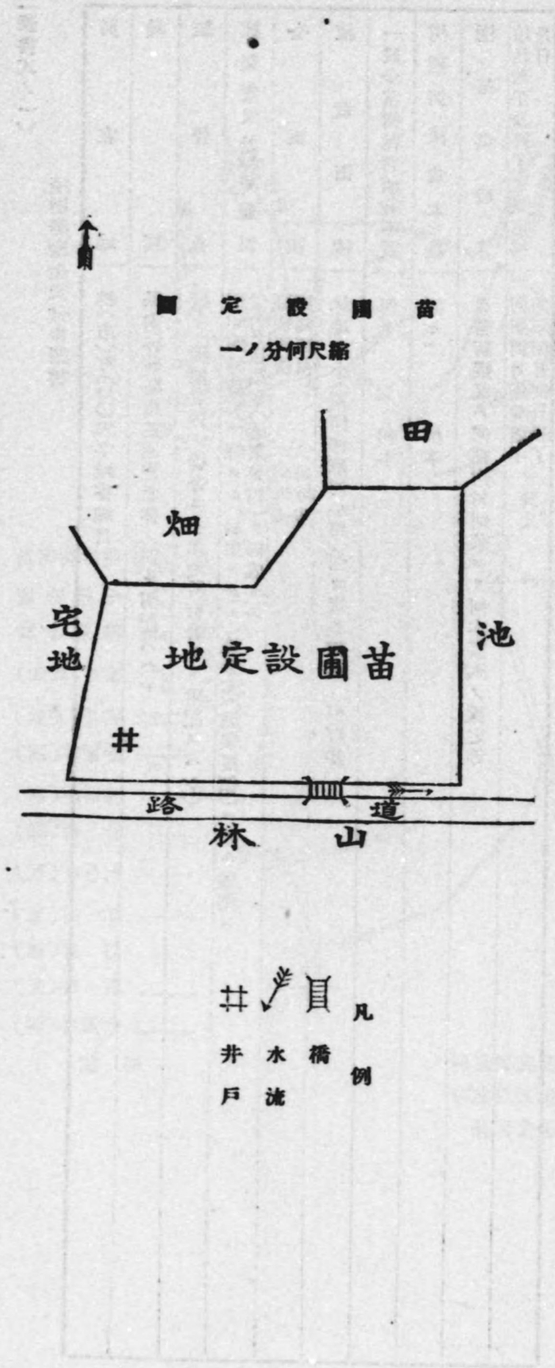
注意

一、配付ヲ目的トスル苗圃ニ在リテハ配付豫定書ヲ添付スヘシ
一、苗圃面積及樹種數量欄ノ記載ハ別表トスルモ差支ナシ

（第一號書式ノ二）

何々有苗圃
何郡市町村大字何字何々番
實測面積　何坪

〔滋賀令〕



何　某㊞

(第二號書式ノ一)

植樹奬勵金交付申請書

所在地	郡(市)町(村)大字地番地目
種別	保安林砂防指定地普通林ノ別ヲ明記スヘシ
經營者	何々(借地造林ノ場合ニハ土地所有者ヲモ附記スヘシ)
施業案又ハ施業要領	何年何月認可ヲ經タル(屆出テタル)施業案(施業要領)ニ基キ施業ス (未タ施業案(施業要領)ヲ編成セス)
全面積	臺帳面積　何町歩 實測面積　何町歩
植栽面積	林地ノ小字(何林班何小班)何々實測面積　何町歩
一段歩當樹種別植栽本數	何々　何本
樹種別植栽本數	何々　何本
樹苗供給先	自營苗圃又ハ何郡何村何某ヨリ何本買入ノ豫定等
植栽著手及終了ノ豫定年月日	何年何月何日著手 何年何月何日終了ノ豫定

右ノ通植樹可致ニ付植樹奬勵金御交付相成度別紙關係書類添付申請候也

年　月　日

郡市町村大字

何　某㊞

知事宛

〔滋賀令〕

〔滋賀令〕

(第二號書式ノ二)

何々有林

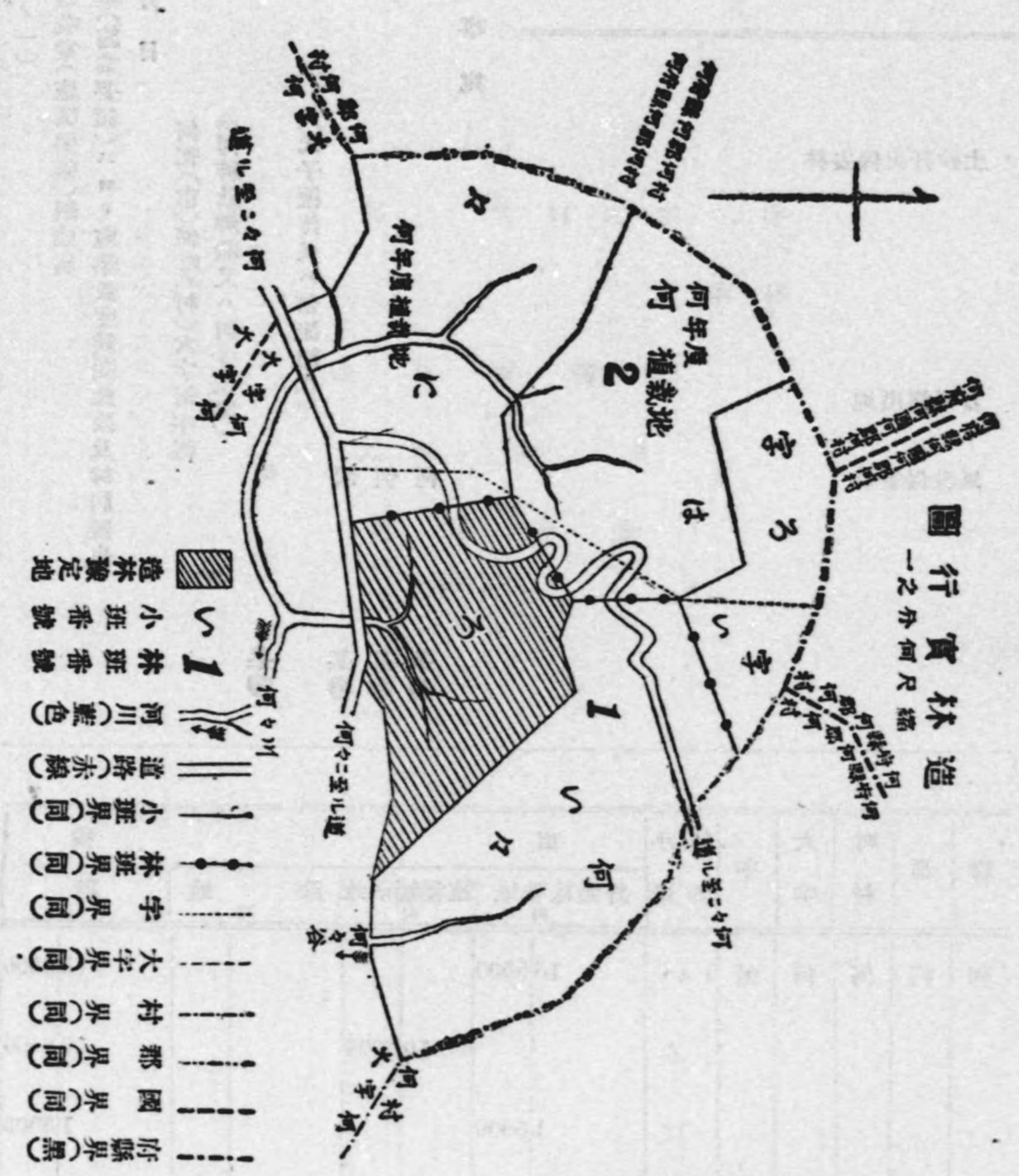
何郡市何町村大字何字何番

臺帳段別　何町何段何畝何歩

實測段別　何町何段何畝何歩

造林實行圖

一分ノ何尺縮



（第三號書式ノ一）

施業案（施業要領）編成屆

別紙施業案（施業要領）ニヨリ施業致度候間此段及御屆候也

年　月　日

何郡（市）何町（村）大字何字何

（何神社神職又ハ何寺住職）

（氏子檀徒又ハ信徒總代）

何　某㊞

何　某㊞

何　某㊞

何　某㊞

知事宛

備考	
土砂扞止保安林	
岩石露出地	
風致保安林	

（滋賀令）

縣	郡	町村	大字	字	林班	小班	面積 普通施業地 町	施業制限地 町	除地 町	計 町
何	何	何	何	何	1	い	15 5500			15 5500
						ろ		10 8000		10 8000
						は	1 5000			1 5000
						に	7 8600			7 8600
						ほ			1 2000	
				何	2	い		19 7500		
						計	何程	何程	何程	何程

（二ノ式樣號三第）

字　林

有

字　大　村　町　郡　縣

簿　積　面　林　森

月　年　正　大

査　調　某　何

（滋賀令）

林齢	材積 毎町	材積 總	摘要	將來施業要略
35	石 800	石 10.885	本林ハ海拔尺1.500尺東南ヨリ西北ニ連亙シ南西ニ面ス峰通リヲ以テ何郡何町村ノ公有林ト境ヲ接ス下部ハ採草場及耕地ト犬牙錯綜セリ基岩ハ花崗岩大部分ヲ占メ其ノ他第三紀層ノ砂岩及石灰岩ナリ本林班ノ基岩ハ花崗岩ニシテ壤質埴土ヲナシ一般ニ淺クシテ結合堅ク乾燥ス落葉採收ノ爲表土流下シ往往基岩ノ露出セル所アリ傾斜ハ緩ナリ材積ハ標準地調査ニ成長中庸ニシテ鬱閉度モ中庸ナリ處々ニ天然發生ノアカマツ稚樹ヲ存ス	アカマツハ輪伐期50年ヲ以テ皆伐作業ヲ行フヘシ但シ伐採ノ際ハ橋梁及建築材トシテ幹形身好ノモノ凡200本ヲ本小班中ニ存立セシムヘシ且右林木ハ天然更新ノ母樹トシテ用ユヘキニ依リ其配置ヲ適當ニナスヘシ落葉採收ノ舊慣ハ俄ニ禁止スルコト困難ナルヲ以テ當分區域ヲ定メ隔年ニ之ヲナサシメ今後十年ヲ經過セハ全然禁止スルモ差支ナキ見込ナリ
		何程		

〔滋賀令〕

縣町大	郡村字	小字	林班	小班	面積 林地 立木地	面積 林地 未立木地	面積 除地	面積 計	樹種及混淆部合
何	々	何	1	い	15町5500	町	町	15町5500	アカマツ
				計	何程	何程	何程	何程	
					樹種別再掲				
					何々			何程	
					何々			何程	
				計				何程	

〔滋賀令〕

（第三號樣式ノ三）

縣　郡　町村大字　字

有林

森林調査簿

大正　年　月

何某調査

〔滋賀令〕

費						備考
數量		單價	圓	總額	圓	
本	3.600	百本ニ付 1	000	36	000	
人	24.0	0	650	15	600	
同	24.0	0	650	15	600	
同	2.4	0	650	1	560	
人	50.4			68	760	
本	3.600					
				68	760	
本	360	百本ニ付 1	000	3	600	
人	4.5	0	650	2	930	
本	360			6	530	
人	4.5					
				6	530	
人	16.0	0	650	10	400	第二回　大正何年植栽ノ分
同	16.6	0	650	10	790	第五回　大正何年植栽ノ分
同	32.6			21	190	
				21	190	
				96	480	

〔滋賀令〕

國	郡	村	大字	字	小林班	樹種	面積 全町	面積 施業町	經種目	經摘要
					何年度					
					新植					
近江	滋賀	小松	北小松	鷹ノ尾	二ノ内	扁柏	8.8723	0.8000	苗木	一町歩四千五百本
									人夫	地拵人夫一町歩ニツキ三十人
									同	植付人夫一人百五十本
									同	雜役一町歩三人
				小計			8.8723	0.8000		
				計			8.8723	0.8000		
					補植					
近江	滋賀	小松	北小松	鷹ノ尾	二ノ内	扁柏	8.8723	0.8000	苗木	一町歩四百五十本
									人夫	植付人夫一人八十本
				小計			8.8723	0.8000		
				計			8.8723	0.8000		
					手入					
近江	滋賀	小松	北小松	鷹ノ尾	二ノ内	扁柏	8.8723	0.8000	人夫	手入刈一町歩二十人
								1.6600	同	同　一町歩十人
				小計			8.8723	2.4600		
				計			8.8723	2.4600		

大正何年度　合計

備考

年度別ニ掲記スルコト

各年度(年)チ更ニ作業別ニ掲記スルコト

作業箇所毎ニ小計チ作業毎ニ計チ年度(年)毎ニ合計チ最後ニ總計チナスコト

（第三號樣式ノ四）

縣　郡　町村大字　字

有林

造林豫定案

自大正　年

至大正　年

大正　年　月

何某編成

縣町	郡大村	字々	小字	小林班	面積 町	樹種	林齡	材積 毎町 石	材積 總 石	作業種	輪伐齡
								第	一		
何		々	何	1 い	15.5500	アカマツ	35	700	10,885	皆伐	40
〔滋賀令〕											
に			7	8000		ヒノキ	95	1.500	11,790	皆伐	100
計			何程						何程		

1施業期 自大正何年 至大正何年 十ケ年間 主伐 面積 町	主伐 材積 石	間伐 面積 町	間伐 材積 石	摘要	施業方法
喬林				平均輪伐齡 $\frac{15.55\times40+7.86\times100}{15.55+7.86}=60.1$ 年 十ケ年間伐採面積 $\frac{15.55+7.86}{60.1}\times10=3,8$ 町 平均一町歩材積 $\frac{15.55+700+7.86\times150}{15.55+7.86}=968$ 石 十ケ年間伐採材積 968石 ×3.8＝3.678石	伐採區ヲ二ケ所ニ分チ東方ヨリ伐採ヲ始ムヘシ但シ枝振リ良ク樹幹完滿ナルモノヲ選ヒ一町歩ニ付200本ヲ標準トシテ存置スヘシ場合ニヨリテハ群狀ニ殘スモ可ナリ伐採跡地ノ更新ハ天然下種ニ依ルヘシ
3,8000	3.678				
〔滋賀令〕					
何程	何程	何程	何程		

（第三號樣式ノ五）

字　林
字　有
大　案
村　基
町　業
郡　月
縣　成
施　業　編
大　正　年
何　某

第三號樣式ノ六

施業案ニハ左ノ事項ヲ記述シタル說明書ヲ添付スヘシ

施業案說明書

第一　總說

〔滋賀令〕

第二　地況及林況
第三　森林區劃
第四　施業豫定方法
第五　施業案實行ニ關スル意見
第六　土地明細書

〔滋賀令〕

地況	林況	將來施業要略	
		施業方法	造林
秩父古生層ヨリ成リ基岩粘板岩表土礫質壤土ニシテ地味良好ナリ傾斜約三十度西北ニ面スル五段歩岩石地	ナラ クリ ト 木 テ 年 十 育 リ 主 雜 シ 十 二 生 ナ ヲ セ ル ニ 鈴 至 年 好 ナ ニ 林 乃 五 良 ナ	年々二町歩宛雜木ヲ伐採處分シテ其ノ跡地ニ杉及扁柏ヲ五尺ノ正方形(一町歩當4.320本)ニ植栽ス杉ハ山麓ノ適潤地ニ扁柏ハ其ノ上部ニ植栽スルモノトス	スギ 0.7 ヒノキ 0.3

シ
費調書竝土地明細書ヲ作製シテ添付スヘシ
項ニ付記述シタルモノヲ以テ之ニ換ニルコトヲ得其ノ場合ニ記述ス

縣郡町村大字	字	林ノ小字	林小班	實測又ハ推定面積							
				普通施業町地		施業制限町地		除地町		計町	
何々	何	何	1 い	10	0000				5000	10	5000
			計	何程				何程		何程	
						樹種別再掲					
			何々							何程	

備考　一、樹種別再掲欄ニハ樹種別面積ヲ掲記スヘ
二、本案ニ基キ各年度別造林箇所面積及造林
三、施業要領ハ本案ノ如ク表示セスシテ各要ヘキ項目次ノ如シ
一　林地名及面積
二　施業面積
三　現在ノ地況
四　現在ノ林況
五　舊來ノ慣行
六　將來ノ施業
七　保護上ノ施設
附　各年度別造林箇所面積及造林費調書土

〔滋賀令〕

（七ノ式樣號三第）

縣郡町村大字字

有林

施業要領

自大正年

至大正年

大正年月

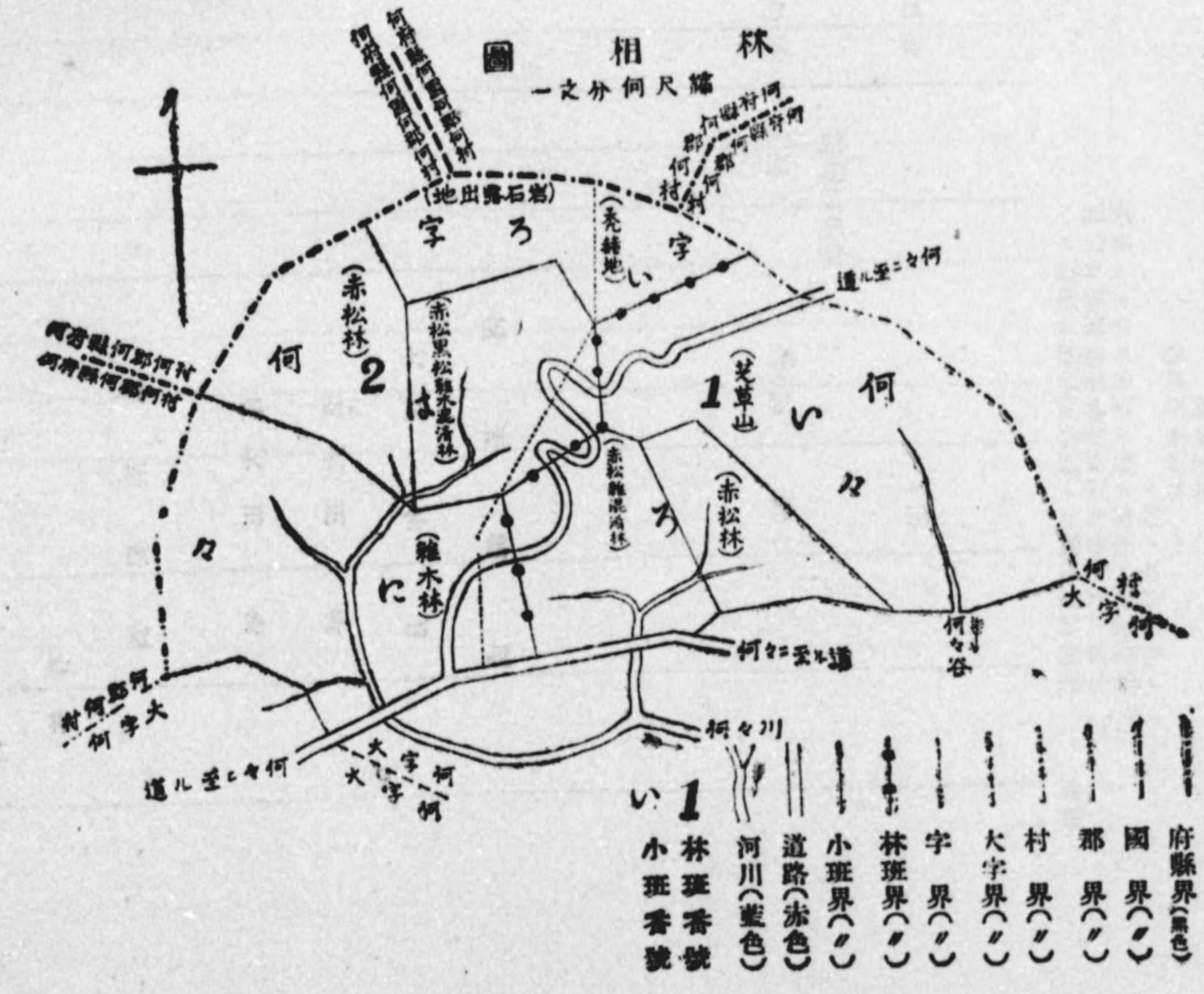
何某編成

〔滋賀令〕

（第三號樣式ノ八）

何々有林
何郡市町何村大字何字何番
臺帳段別　何町何段何畝何歩
實測段別　何町何段何畝何歩

林相圖
縮尺何分之一



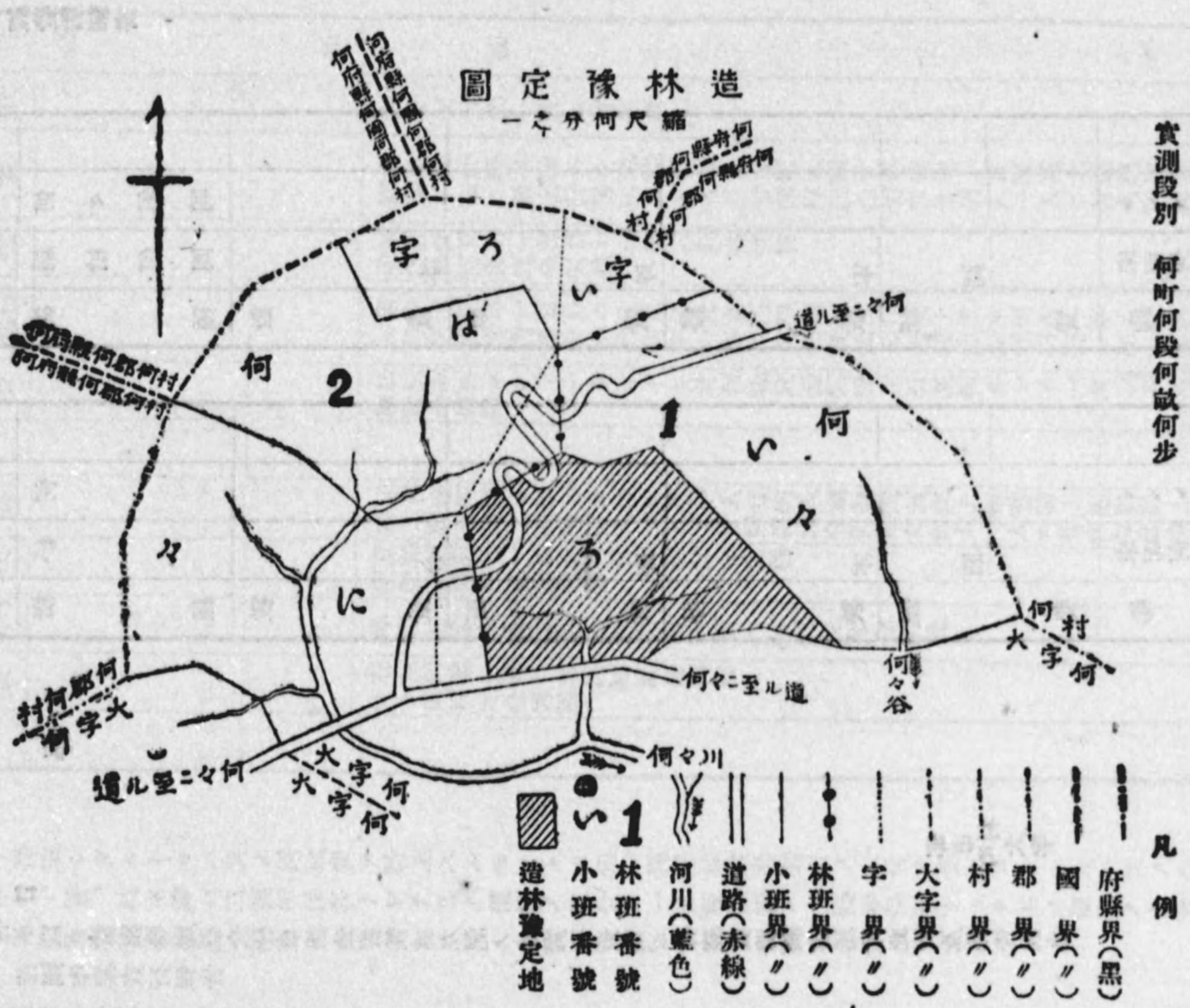
〔滋賀令〕

〔滋賀令〕

第三號樣式ノ九

何々有林
何郡市何町何村大字何字何番
臺帳段別　何町何段何畝何歩
實測段別　何町何段何畝何歩

造林豫定圖
縮尺何分之一



第四號書式ノ一

大正何年何月何日付テ苗圃作業實行報告
年　月　日
苗圃作業實行報告
勵金交付申請ニ係ル苗圃作業實行ニ付經費明細書添付此段及報告候也

郡市村何大字

何　某印

知事　殿
記事

一播種事業

苗圃所在地	樹種	數量	面積	得數	經費	摘要
何何郡何村何字大字何番地	杉	合	坪	本	圓	床面何坪一坪ニ付何合苗
〃〃〃〃〃	何					〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃
計						

一床替事業

苗圃所在地	樹種	數量	面積	得數	經費	摘要
何何郡何村何字大字何番地	扁柏何回	本	坪	本	圓	床面何坪一坪ニ付何本植
〃〃〃〃〃	何々何回					〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃
計						

第四號書式ノ二

種苗費明細書

〔注意令〕

事業種別及	種目	金額	摘要
種播（杉）何々	種子代	圓	種子何升代一升ニ付何程
	人夫賃		雇播種ノ地何坪（同ニ上ル）ニ對スル男何人一男ニ付何人ニ一日同人同ニ上施肥同上金何程（雇入ノ場合ニ於テハ賃金ノ外食料ヲ給スルモノトス）
	肥料代		何油粕何貫目一貫何目ニ付何程此金何程
	料保護材代		數ニ付何程此金一貫何程目小ニ付何本程一本金何程ニ付何本一本ニ付何程此金何程
	雜費		程此金何程ボルドー液ニ付何程此金何程硫酸銅何程ボルドー液ニ付何程此金何程生石灰何程
	計		
替床圃何箇所	人夫賃		除床ノ苗地（何坪同上ニ當ル）ニ對スル男何人一人ニ付何人女何人此人數ニ應ジ苗同上床替同人一床ニ付何人ニ付何程此金額ニ應ジ苗同上施肥同上金何程除草同上雇役（雇入ノ場合ニ於テハ賃金ノ外食料ヲ給スルモノトス）
	肥料代		何豆粕何貫目一貫何目ニ付何程此金何程
	料保護材代		旱害防備用藁（苗草）何貫目一貫ニ付何程此金何程
	雜費		何石灰何程此金額ニ付何程此金何程
計			

注意

一、種子ヲ自ラ採取シ、又ハ苗木等ハ三箇年保存トシテ其ノ採取費ヲ計上スルモノトス但シ種子採取奬勵金ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ金額ハ十箇年保存トシテ其ノ價格ノ十分ノ一ヲ計上スルモノトス

二、本明細書ハ每箇所樹種事業別ニ調整スルモノトス其ノ金額ハ賞行報告ノ金額ト一致スルヲ要ス

第五號書式

藁流原料交付申請書

左記(別紙)ノ通杉(扁柏)苗圃經營致居候ニ付病害驅除豫防ノ爲藥液原料交付相成度此段申請候也

年　月　日

郡(市)町村(大字)

何　某印

知事宛

記

(病害蟲驅除豫防施行調書)

苗圃所在地	樹種	事業別	苗圃 面積	苗圃 數量	藥液原料 品名	藥液原料 數量	摘要
何村何大字何字何番地	杉	播種	坪	合	硫酸銅	何ポンド	何斗式何回何程分
、、、、、、	同	一(二)回床替	坪	本	、、、	、、、	、、、、、、、、
、、、、、、	扁柏	何々	坪	何	、、、	、、、	、、、、、、、、
計							

注意

一、市町村長、山林會、郡市町村農會其他ノ代表者ニ於テ申請スルトキハ摘要欄ノ下ニ經營者ノ欄ヲ設ケ其ノ住所氏名ヲ記入スヘシ

●林業共同施設奬勵規程

昭和二年一月二十六日
縣令第九號

林業共同施設奬勵規程左ノ通定ム

林業共同施設奬勵規程

第一條　林業共同施設ヲ奬勵スル爲本規程ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ奬勵金ヲ交付ス

第二條　奬勵金ハ左ノ場合ニ之ヲ交付ス

一　森林組合ノ林産物搬出ノ用ニ供スル林道及索道ノ新設、増設又ハ改設

二　産業組合、市町村若ハ之ニ準スヘキモノ又ハ森林組合ノ木炭生産者ノ爲ニ施設スル木炭倉庫ノ新築、増築又ハ改築

第三條　奬勵金ノ額ハ前條ノ施設ニ要スル費用ノ四分ノ一以内トス

前項ノ費用トハ林道、索道及木炭倉庫ノ施設ニ要スル費用ニシテ土地購入費、借地料、運搬器具機械其ノ他附隨的設備ヲ除キタル直接費用ヲ謂フ

第四條　奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第一號樣式ノ申請書ニ工事設計ニ關スル説明書、圖面、工事施設ノ決議ヲ證スル書面寫及經費豫算書ヲ添ヘ前年度八月末日迄ニ之ヲ知事ニ提出スヘシ

第五條　奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前條ノ書類ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第六條　奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者工事完了シタルトキハ一箇月以内ニ第二號樣式ニ依ル竣工屆ニ第三號樣式ノ經費内譯書及實施圖ヲ添ヘ知事ニ屆出ツヘシ

第七條　奬勵金ハ前條ノ屆出ニ依リ竣工檢査ノ上之ヲ交付ス

第一號樣式　(其ノ一)

林業共同施設奬勵金交付申請書(林道、索道ノ例)

工事施行箇所	郡(市)町(村)　地内
工種	林道(索道)
延長	何メートル
幅員	何メートル
利用區域内林産物年搬出見込數量	何立方メートル
經費	
施行豫定期日	自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日

右ノ通工事施行可致候條奬勵金御交付相成度別紙書類添附此ノ段申請候也

年　月　日

(滋賀令)

第八條　奬勵金ヲ受ケ施行シタル施設ハ知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ五箇年間其ノ用途ヲ變更シ又ハ設備ヲ處分スルコトヲ得ス

第九條　左ニ掲クル場合ハ奬勵金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル奬勵金ノ全部若ハ一部ヲ返納セシムルコトアルヘシ

一　申請書及關係書類ニ虚僞ノ記載ヲ爲シ其ノ他不正ノ行爲アリタルトキ

二　第五條、第六條、第八條ノ規定及奬勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

第十條　本規程ニ依リ提出スル書類ハ所轄市町村長ヲ經由スヘシ

何郡(市)何町(村)
何森林組合長　何　某㊞

知事宛

注意

一　工種ハ軌道、車道、牛馬道、木馬道、索道等ノ區分ヲ謂フ

二　林產物年搬出見込數量ノ單位ハ用材ニ在リテハ立方メートル、薪材ニ在リテハ層積立方メートル、木炭ニ在リテハキログラムヲ用フヘシ

三　幅員ハ單位以下一位ニ止メ一位未滿ハ之ヲ切捨ツヘシ

四　數量ノ單位ハ當分ノ內メートル法ニ據ラサルコトヲ得

第一號樣式（其ノ二）

林業共同施設奬勵金交付申請書（木炭倉庫ノ例）

工事施行箇所	何郡(市)何町(村)大字何字何　地內
構造	木造平家建瓦葺（又ハ何々）
棟數	何棟
建坪	何平方メートル
收容量	正味何キログラム入　何俵
利用區域內木炭年生產見込數量	何キログラム
經費	
施行豫定期間	自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日

右ノ通工事施行可致候條奬勵金御交付相成度別紙書類添附此ノ段申請候也

〔滋賀令〕

年　月　日

何郡(市)何町(村)
何市町村長（何森林組合長）　何　某㊞

知事宛

注意

一　建坪ハ單位以下一位ニ止メ一位未滿ハ切捨ツヘシ

二　數量ノ單位ハ當分ノ內メートル法ニ據ラサルコトヲ得

第二號樣式（其ノ一）

竣工屆（林道、索道ノ例）

指令年月日及番號	昭和何年何月何日指令森第何號
工事施行箇所	何郡(市)何町(村)　地內
竣工年月日	昭和何年何月何日
工種	林道（索道）
延長	何メートル
幅員	何メートル
經費	金何程　經費內譯書ノ通

右之通竣工致候條此ノ段及御屆候也

年　月　日

何郡(市)何町(村)
何森林組合長　何　某㊞

〔滋賀令〕

知事宛

注意

一　數量ノ單位ハ當分ノ內メートル法ニ據ラサルコトヲ得

第二號樣式（其ノ二）

竣工屆（木炭倉庫ノ例）

指令年月日及番號	昭和何年何月何日指令森第何號
工事施行箇所	何郡（市）何町（村）大字何字何　地內
竣工年月日	昭和何年何月何日
構造	木造平家建瓦葺（又ハ何々）
棟數	何棟
建坪	何平方メートル
經費	金何程　經費內譯書ノ通

右之通竣工致候條此ノ段及御屆候也

年　月　日

何郡（市）何町（村）

何市町村長（何森林組合長）　何　某㊞

知事宛

注意

一　數量ノ單位ハ當分ノ內メートル法ニ據ラサルコトヲ得

第三號樣式

經費內譯書

〔滋賀令〕

種類	數量	單價	總額	備考

〔滋賀令〕

附則

本令ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四條ノ申請期限ハ昭和二年度ニ限リ昭和二年五月末日迄トス

●母樹設定規程

大正十五年七月一日
縣令第五十八號

母樹設定規程左ノ通定ム

母樹設定規程

第一條　縣內ニ於テ造林用優良種子採取ノ爲母樹ヲ設定ス

第二條　母樹ヨリ採取シタル種子ハ縣內ニ於テ苗圃ヲ經營スル者ニ之ヲ配付ス

第三條　本規程施行ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●母樹設定規程施行規則

大正十五年七月一日
訓令第四十九號

內務部　市役所　町村役場

母樹設定規程施行規則左ノ通定ム

母樹設定規程施行規則

第一條　造林用優良ノ種子採取ノ爲市町村內ニ於テ適當ナル母樹ヲ選定シ市町村長之ヲ管理スヘシ

第二條　母樹ハ所有者ノ承諾ヲ得テ設定スヘシ

第三條　母樹ハ當分ノ內左ノ二種トシ成育完全ナルモノニ限ル

一　杉　樹齡六十年以上二百年以下

一　扁柏　樹齡六十年以上二百年以下

第四條　管理者ハ別紙樣式ノ母樹籍臺帳ヲ作製シ母樹ヲ設定シタルトキ又ハ解除シタルトキハ其ノ都度臺帳ヲ整理シ所有者ニ通知シ直ニ知事ニ報告スヘシ

第五條　設定シタル母樹ハ一般ニ告示シ適宜之ヲ標示スヘシ

母樹ヲ取消シタルトキハ一般ニ告示シ且標示ヲ撤去スヘシ

第六條 母樹ノ種子ハ管理者ニ於テ採取スルモノトス管理者以外ニ於テ採取セムトスル者アルトキハ管理者ノ承認ヲ受ケシムヘシ

第七條 母樹ヨリ採取シタル種子ノ配付ヲ受ケムトスル者アルトキハ管理者ニ申請セシムヘシ

第八條 管理者ハ毎年九月末日限リ種子結實ノ狀況、採取シ得ヘキ數量及所要數量ヲ調査シ知事ニ報告スヘシ

第九條 管理者ハ其ノ年配付シタル種子ノ種類及數量ヲ翌年三月末日限リ知事ニ報告スヘシ

第十條 管理者ハ常ニ母樹ヲ監視シ異狀アリト認ムルトキハ直ニ知事ニ報告スヘシ

第十一條 母樹所有者ニシテ母樹ヲ伐採セムトスルトキハ豫メ管理者ノ承認ヲ受ケシムヘシ

所有權移轉ノ場合ハ繼承者ニ母樹設定規程ニ依ル義務ヲ承繼セシメ其ノ旨連署ヲ以テ管理者ニ屆出シムヘシ

（母樹簿臺帳様式）

第何號	何郡何町村大字何 所有者 何 某
所在地	何郡何町村大字何第何番
樹種	杉（扁柏）
樹齡	何年
胸高直徑	何尺何寸
成熟期	何月 上、中、下旬
設定年月日	何年何月何日
摘要	何年何月毬實（種子）何斗何升採取等

注意

番號ハ母樹一本毎ニ之ヲ附スルモノトス

附則

一 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔滋賀令〕

大正七年滋賀縣訓令第四十六號ハ之ヲ廢止ス

〔滋賀令〕

●苗圃及植樹臺帳ニ關スル件

大正六年十月十七日
森發第二四五號

〔郡〕市長　町村長宛

苗圃及植樹臺帳ニ關スル件

左記依命及通牒候也

苗圃奬勵規程、植樹奬勵規程及公有林野造林補助規程ニ基キ奬勵金又ハ補助金ノ交付ヲ申請シタル苗圃及造林地ニ對シテハ爾後別記様式ノ苗圃臺帳及植樹造林臺帳ヲ必ス備付ケ適宜記入ノ上整理相成度候

苗圃臺帳様式（用紙美濃紙）

經營者住所氏名　郡市　町村大字　字　番地

自營配付之別	苗圃位置 町村	大字	字	地番	面積	作業種	著手終了 年	月日	種樹	數量 種子	苗木 移植	仕立上	經費	山植豫定地 町村	大字	林班小班	實測面積	交付奬勵金額	苗木及種子ノ産地	備考

備考

一、面積ハ町歩ヲ以テ記ス
一、作業種別欄ニハ播種ハ床面積ヲ一同床替ハ區域面積ヲ記ス
一、苗畑ニハ播種ハ床替ハ本ヲ單位トス
一、移植苗畑ニハ第一同床替本數ヲ記ス
一、仕立上苗畑ニハ山櫓、ヤシヤブシ、カシアニ在リテハ其ノ全經費、床替等ニハ第一同床替後一ヶ年ノ經費ヲ記入ス
一、山林實測面積ハ苗圃奬勵金交付申請書ニ記載セル植栽豫定面積ヲ掲記ス
一、本表帳ハ經營者毎ニ設ケルモノトス
一、本表帳ハ年度毎ニ計ヲナスモノトス

備考

一、制限林欄ニハ保安林砂防指定地ノ別ヲ掲ク
一、土地所有者經營欄ニハ其ノ住所氏名
一、新植面積及樹苗數欄ニハ林班、小班毎ニ樹種別掲記ス
一、造林費欄ニハ新植総丁マテノ經費合計ヲ記ス
一、縣交付金欄ニハ交付ヲ受クヘキ金額ヲ記ス
一、認可申請年月日及認可年月日欄ハ公有林、社寺有林ニノミ用フ

一、本臺帳ハ計劃案ニ基キ一事業區每ニ設クルモノトス

●竹林奬勵規程

大正十五年七月一日
縣令第六十號

竹林奬勵規程左ノ通改正ス

竹林奬勵規程

第一條　竹林ノ造成ヲ圖ル爲本則ノ定ムル所ニヨリ每年度豫算ノ範圍內ニ於テ奬勵金ヲ交付ス

第二條　奬勵金ヲ交付セラルヘキ竹種ハ苦竹、淡竹孟宗竹ノ三種トシ左記事項ヲ實行シタル者ニ對シ其ノ成績ヲ調査シ施業經費ノ二分ノ一以內ヲ交付ス但シ土地購入費又ハ借地料ニ對シテハ之ヲ交付セス

一　新植ハ母竹又ハ鞭根ノ植栽

二　改良ハ土入切替又ハ施肥

第三條　左ノ各號ニ揭クルモノハ奬勵金ヲ交付セス

一　新植ハ一段步ノ植栽株數苦竹、淡竹ニ在リテハ六十株未滿、孟宗竹ニ在リテハ三十株未滿ノモノ又ハ公有林野造林補助規程ニヨリ奬勵金ノ交付ヲ受ケタルモノ

二　作業不完全ナルモノ

三　本規程ニ依ル指示ニ違反シタルモノ

第四條　奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ノ一乃至第一號書式ノ五ニ依リ其ノ年三月末日迄ニ申請スヘシ但シ借地造林ニ在リテハ其ノ借地ヲ證スル書類ノ謄本ヲ添附スヘシ

前項ノ申請ヲ爲シタル者ハ其ノ年十二月末日迄ニ第二號書式ノ一乃至第二號書式ノ四ニ依リ報告書ヲ提出スヘシ

第五條　一市町村內ニ於テ申請者五人以上ナル場合ハ代表者ヲ定メ申請スヘシ實行報告提出ノ場合亦同シ

第六條　奬勵金ノ交付ヲ申請シタル竹林ニ對シテハ隨時官吏又ハ吏員ヲシテ之ヲ實査セシメ必要ト認ムルトキハ作業ノ方法ヲ指示セシムルコトアルヘシ奬勵金交付ノ後亦同シ

第七條　本規程ニ依リ提出スヘキ書類ハ所轄市町村長ヲ經由スヘシ

第一號書式ノ一

竹林新植奬勵金交付申請書

所在地	郡（市）町（村）大字　字　地番外何筆分
竹種	苦竹（淡竹）（孟宗竹）
植栽面積	何町何段步
植栽株數	何百何十株
施業期間	何年何月著手 何年何月終了ノ豫定

〔滋賀令〕

右ノ通實行可致候間奬勵金御交付相成度此段及申請候也

年　月　日

郡（市）町（村）大字
（何某外何名代表）　何　某㊞

知事宛

〔滋賀令〕

第一號書式ノ二

申請地內譯書

所在地	竹種	施業種別	施業面積	植栽本數	氏名
町村大字字地番	苦竹	母竹植栽	町 一〇〇〇	六〇	何町村大字何　何　某
同	淡竹	鞭根植栽	〇八〇〇	六〇	同
同	孟宗竹	母竹植栽	二〇〇〇	一六〇	同
計			三八〇〇	二八〇	

第一號書式ノ三

竹林改良奬勵金交付申請書

所在地	郡（市）（町）（村）大字字地番外何筆
竹種	苦竹（淡竹）（孟宗竹）
施業面積	何町何段步
作業種別	施肥（土入）（切替）
施業期間	何年何月著手 何年何月終了ノ豫定

右ノ通實行可致候間奬勵金御交付相成度此段及申請候也

年　月　日

郡(市)町(村)大字
(何某外何名代表)　何　某㊞

知事宛

第一號書式ノ四

申請地内譯書

所在地	竹種	作業種別	施業面積	氏名
町村大字何字地番	苦竹	土入施肥	町 三五〇〇	何町村大字何　何　某
同	孟宗竹	施肥	二〇〇〇	同
同	淡竹	切替	五〇〇〇	同
計			一〇五〇〇	

第一號書式ノ五

貳錢收入印紙

委任狀

今般都合ニヨリ何郡何村大字何何某ヲ以テ部理代人ト定メ拙者共名義ニカカル左ノ權限ヲ委任致候

一大正何年度竹林改良(新植)奬勵金交付申請竝領收方ノ件

右委任狀仍如件

年　月　日

郡市町村大字　何　某㊞

〔滋賀令〕

〔滋賀令〕

郡市町村大字　何　某㊞

注意

個人申請ノ場合ハ第一號書式ノ二、第一號書式ノ四ノ内譯書及第一號書式ノ五ノ委任狀ヲ要セス第一號書式ノ一又ハ第一號書式ノ三ニ依リ申請スヘシ代表者ヲ以テ申請スル場合ハ第一號書式ノ一又ハ第一號書式ノ三ノ申請書ニ第一號書式ノ二又ハ第一號書式ノ四ノ申請地内譯書竝第一號書式ノ五ノ委任狀ヲ添附スヘシ

第二號書式ノ一

竹林新植作業實行報告

何年何月何日附ヲ以テ竹林新植奬勵金交付申請致置候處左記ノ通實行致候ニ付此段及報告候也

年　月　日

郡(市)町(村)大字
(何某外何名代表)　何　某㊞

知事宛

記

所在地	何郡(市)何町(村)大字何字何何番地
植栽面積	何町何段歩
經費	何程

經費内譯別紙ノ通

第二號書式ノ二

經費明細書

郡(市)町(村)大字　何　某

作業種別	金額	摘要
地拵	圓	一坪ニ付何程何坪分
母竹		一株ニ付何程幾株分（但シ堀取運搬チモ含ム）
敷藁（草）		一貫目ニ付何程何十貫目分
繩		一貫目ニ付何程何貫目分
支柱竹		太サ何寸長サ何尺一本ニ付何程何本分
植付費		一人ニ付何程何人分 但一人行程何十株植敷藁支柱共
施肥		何肥料一貫目ニ付何程何貫目分 施肥人夫一人何程何人分
何々		
計		

注意

摘要欄ニハ積算ノ基礎ヲ簡明ニ記載スヘシ

個人申請ノ場合ハ第二號書式ノ一ノ報告書ニ第二號書式ノ二ノ明細書ヲ添附スヘシ

代表者申請ノ場合ハ第二號書式ノ一ノ報告書ニ第二號書式ノ二ノ明細書ヲ各申請地別ニ作製ノ上添附スヘシ

第二號書式ノ三

竹林改良作業實行報告

何年何月何日附ヲ以テ竹林改良奬勵金交付申請致置候處左記ノ通實行致候ニ付此段及報告候也

年　月　日

郡（市）町（村）大字　何　某㊞

〔滋賀令〕

知事宛

記

所在地	何郡何町（村）大字何字何何番地
面積	何町何段歩
經費	何程

內譯

作業種別	面積	經費	摘要
土入	何段歩	圓	八百荷施與一人一日何十荷行程 人夫何人一人一日當何程
施肥	何段歩		藁何百貫施與一貫目何程 何肥料何程一貫目何程 施肥人夫何人一人何程
切替	何段歩		人夫何人一人何程
計			

第二號書式ノ四

經費明細書

所在地	竹種	面積	土入 經費	土入 摘要	施肥 經費	施肥 摘要	切替 經費	切替 摘要	
何町村大字何字何何番地	苦竹	何段歩		何百何十荷入一人 一日何十荷行程 人夫何人一人何程		何肥料何程一貫目 何十錢人夫何人一 人何程		人夫何人 一人何程	何町村大字何 何　某
同	何竹	同		同		……			……

同	……	同	同	……
計				

第二號書式ノ三、第二號書式ノ四ノ注意

摘要欄ニハ積算ノ基礎ヲ簡明ニ記載スヘシ

個人申請ノ場合ハ第二號書式ノ三ニ依リ報告スヘシ

代表申請ノ場合ハ第二號書式ノ三中内譯ヲ省キ第二號書式ノ四ノ申請地別ノ明細書ヲ添附スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年ニ限リ第四條ノ規定ニ依ル申請期日ヲ八月三十一日迄トス

●荒廢地復舊費補助規程

明治四十四年七月八日
縣令第三十五號

沿革　大正二年六月縣令第二三號、三年七月第二九號、八年三月第八號、一二年一〇月第三三號改正

荒廢地復舊費補助規程左ノ通之ヲ定メ發布ノ日ヨリ施行ス

荒廢地復舊費補助規程

第一條　治水上重要ノ關係アル公有、社寺有及私有ニ屬スル保安林又ハ森林法第百七條ニ依リ造林ヲ命シタル土地ノ荒廢地復舊ニ必要ナル地盤保護植樹及地盤保護工事ヲ施行シタルトキハ本規程ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條　本規程ニ於テ地盤保護工事ト稱スルハ造林地保護ノ爲施行スル工事ニシテ地盤保護植樹トハ地盤保護工事ノ堅牢ヲ期スル爲其ノ接續地ニ施行スル植樹ヲ謂フ

〔滋賀令〕

第三條　補助金ハ左記ノ標準ニ依リ事業ノ難易及成績ノ良否ヲ斟酌シテ之ヲ定ム

一、地盤保護工事ニ對シテハ其ノ經費ノ六分ノ五以內

二、地盤保護植樹ニ對シテハ其ノ經費ノ三分ノ一以內

第四條　補助金ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ別紙第一號樣式ニ依リ前々年度二月末日迄ニ申請スヘシ

前項ノ申請ニシテ土地所有者ト施行者ト異ナルトキハ土地所有者ノ承諾書ヲ添付シ尙公共團體ノ事業ニ係ルモノハ其決議書謄本ヲ添付スヘシ

第五條　事業ニ著手セムトスルトキハ著手十日前ニ其ノ旨屆出ツヘシ

補助金ハ事業完了後檢査ノ上交付ス

事業終了シタルトキハ別紙第二號樣式ニ依リ其ノ旨直ニ屆出檢査ヲ受クヘシ

第六條　左記各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ補助金ヲ交付セス

一、砂防指定地ニ於ケル事業

二、公有林野造林補助規程ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタルモノ

三、施業不完全ニシテ地盤保護ノ目的ヲ達シ難シト認メタルトキ

四、施業期間內ニ作業ヲ施行セサルトキ又ハ設計ヲ變更シタルトキ但シ特ニ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　補助金ノ交付ヲ受ケタル工事若ハ植樹ニシテ破損ヲ生シ又ハ樹苗枯死シタルトキハ速カニ之ヲ復舊若ハ補植スヘシ但シ本條ノ復舊又ハ補植事業ニ對シテハ補助金ヲ交付セス

第七條ノ一　補助金交付後ニ於テ書類ニ虛僞ノ記載ヲ爲シ若ハ不正ノ行爲アリタルコトヲ發見シタルトキ又ハ第七條ノ復舊或ハ補植事業ヲ怠リタルトキハ補助金ノ全部若ハ一部ヲ返還セシメ尙將來補助金ヲ交付セサルコトアルヘシ

〔滋賀令〕

第八條　本規程ニ依リ提出スル書面ハ所轄郡市町村長ヲ經由スヘシ

附　則

大正三年度ニ限リ第四條ノ申請期限ヲ大正三年八月末日迄トス

第一號樣式

保安林（造林命令地）荒廢地復舊事業補助金下附申請

施業地	郡（市）町（村）大字　字　第　番
林種別	（土砂扞止林、風致林、水源涵養林）（造林命令地）等ノ別ヲ記ス
所有別	公有、社寺有、私有等
面積	施業地地番別面積
禿赭地面積	禿赭地合計面積
概算工事費	何圓何拾錢
豫定施業期間	自大正　年　月　日 至大正　年　月　日

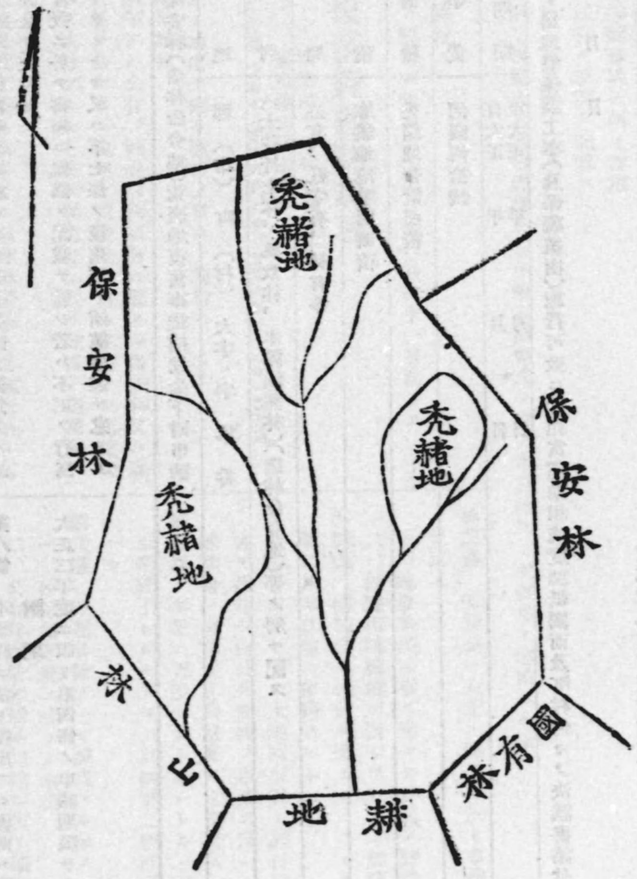
今般荒廢地復舊ノ爲地盤保護工事（及保護植樹）施行可致ニ付相當補助相成度別紙圖面及町村何々ノ決議書添付此段申請候也

大正　年　月　日

何郡（市）何町何村大字何
所有者（管理者若ハ地上權者）　何　某

知事名

何郡(市)何町(村)大字何字何第何番地施業箇所圖



〔滋賀令〕

第二號樣式　地盤保護工事竣功屆

〔滋賀令〕

施業箇所		何郡(市)何町(村)大字何字何第何番				
許可年月日番號		大正何年何月何日森第何號				
竣功年月日		大正何年何月				
施業面積	地盤保護工事	何段何畝歩				
	地盤保護植樹	何段何畝歩（施業箇所ノ全部ヲ記載スヘシ）				
施業經費						
內譯						
工種	番號	名稱	數量	金額	備考	
積苗工	一		何十何間	圓	箇所ノ異ナル毎ニ番號ヲ別ニシ延長ノ計ヲ記入スヘシ	
		切芝	何枚			
		藁	何貫			
		苗木	何十本			
		木灰	何貫			
		人失	何人			
小計						
山腹石積工	一		何十何間		箇所ノ異ナル毎ニ番號ヲ別ニシ延長ノ計ヲ記入スヘシ	

工種	箇所	品目	數量	摘要
		野面石	何十坪	
		藁	何貫	
		苗木	何本	
		木灰	何貫	
		人夫	何人	
小計				
筋工	一		何十何間	箇所ノ異ナル毎ニ番號ヲ別ニシ延長ノ計ヲ記入スヘシ
		藁	何貫	
		苗木	何本	
		木灰	何貫	
		人夫	何人	
小計				
石堰堤	一		上幅何間 下幅何間	箇所ノ異ナル毎ニ番號ヲ別ニシ本欄ニ外法内法ヲ記スヘシ
		野面石	何坪	
		礫	何立坪	
		石工	何人	
		人夫	何人	

〔滋賀令〕

工種	箇所	品目	數量	摘要
小計				
谷止石積工	一		上幅何間 下幅何間	箇所ノ異ナル毎ニ番號ヲ別ニシ本欄ニ法長ヲ記入スヘシ
		野面石	何坪	
		礫	何立坪	
		石工	何人	
		人夫	何人	
小計				
土堰堤	一		上幅何間 下幅何間	箇所ノ異ナル毎ニ番號ヲ別ニシ本欄ニ法長ヲ記入スヘシ
		切芝	何枚	
		粘土	何立坪	
		人夫	何人	
小計				
水路（張石張芝）工	一		何十間	箇所ノ異ナル毎ニ番號ヲ別ニシ弦長何間水深何間ヲ記入スヘシ
		野面石	何坪	
		礫	何立坪	
		石工	何人	
		人夫	何人	

〔滋賀令〕

種別	數量		備考
小計			
（根止石積工）（護岸石積工） 一	直高 何間 延長 何間		箇所ノ異ナル毎ニ番號ヲ別ニスヘシ
野面石	何坪		
礫	何立坪		
石工	何人		
人夫	何人		
小計			
合計			

右之通竣功仕候間別紙圖面相添此段及御屆候也

大正何年何月何日

何郡（市）何町（村）大字何

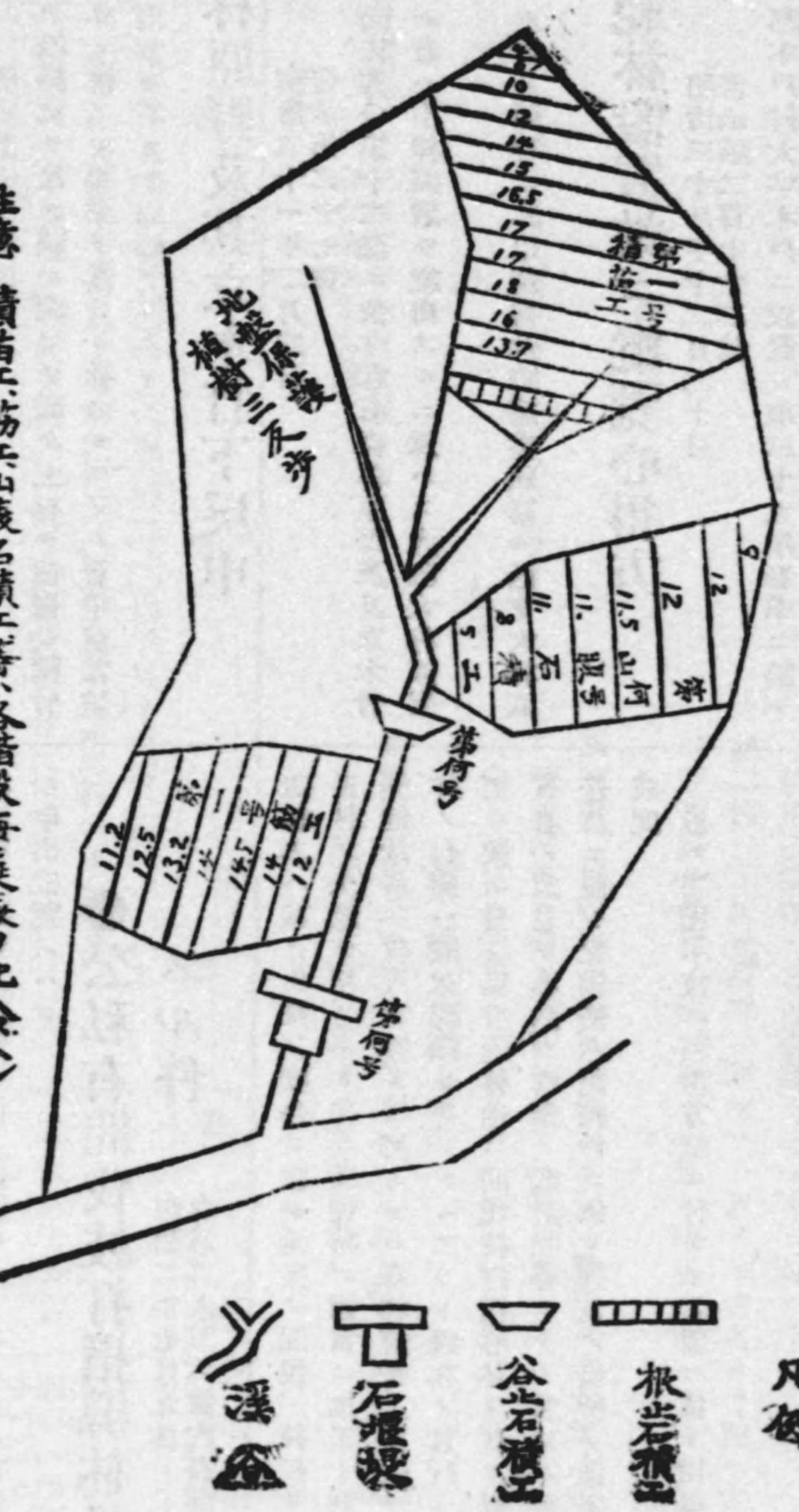
何 某㊞

知事宛

（滋賀令）

（滋賀令）

何郡（市）何町（村）大字何字何第何番地盤保護工事竣功箇所圖



注意 積苗工、筋工、山腹石積工等ハ各階段毎ニ延長ヲ記入スヘシ

●官林境界地ニ事業ヲナサントスルトキ屆出方

明治二十二年十二月二十七日
告示第七十四號

官林ニ接スル民有地ニ於テ境界杭ヲ建テ或ハ圍ヒヲ設ケ土石ヲ掘採シ樹竹ヲ栽植伐採スル等凡ソ境界ニ接スル事業ヲ爲ント欲スルモノハ著手前當該官林所轄ノ派出所ヘ可屆出旨其筋ヨリ通知アリタリ

●官有森林原野及其立木竹下戻申請方

明治三十一年二月四日
告示第二十七號

明治三十年(八月六日)農商務省令第十三號ニ依リ官有森林原野及其立木竹ノ下戻申請ヲナサントスル者ハ小林區署ヲ經由スルニ及ハス大阪大林區署ヲ經由シテ提出スヘシ

前項ノ申請ヲナサントスル者ハ同時ニ其申請書及證據書類寫一通ヲ大林區署ニ差出スヘシ

●第一模範林設置竝ニ縱覽心得方

明治三十八年十二月二十日
告示第二百七十二號

滋賀縣第一模範林ヲ滋賀郡木戸村大字木戸ニ設置シ來三十九年春季ニ於テ植樹ヲ實行ス

一　模範林ハ公衆ノ縱覽ニ供ス

二　縱覽セントスル者ハ當分ノ内滋賀郡木戸村役場ニ申出縱覽スヘシ

●第二模範林設置竝ニ縱覽心得方

明治四十年三月十六日
告示第八十二號

滋賀縣第二模範林ヲ伊香郡片岡村大字小谷ニ設置シ本年春季ヨリ植樹ヲ實行ス

模範林ハ公衆ノ縱覽ニ供ス縱覽セントスル者ハ當分ノ内伊香郡片岡村役場ニ申出縱覽スヘシ

●公私有間伐枝打指導林設置ニ關スル件

昭和二年七月九日
森第二九三六號内務部長通牒
番市町村長宛

造林木ハ其ノ生長ノ度合ニ應シ適度ノ間伐、枝打ヲ施シ健全ニ生育セシメ良材ノ生産ヲ期スルト共ニ間伐材ハ適當ニ加工シ利用價値ノ增加ヲ圖リ造林地最多ノ收入ヲ獲ルニ努ムルハ森林經營上緊要ナル事ト存候近時間伐枝打ノ必要ハ漸次認識セラレツヽアリト雖其ノ實行ニ當リテハ特別ノ技術ヲ要シ候ニ付公私有造林地ニ間伐枝打指導林ヲ設ケ縣ヨリ技術員ヲ派遣シ所有者ノ意見ヲ參酌シ作業ノ設計指導ヲナシ實地ニ模範ヲ示シ一層之カ指導普及ニ便シ度候條左記條件ニ依リ適當ノ箇所ヲ選定申請相成候樣御取計相成度

追テ間伐木枝ノ利用方法ニ付テモ希望ニ依リ指導セシムヘク爲念申添候

記

公私有間伐枝打指導林設置條件

一、樹種ハ杉、扁柏、赤松、黑松、其ノ他ノ用材ヲ目的トスル造林地トス

二、面積ハ一箇所二段歩以上トシ可成交通便利ナル箇所ヲ選定スルコト

三、作業ニ要スル經費ハ所有者ノ負擔トシ其ノ收入ハ所有者ノ收入トス

四、指導林ノ設置ヲ受ケムトスルモノハ左記樣式ノ申請書ヲ提出スルコト

〔滋賀令〕

記

公私有間伐枝打指導林設置申請書

所在地　何郡何町村大字何字何、何番地
面積　何町何段歩(臺帳又ハ實測)
樹種　杉又ハ何(二種以上ノ樹種ハ混淆歩合)
林齡　何年生
立木本數　何千本

右ノ箇所ヲ間伐枝打指導林トシテ御指定相成度申請候也

年　月　日

何郡何町村(長)大字何何字、何番地
何　某印

知事宛

●木炭檢査規則

昭和二年七月九日
縣令第五十二號

第一種　白炭

類別		選別	別法	量目	俵裝
樫	丸割込	直徑一五粍(約五分)以上六糎(約二寸)以下長サ九糎(約三寸)以上 直徑三糎(約一寸)以上九糎(約三寸)以下長サ九糎(約三寸)以上 直徑ノ大小長短ノ如何ヲ問ハス長サ六糎(約二寸)以上		正味 一八、七五〇瓩(五貫) 一五瓩(四貫)ノ二種	材料　萱、藁 形狀　丸 編間　一四糎(約四寸五分)以上　一七糎(六寸五分)以下 編數　三箇所以上 口當　小枝、薄キ割板 掛繩　口繩ハ轡掛其ノ他トシ六箇所掛以上トス縱繩ハ接目ナキ一筋
楢 楢ニハオーナラ、ミヅナラ、カシワ等ノ楢類櫟、アベマキヲ入ルコトヲ得	丸割込	樫丸ニ同シ 樫割ニ同シ 樫込ニ同シ			

〔滋賀令〕

木炭檢査規則左ノ通定ム

木炭檢査規則

第一章　總則

第一條　本縣内ニ於テ生産シタル木炭ノ品質改良ト聲價ノ向上トヲ計ラムカ爲本則ニ依リ木炭檢査ヲ施行ス

前項ノ檢査ハ之ヲ希望スルモノニ就テ行フ

第二條　木炭ノ檢査ニ對シテハ其ノ申告者ヨリ別ニ定ムル所ノ規則ニ依リ手數料ヲ徵收ス但シ第十八條ノ規定ニ依ル再檢査ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三條　第四條ノ規定ニ依ル木炭ノ規格及第五條ノ規定ニ依ル木炭ノ品位等級標準ニ關シ知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ別ニ定ムル標準木炭査定會ノ意見ヲ徵スルコトアルヘシ

第二章　木炭ノ規格

第四條　檢査ヲ受クヘキ木炭ハ左記各號ニ依リ調製スヘシ

一　類別、俵裝、量目ハ左表ニ依ル

雜	丸	樫丸ニ同シ	
調業樹但シクルミ、クリ、ヌルデ、朴ヲ入ルルコトヲ得ス	割	樫割ニ同シ	
	込	樫込ニ同シ	

第二種　黒炭

樫	丸	直徑二種（約七分）以上九種（約三寸）以下長サ九種（約三寸）以上長サ九種（約三寸）以上	正味一八、七五〇瓩（五貫）一五、瓩（四貫）七、五〇〇瓩（二貫）ノ三種
	割	長徑三種（約一寸）以上九種（約三寸）以下直徑九種（約三寸）以上	
	込	直徑一五耗（約五分）以上長徑二種（約七分）以上長サ六種（約二寸）以上	
櫟類、クヌギ、アベマキヲ入ルルコトヲ得但シアベマキハ樹皮ヲ除クコト	丸	樫丸ニ同シ	
	割	樫割ニ同シ	
	込	樫込ニ同シ	
樅	丸	樫丸ニ同シ	
	割	樫割ニ同シ	
	込	樫込ニ同シ	

【施行令】

俵裝ハ第一種ニ準シ形狀ハ角トス但シ類別込ニシテ角俵トナシ能ハサルモノハ丸俵トナスコトヲ得

正味七、五〇〇瓩（二貫）俵裝ノ重量ハ藁俵三七五瓦（百匁）乃至一、一二五瓦（三百匁）壹俵五六二瓦（約百五十匁）乃至一、一二五瓩（三百匁）

角俵ニ於ケル炭ノ詰込ハ短邊ニ竝列スルモノトス

縄ヲ用キ一廻以上横縄ヲ一廻シ又ハ編縄ヲ施ヒ其ノ先端ヲ長サ六種（約二寸）內外ノ結ヒ止トナス

横縄ハ二廻シ二箇所以上俵裝ノ重量ハ壹俵七五〇瓦（二百匁）乃至一、五〇〇瓩（四百匁）壹俵七五〇瓦（二百匁）乃至一、七〇〇瓩（約四百五十匁）

雜	丸	直徑二種（約七分）以上一二種（約四寸）以下長サ九種（約三寸）以上	正味一五、瓩（四貫）七、五〇〇瓩（二貫）ノ三種
調業樹但シ栗、ヌルデ、朴、タルミヲ入ルルコトヲ得ス	割	樫割ニ同シ	
	込	樫込ニ同シ	

第三種　松炭其ノ他

白荒炭		二四耗（約八分目）篩ニ止リタルモノ	俵裝ハ第一種ニ準シ形狀ハ角、丸トス
黒荒炭		白荒炭ニ同シ	
白栗炭		直徑及長サヲ問ハス	
クルミ、クリ、ヌルデ、朴ヲ入ルルコトヲ得			
黒栗炭		同上	
クルミ、クリ、ヌルデ、朴ヲ入ルルコトヲ得			
松炭		同上	
針葉樹ヲ資材トシタルモノ			

【施行令】

備考

一　樹種名ヲ冠シ第一種又ハ第二種ノ規格ニ依ル調製ヲ爲スコトヲ得

二　丸炭ニシテ直徑九種（約三寸）雜ニ限リ直徑一二種（約四寸）以上ノモノハ割炭ト看做ス

三　長徑ト雖割裂サレタル邊ノ最長キモノヲ謂フ

二土石、木片其ノ他ノ夾雜物ヲ混入スヘカラス

第五條　品位等級ハ其ノ品質ニ依リ前條ノ類別毎ニ極上、上、竝ニ區別ス

前項ノ規定ニ依ラサルモノ及煙リ、爆發（栗炭ヲ除ク）ノ俱アルモノハ格外トス

第六條　檢查ヲ受クヘキ木炭ニシテ特殊ノ事由ニ依リ第四條ノ規定ニ依リ難キモノハ其ノ事由ヲ具シテ知事ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ヲ受ケタル者ハ檢查申告ノ場合其ノ旨附記スヘシ

第三章　檢查

第七條　檢查ハ木炭檢查吏員之ヲ行フ

第八條　本則ニ於テ木炭檢查吏員ト稱スルハ木炭檢查監督員及木炭檢查員

チ謂フ

第九條　檢査ハ木炭生産者又ハ檢査申告者ノ居宅、倉庫若ハ之ニ準スヘキ場所ニ於テ行フ

第十條　檢査ヲ受ケムトスル者ハ現品ノ所在地及數量ヲ書面又ハ口頭ヲ以テ所轄檢査員駐在所ニ申告スヘシ

第十一條　檢査ハ申告ノ順序ニ依リ之ヲ行フ但シ木炭檢査吏員ニ於テ必要ト認ムルトキハ其ノ順序ヲ變更シ又ハ檢査ノ場所及期日ヲ指定スルコトアルヘシ

第十二條　檢査ノ申告ヲ爲シタル者ハ受檢前豫メ現品ヲ類別毎ニ配列シ第一號樣式ニ依ル檢査證紙ニ住所、氏名ヲ記入シ之ヲ俵裝縱繩結止ニ結付ケ置クヘシ

第十三條　檢査ハ類別、俵裝、量目及品質ニ就キ每俵之ヲ行フ但シ俵裝以外ニ就テハ標準檢査ヲ行フコトアルヘシ

第十四條　檢査ヲ行フニ當リ第四條ノ規定ニ依ル量目、俵裝ニ依ラサルモノ又ハ燻炭其ノ他ノ夾雜物ヲ混入シ若ハ濕氣ヲ帶ヒタル木炭アルトキハ其ノ理由ヲ示シ檢査ヲ中止スルコトアルヘシ

第十五條　木炭檢査吏員檢査ヲ行ヒタルトキハ第二號樣式卷封紙ヲ證紙ノ結止ニ卷付ケ之ニ認印シ證紙ニハ別ニ定ムル所ノ種類、量目、檢査ノ等級、檢査年月日ヲ表示シタル記號印ヲ押捺ス

第十六條　檢査ハ日出ヨリ日沒迄ノ間ニ於テ之ヲ行フ但シ木炭檢査吏員ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　檢査濟ノ木炭ニシテ證紙又ハ卷封紙ヲ亡失又ハ汚損シタルトキハ更ニ檢査ヲ受クルコトヲ得

第十八條　檢査濟ノ木炭ト雖木炭檢査吏員ニ於テ必要アリト認ムルトキハ再檢査ヲ行フコトアルヘシ

〔滋賀令〕

第十九條　檢査ノ爲必要ナル積替、運搬、秤量又ハ解俵ニ要スル費用ハ受檢者ノ負擔トス

第二十條　木炭檢査吏員其ノ職務ヲ行フ場合ハ第三號樣式ノ本炭檢査吏員證ヲ携帶ス

第四章　取締

第二十一條　本則ニ規定シタル證紙、卷封紙及檢印ニ類似ノモノヲ使用スルコトヲ得ス

第二十二條　證紙、卷封紙ハ再ヒ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第二十三條　木炭檢査吏員又ハ警察官吏ニ於テ本則ニ違反ノ疑アリト認ムルトキハ木炭ノ積替、解俵、保管、運搬停止又ハ關係資料ノ提供ヲ命スルコトヲ得

第五章　罰則

第二十四條　左ノ各號ニ揭クル行爲ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料若ハ拘留ニ處ス

一　第二十一條又ハ第二十二條ノ規定ニ違反シタルトキ

二　檢査濟ノ木炭ニ不正ノ手段ヲ施シタルトキ

三　正當ノ事由ナクシテ檢査ヲ受ケタル木炭ノ證紙又ハ卷封紙ヲ破毀シタルトキ

第二十五條　代理人、雇人其ノ他ノ從業者カ本則ノ規定ニ違反シタルトキハ本人又ハ雇主ハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ責ヲ免カルルコトヲ得ス

第二十六條　未成年者又ハ禁治産者ニシテ本則ニ違反シタルトキハ本則ニ規定セル罰則ハ之ヲ其ノ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條　法人ニシテ本則ニ違反シタル場合ハ其ノ罰則ハ法人ノ代表者ニ適用ス

附　則

本令ハ昭和二年七月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

〔滋賀令〕

第一號樣式

九糎（三寸）

表面

六糎（二寸）

木炭檢査證紙（四貫）
正味十五瓩

滋賀縣

↑五糎（一寸六分）↓

裏面

生産者
住所滋賀縣　郡　村
氏名

表面　正味　一五、瓩（四貫）ハ赤
正味　一八、七五〇瓩（五貫）ハ青
正味　七、五〇〇瓩（二貫）ハ黃

裏面ハ白色

●木炭検査施行手續

（昭和二年十一月九日令第三百二十號）

第一條　木炭検査施行手續左ノ通定ム
木炭検査規則（以下規則ト稱スル）ニ定ムル木炭検査ハ本手續ニ依リ施行スヘシ

第二條　検査ハ左ノ日ニ同一ノ場所ニ於テ之ヲ施行スヘシ
一　木炭ノ形狀、大小、長短及其ノ整否

第三條　検査ニ當リテハ申告者又ハ其ノ代理人ヲ立會セシムヘシ

第四條　木炭検査ニ關シ利害ノ生スル虞アル場合ニ於テハ自己ノ直系親子兄弟ノ外検査ニ係ル木炭ノ検査ヲ施行スルコトヲ得ス

第五條　木炭検査員ハ左ノ場合ニ於テハ自己又ハ前條ニ該當スル者ノ爲ニ検査ヲ施行スルコトヲ得ス
一　木炭検査員ノ疾病其ノ他事故ニ因リ検査ヲ行フコト能ハサルトキ又ハ前條ニ該當スル者ノ爲ニ検査ヲ行フコト能ハサル事故發生シタルトキ

第六條　木炭検査員規則第六條ノ許可申請ヲ受理シタルトキハ直ニ検査監督員ヲ經テ知事ニ進達スヘシ但シ急ヲ要スル場合ハ最寄木炭検査員ニ検査ヲ出張セシムル方法ヲ協議シ其ノ旨届出ツヘシ

第七條　木炭検査員ハ受検者ト協議ノ上適當ノ區域、場所及日割ヲ定メ検査ヲ行フコトヲ得

第八條　前項ノ場合ニ於テハ豫メ検査監督員ノ承認ヲ受クヘシ

第九條　俵装ノ木炭ハ形狀、俵ノ寸法、口當、掛繩及調製等ニ付目ノ検査ハ秤量シタル後俵装ノ重量ヲ調査シ、正味量ヲ確ムヘシ

第十條　類別及品質ノ検査ハ左ノ各號ニ依リ鑑定スヘシ
一　木炭ノ形狀、大小、長短及其ノ整否

第二號樣式

（分七約）寸二

木炭検査之證
極上

六厘（約一寸五分）

裏面　格外　白色　紫色　赤色　青色　黄色　極上　上　等外

第三號樣式

第　號
木炭検査
檢査員ノ印
更迭ノ際ハ其ノ旨記載スヘシ

第十一條　木炭ノ光澤、硬度、香氣、皮付及龜裂ノ狀態ノ等級ハ左ノ標準ニ基キ第八條乃至第十條ノ規定ニ依ル箱ニ表チ參照シテ之チ決定スヘシ

第一種　白炭

種類	區別	極上 長サ	極上 長直徑	上 長サ	上 長直徑	格外
丸	割	モ形五四以一寸五分、長直徑一寸五分以上ノ狀ヲ描ヒヲル	上一二寸以四寸以下	九寸以上三寸以	六以一寸五分、長直徑一寸五分以上ノ	各等級ノ直徑、長徑、長サチ備フルモ品質調製著シク劣リ又ハ煙リ燒ノ恐アルモノ
丸	割	モ形下六以一寸五分、長直徑一寸五分以ノ狀ヲ描ヒヲル	同	同	下九以一寸五分、長直徑一寸五分以ノ	
丸	込	モ形上丸二分ノ一以ノ狀ヲ描ヒヲル	六寸以上二寸以	六寸以上二寸以	下九以一寸五分、長直徑一寸五分以ノ	

第二種　黒炭

種類	區別	極上 長サ	極上 長直徑	上 長サ	上 長直徑	格外
丸		モ形下六上三寸以一寸二分、長直徑一寸二分以ノ狀ヲ描ヒヲル	上一寸二分以四寸二分以	九寸以上三寸以	下六上三寸以一寸二分、長直徑一寸二分以ノ	第一種ニ準ス
丸	割	モ形下六上三寸以一寸二分、長直徑一寸二分以ノ狀ヲ描ヒヲル	同	同	下九上三寸以一寸二分、長直徑一寸二分以ノ	
丸	込	モ形上丸二分ノ一以ノ狀ヲ描ヒヲル	六寸以上二寸以	六寸以上二寸以	下九上三寸以一寸二分、長直徑一寸二分以ノ	

〔滋賀令〕

樺		櫟			楢			
割	込	丸	割	込	丸	割	込	丸
三糎（一寸）以上九糎（三寸）以下形狀揃ヒタルモノ	丸二分ノ一以上形狀揃ヒタルモノ	二糎（七分）以上六糎（二寸）以下形狀揃ヒタルモノ	三糎（一寸）以上九糎（三寸）以下形狀揃ヒタルモノ	丸二分ノ一以上形狀揃ヒタルモノ	三糎（一寸）以上九糎（三寸）以下形狀揃ヒタルモノ	三糎（一寸）以上九糎（三寸）以下形狀揃ヒタルモノ	丸二分ノ一以上形狀揃ヒタルモノ	三糎（一寸）以上六糎（二寸）以下形狀揃ヒタルモノ
同	九糎（三寸）以上	一二糎（四寸）以上	同	九糎（三寸）以上	同	同	九糎（三寸）以上	一二糎（四寸）以上
同	丸四分ノ一以上形狀揃ヒタルモノ	二糎（七分）以上六糎（二寸）以下形狀揃ヒタルモノ	三糎（一寸）以上九糎（三寸）以下形狀揃ヒタルモノ	丸四分ノ一以上形狀揃ヒタルモノ	三糎（一寸）以上九糎（三寸）以下形狀揃ヒタルモノ	一、五糎（五分）以上一二糎（四寸）以下形狀揃ヒタルモノ	丸四分ノ一以上形狀揃ヒタルモノ	二糎（七分）以上九糎（三寸）以下形狀揃ヒタルモノ
同	六糎（二寸）以上	九糎（三寸）以上	同	六糎（二寸）以上	同	九糎（三寸）以上	六糎（二寸）以上	九糎（三寸）以上
同	丸、割ノ如何チ問ハス	二糎（七分）以上九糎（三寸）以下	三糎（一寸）以上九糎（三寸）以下	丸、割ノ如何チ問ハス	三糎（一寸）以上九糎（三寸）以下	一、五糎（五分）以上一二糎（四寸）以下	丸、割ノ如何チ問ハス	二糎（七分）以上九糎（三寸）以下
同	六糎（二寸）以上	九糎（三寸）以上	同	六糎（二寸）以上	同	九糎（三寸）以上	六糎（二寸）以上	九糎（三寸）以上

〔滋賀令〕

雜			松炭			黑栗炭	白栗炭	白荒炭黑荒炭
割	込	丸	割	込	丸			
三糎（一寸）以上九糎（三寸）以下形狀揃ヒタルモノ	丸二分ノ一以上形狀揃ヒタルモノ	三糎（一寸）以上九糎（三寸）以下形狀揃ヒタルモノ	—	—	—	—	—	—
同	九糎（三寸）以上	同	—	—	—	—	—	—
三糎（一寸）以上九糎（三寸）以下形狀揃ヒタルモノ	丸四分ノ一以上形狀揃ヒタルモノ	三糎（一寸）以上九糎（三寸）以下形狀揃ヒタルモノ	同	同	三糎（一寸）以上九糎（三寸）以下形狀揃ヒタルモノ	同	同	形狀揃ヒタルモノ
同	六糎（二寸）以上	同	—	—	九糎（三寸）以上	—	—	—
三糎（一寸）以上一二糎（四寸）以下	丸、割ノ如何チ問ハス	三糎（一寸）以上一二糎（四寸）以下	同	同	三糎（一寸）以上一二糎（四寸）以下	同	同	第一種ニ準ス
同	六糎（二寸）以上	同	—	—	—	—	—	—

第三種　松栗炭其ノ他

各等級該當ノ長サ及寸法チ具フルモ品質、調製ノ劣レルモノハ一等級チ下ク、上ニハ極上ニ該當スル直徑及長サチ具フルモノ、並ニハ極上及上ニ該當スル直徑及長サチ具フルモノチ混入スルコトチ得

第十二條　規則第十三條ノ規定ニ依ル標準檢査ヲ施行スル場合ハ類別毎ニ左ノ標準ニ依リ檢査ヲ行フヘシ

十俵迄　三俵以上、　三十俵迄　五俵以上

五十俵迄　七俵以上、　百俵迄　十俵以上

第十三條　木炭檢査員木炭檢査ヲ終了シタルトキハ自ラ卷封紙、記號印ヲ使用シ其ノ檢査ノ結果ヲ檢査手簿（第一號樣式）及檢査簿（第二號樣式）ニ登載スヘシ但シ第五條ノ規定ニ依ル委託ヲ受ケタル檢査員ハ其ノ結果ヲ檢査地所屬ノ檢査簿ニ登載スヘシ

第十四條　木炭檢査員規則第十四條ノ規定ニ依リ檢査ヲ中止シタルトキハ更ニ期間ヲ指定シ再調製セシムルコトヲ得

第十五條　木炭檢査吏員規則第十八條ノ規定ニ依ル再檢査ヲ爲シ前檢査ノ結果ヲ不當ト認メタルトキハ類別、等級其ノ他ヲ變更シ認印ヲ爲シ檢査簿ニ登載スヘシ

第十六條　木炭檢査吏員受檢者ヨリ木炭檢査吏員證ノ閲覽ヲ求メラレタルトキハ之ヲ提示スヘシ

第十七條　木炭檢査吏員規則第二十三條ノ規定ニ依リ木炭ノ保管、運搬停止又ハ關係資料ノ提示ヲ命シタルトキハ直ニ之ヲ知事ニ報告スヘシ

第十八條　木炭檢査員規則ニ違反シタル者又ハ其ノ疑アル者ヲ發見シタルトキハ證憑ヲ蒐集シ事情ヲ具シテ直ニ知事ニ報告シ指揮ヲ受クヘシ

第十九條　木炭檢査員ハ毎月左記事項ヲ調査シ翌月五日迄ニ檢査監督員ヲ經テ之ヲ知事ニ報告スヘシ

一　木炭檢査成績　第三號樣式

二　木炭價格調査表　第四號樣式

三　卷封紙受拂報告　第五號樣式

第二十條　木炭檢査員駐在所ニハ左ノ簿冊ヲ備フヘシ

一　木炭檢査簿　第二號樣式

二　消耗品受拂簿　第六號樣式

三　卷封紙受拂簿　第七號樣式

四　備品現在簿　第八號樣式

五　木炭檢査申告書綴

六　諸報告書綴

七　往復文書綴

附則

本令ハ昭和二年七月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

木炭檢査手簿

檢査月日	種別	一俵量目	俵數	決定等級	受檢者 住所	受檢者 氏名
七月一日	樫丸	四貫一五瓩	五俵	極上	山上村大字山上	里內藤五郎
同月同日	同割	同貫	一〇俵	同	同村大字同	同人
同月同日	同込	同貫	三俵	同	同村大字同	同人

〔滋賀令〕

同月同日	楢丸	同貫	一二俵	同	同村大字同	山田重五郎
同月同日	同込	四貫	一〇俵	上	同村大字同	同人
月日（計）		貫	四〇俵		村大字	
月日		貫	俵		村大字	
月日		貫	俵		村大字	

〔滋賀令〕

第二號樣式

檢査簿

檢査月日	等級	量目	第一種 樫丸	第一種 樫割	第一種 樫込	第一種 楢丸	第一種 楢割	第一種 楢込	第一種 雜丸	第一種 雜割	第一種 雜込	第三種 栗炭	第三種 松炭	第三種 荒炭	第三種 粉炭	計 丸	計 割	計 込	計 其他	計 計
七月一日	極上	貫四瓩	五俵	一〇俵	三俵	一二俵	一俵	一〇俵	一〇五俵	七〇俵	二俵	一俵	一俵	一俵	一俵	一二二俵	八〇俵	一五俵	一俵	二一七俵
七月一日	上	四	一	一	一	一〇	五	一	一〇〇	五〇	一〇	一	一	一	一	一一〇	五五	一〇	一	一七五
七月一日	並	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇	一〇	五	一	一	一	一	二五	二五
月日（日計）			五	一〇	三	二二	五	一〇	二〇五	一二〇	一二	一〇	一〇	五	一	二三二	一三五	二五	二五	四一七
月日																				
月日																				
月日																				

第三號樣式

昭和二年七月分　黑白炭檢查報告

神崎郡山上村大字何々　木炭檢查員　氏名

等級 上極	上	上	上	上	第三種	第三種	第三種	第三種	計	計	計	計	計
重目	第一種 丸	第一種 割	第一種 込	第一種 丸	第一種 割	第一種 込	第一種 丸	第一種 割	第一種 込	丸	割	込	他其	計
一、七、二、五、六、貫匁	一〇俵	五俵	六俵	一一〇俵	三俵	一俵	一、〇〇俵	五〇俵	一〇俵	一、一〇俵	五六俵	一、〇六俵	一俵	一、一六俵
四、一、三貫匁				一〇〇	一〇〇	三〇	一、〇〇	三〇〇	三〇	三〇〇	五〇〇	六〇	一	六六〇
五、六、七、二貫匁														
二、六、七、貫匁														

種別	第三種 炭栗	第三種 炭松	第三種 炭荒	第三種 炭粉
	一俵	一俵	一俵	一俵

（滋賀令）

第四號樣式

昭和　年　月末日　木炭價格調查報告　調查場所　郡　村大字

注意　毎月五日限り提出スヘシ

樹種別	種別	極上	上	上	上	上	上	計	計	計	計	計
		二、七、二、五、六、貫匁	四、一、三貫匁	二、六、七、貫匁	四、一、三貫匁	二、六、七、貫匁	四、一、三貫匁	二、六、七、貫匁	四、一、三貫匁	二、六、七、貫匁	四、一、三貫匁	二、六、七、貫匁
極 丸	圓											
極 割	圓											
極 込	圓											
上俵 丸	圓											
上俵 割	圓											
上俵 込	圓											
上取引價格 丸	圓											
上取引價格 割	圓											
上取引價格 込	圓											
並 丸	圓											
並 割	圓											
並 込	圓											
外格 丸	圓											
外格 割	圓											
外格 込	圓											
合計 丸		一〇			一〇〇			一、一〇	三〇〇	一、一〇	三〇〇	一、四〇
合計 割		五			一〇〇			一、〇〇	三〇〇	一、〇〇	三〇〇	一、三〇
合計 込		六			一一〇			一、一〇	三五〇	一、一六〇	三五〇	一、五一〇
合計		一〇			一一〇			一、一〇	三五〇	一、一六〇	三五〇	一、五一〇

（滋賀令）

第五號樣式

種別	未檢査丸品 正味	未檢査丸品 正味	未檢査丸品 正味	粉	荒	松	栗	雜 込	雜 割	雜 丸	楢 込	楢 割	楢 丸	櫟 込	櫟 割	櫟 丸

〔滋賀令〕

第六號樣式

發第　號
昭和　年　月　日

本炭檢査　員駐在所

月分卷封受拂報告

種別	前月ヨリ越高	本月中受入高	合計	本月中使用高	差引現在高
楢上	五〇〇枚	一、〇〇〇枚	一、五〇〇枚	一、三〇〇枚	二〇〇枚
上	二〇〇	二、〇〇〇	二、二〇〇	一、八〇〇	四〇〇
並	一〇〇	一、五〇〇	一、六〇〇	一、〇〇〇	六〇〇
格外	一〇〇	五〇〇	六〇〇	五〇〇	一〇〇
計	九〇〇	五、〇〇〇	五、九〇〇	四、六〇〇	一、三〇〇

卷封紙使用明細

種別	檢査使用高	再檢査使用高	誤使用高	不足高	合計
楢上	一、二五〇枚	三〇枚	一五枚	五枚	一、三〇〇枚
上	一、七〇〇	一〇〇	一	一	一、八〇〇
並	九七〇	一五	一〇	五	一、〇〇〇
格外	四九〇	七	二	一	五〇〇
計	四、四一〇	一五二	二七	一一	四、六〇〇

〔滋賀令〕

消耗品受拂簿

月日	受入高	拂出高	現在高	取扱者印

注意　種類別ニ口座ヲ設ケ調製スヘシ

第七號樣式

卷封紙受拂簿

月日	受入數量	拂出數量	現在數量	取扱者印
	枚	枚	枚	

注意　卷封紙ハ色別ニ口座ヲ設クヘシ

第八號樣式

備品現在簿

〔滋賀令〕

品目	年月日	摘要	受入高	返納高	現在高	備考
			枚	枚	枚	

〔滋賀令〕

●木炭檢查手數料規則

昭和二年七月九日
縣令第五十三號

縣會ノ議決ヲ經テ木炭檢查手數料規則左ノ通定ム

木炭檢查手數料規則

第一條　木炭檢查ヲ希望スル者ハ手數料トシテ三、七五〇瓩（一貫匁）ニ付金四厘ノ割合ニ依リ證紙ヲ以テ納付スヘシ

第二條　證紙ハ左ノ種類ニ依ル

二錢	一八、七五〇瓩
一錢六厘	一五、瓩
八厘	七、五〇〇瓩

（正味量五貫匁）
（正味量四貫匁）
（正味量二貫匁）

第三條　證紙ノ賣捌人ハ知事之ヲ指定ス

前項ニ依リ指定セル賣捌人ノ住所、氏名及賣捌區域ハ別ニ之ヲ告示ス廢止シタルトキ亦同シ

第四條　賣捌人ニ於テ證紙ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ第一號樣式ニ依ル請求書ヲ知事ニ差出シ其ノ代金ハ納額告知書ニ依リ納付スルモノトス

第五條　賣捌人證紙ヲ受領シタルトキハ遲滯無ク第二號樣式ニ依ル領收書ヲ縣物品出納吏ニ差出スヘシ

第六條　賣捌人ニハ證紙代金納付金額ノ百分ノ四ヲ交付ス
前項ノ交付金ハ毎年七月、九月、十二月、翌年三月ノ四期ニ分チ其ノ前三箇月分ヲ取纏メ交付スルモノトス

第七條　賣捌人ハ常ニ適當ノ證紙ヲ備ヘ需要者ノ支障トナラサル樣販賣スヘシ

第八條　破損又ハ汚染シタル證紙ハ無效トス

第九條　規則改廢ノ爲使用スルコト能ハサル證紙ハ引換ヲ請求スルコトヲ得

第十條　賣捌人ハ第三號樣式ニ依ル受拂簿ヲ備ヘ常ニ其ノ受拂ヲ整理シ木炭檢査吏員ノ請求アリタルトキハ閲覽ヲ拒ムコトヲ得ス

第十一條　賣捌人ハ第四號樣式ニ依ル標札ヲ掲クヘシ

第一號樣式

木炭檢査證紙請求書

種類	數量	摘要
二錢券	枚	
一錢六厘券		
八厘券		
合計		

右請求候也

年　月　日

郡　町村大字

賣捌人　氏　名㊞

滋賀縣知事　氏　名殿

第二號樣式

木炭檢査證紙領收書

〔滋賀令〕

種類	數量	摘要
二錢券	枚	
一錢六厘券		
八厘券		
合計		

右領收候也

年　月　日

郡　町村大字

賣捌人　氏　名㊞

滋賀縣物品出納吏官職　氏　名殿

第三號樣式

年月日	摘要	受高	拂高	現在高
昭和三年四月一日	前年度ヨリ越高	一、〇〇〇枚	枚	一、〇〇〇枚
四月十日	縣ヨリ受入	二、〇〇〇		三、〇〇〇
四月十一日	何某ヘ賣渡		一、五〇〇	一、五〇〇
月計		三、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
累計				

注意　證紙ノ種類別ニ口座ヲ設ケ調製スヘシ

第四號樣式

○　滋賀縣木炭檢査證紙賣捌所

縱　六〇糎(二尺)

横　一五糎(約五寸)

附則

本令ハ木炭檢査規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●木炭檢査ニ使用スル記號印

昭和二年七月十六日
告示第二百七十八號

木炭檢査ニ使用スル記號印左ノ通定ム

四、四糎(一寸四分五厘)

上段　白炭、黒炭
中段右　樫、櫟、楢、雜、栗、松、込
中段中　割、中丸、小丸、丸、荒、粉、込
中段左　極上、上、並、格外
下段　年月日

●標準木炭査定會規則

昭和二年四月十三日
告示第百四十九號

標準木炭査定會規則左ノ通定ム

標準木炭査定會規則

〔滋賀令〕

第一條　標準木炭査定會ハ會長一名及委員若干名ヲ以テ組織ス

會長ハ森林課長ヲ以テ之ニ充テ委員ハ木炭ニ關シ經驗ヲ有スル者及森林課吏員中ヨリ知事之ヲ囑託又ハ任命ス

囑託シタル委員ノ任期ハ二箇年トス

第二條　會長ハ會務ヲ掌理シ、會ヲ代表シ、會議ノ議長トナル會長事故アルトキハ知事ノ指名シタル委員之ヲ代理ス

第三條　標準木炭査定會ニ幹事一名及書記一名ヲ置ク

幹事及書記ハ會長ノ指揮ヲ承ケ會務ニ從事ス

第四條　標準木炭ノ品質、撰別及調製ノ各項ニ依リ査定ス査定ノ方法ハ査定會ノ議定スル所ニ依ル

第五條　標準木炭査定會ノ議事ハ出席委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第六條　會長ハ閉會後直ニ會議ノ顚末及決議ノ要領ヲ知事ニ報告スヘシ

附則

本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●木炭檢査員駐在所位置及所轄區

域

昭和二年七月十六日
告示第二百七十九號

〔滋賀令〕

沿革　昭和二年一〇月告示第三八七號、第三九九號改正

木炭檢査員駐在所位置及所轄區域左ノ通定ム

木炭檢査員駐在所位置

郡	町村	大字	番地	所轄區域
滋賀	葛川	梅ノ木	九六	葛川村大字細川、貫井、梅ノ木
同	同	坂下	八五九	同　村大字坂下、木戸口、木戸村、伊香立村
同	同	中	二二	同　村大字中、坊、町居
同	伊香立	途中	九四一ノ一	葛川村
栗太	下田上	關津	六五九	大石村、甲賀郡朝宮村
同	上田上	大鳥居	二五九	上田上村
甲賀	鮎河	鮎河	六八六	鮎河村大字鮎河
同	同	大河原	一、〇一二	同　村大字大河原
同	南柚	杉谷	二、〇四六	龍池村、南柚村
同	土山	瀬音	三九一	土山町、大原村
同	山内	黒滝	二二七	山内村
同	長野	畑	四二九	長野町大字畑、多羅尾村
同	同	田代	五六九	雲井村、長野町(大字畑ヲ除ク)

蒲生	西大路	藏王	一八三	西大路村（大字北畑、西明寺ヲ除ク）
同	同	西明寺	四八	同　村大字西明寺、北畑
神崎	山上	山上	一、二八九	山上村
愛知	東小椋	政所	九六八	東小椋村大字政所、黄和田
同	同	蛭谷	一六二	東小椋村（大字政所、黄和田ヲ除ク）
同	角井	百濟寺	甲二六五	角井村
犬上	芹谷	河内	四九	芹谷村（大字靈仙ヲ除ク）
同	同	靈仙	九二四	芹谷村大字靈仙、阪田郡鳥居本村
阪田	伊吹	大久保	四九	伊吹村、柏原村、醒井村
伊香	丹生	上丹生	二九	丹生村大字上丹生、下丹生、摺墨、菅並
同	同	田戸	八	丹生村（大字上丹生、下丹生、摺墨、菅並ヲ除ク）
同	片岡	中河内	一〇五	片岡村大字中河内
同	同	柳瀬	一三七	片岡村（大字中河内ヲ除ク）
同	塩津	香掛	七	塩津村、永原村
高島	川上	日置前	三、六五三	百瀬川、川上村、今津町
同	西庄	白谷	三一九	西庄村
同	劍熊	野口	一七	劍熊村

〔滋賀令〕

〔滋賀令〕

同	三谷	角川	七八五	三谷村大字角川、杉山、天増川、狭山
同	同	保坂	五〇九	三谷村大字南生見、北生見、追分、保坂、途中谷、椋川
同	高島	黒谷	一一	高島村、水尾村
同	朽木	麻生	七七三	朽木村大字麻生、地子原ノ一部
同	同	雲洞谷	九	同　村大字雲洞谷、地子原ノ一部
同	同	能家	二七七	同　村大字能家、小入谷、生杉、中牧、古屋
同	同	小川	四四六	同　村大字桑原、平良、小川
同	同	岩瀬	五五八	同　村大字古川、岩瀬、柏、市場、野尻、荒川、宮前坊
同	同	古川	二六六	同　村大字栃生、村井、大野

●伊吹山藥草採取取締規則

大正七年六月十二日
縣令第二十七號

伊吹山藥草採取取締規則左ノ通之ヲ定ム

伊吹山藥草採取取締規則

第一條　伊吹山ニ於テ藥草ヲ採取セムトスルモノハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二條　前條ノ許可ヲ受ケムトスルモノハ願書ニ住所、氏名、採取スヘキ藥草名、豫定數量、採取箇所、採取期間及用途ヲ記載シ土地所有者又ハ地上權者ノ同意書ヲ添付スヘシ

第三條　許可ヲ受クヘキ藥草ノ種類ハ別ニ之ヲ告示ス

第四條　許可ヲ受ケスシテ採取シタルモノハ拘留又ハ科料ニ處ス

●伊吹山藥草採取取締規則ニ依リ許可ヲ受クヘキ藥草

大正七年六月十二日
告示第百八十七號

大正七年六月滋賀縣令第二十七號ニ依リ許可ヲ受クヘキ藥草左ノ通相定ム

てんなんしやう　われもかう
せんぶり　ところ
だいこんさう　いけま
ひめはぎ　いぶきじやかうさう
いぶきとらのを　をとぎりさう
やまはつか　いのこづち
とちばにんじん　はしりどころ
とりかぶと　いぶきぼうふう
あかね　わうれん
たうき　をみなへし
やましやくやく　ししうど
つりがねにんじん　さらしなしようま
せんきゆう　ききやう
りんだう　をけら

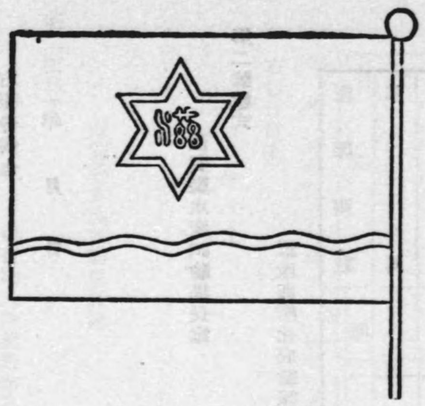
〔滋賀令〕

本年七月滋賀縣告示第百六十一號ニ依ル本縣水產試驗場ニ於テ禁止制限ノ魚類ヲ採捕シ其他禁止ノ時期又ハ區域內ニ於テ水產動植物ヲ採捕スル場合ニ揭揚スル標旗左ノ如シ

●水產試驗場標旗

明治四十一年十月十四日
告示第四百八十六號

滋賀縣水產試驗場ニ於テハ試驗研究ノ爲必要ニ應シ禁止制限ノ魚類ヲ採捕シ其ノ他禁止ノ時期又ハ區域內ニ於テ水產動植物ヲ採捕スルコトアルヘシ此ノ場合ニハ同場ノ標旗ヲ揭揚ス



竪　二尺五寸
橫　三尺五寸

淺黃地ニ水字崩シ紋章、文字波形ハ白染拔

〔滋賀令〕

滋賀縣水產試驗場鯉苗購入規程左ノ通之ヲ定ム

大正二年三月十五日
告示第九十一號

滋賀縣水產試驗場鯉苗購入規程

第一條　琵琶湖ニ放流ノ目的ヲ以テ水產試驗場ニ於テ購入スヘキ鯉苗ハ本規程ニ據リ之ヲ購入ス

第二條　購入スヘキ鯉苗ハ本縣下ニ於テ生產セル靑兒ヲ養魚池又ハ稻田ニ於テ養成シタルモノニ限ル

第三條　水產試驗場ニ於テ種類不良若ハ放流ニ不適當ナリト認メタル鯉苗ハ之ヲ購入セス

第四條　鯉苗ノ購入ヲ請ハムトスル者ニシテ自ラ孵化養成スル者ニ在リテハ之ニ必要ナル設備ヲ爲シ第一號及第二號樣式ニ依リ水產試驗場長ニ報告スヘシ

前項ノ設備ニ關シテハ水產試驗場ニ於テ指示監督スルコトアルヘシ

第五條　鯉苗ノ購入ヲ請ハムトスル者ハ其ノ飼育狀況及納入希望數ヲ第三號樣式ニ依リ水產試驗場長ニ申出ツヘシ

第六條　鯉苗ハ相當價格ヲ以テ購入スルモ納入希望者多キ爲希望ノ尾數ニ購入スルコト能ハサルトキハ其ノ尾數ヲ制限シ又ハ申込ニ應セサルコトアルヘシ

前項購入價格ハ水產試驗場長ノ定ムル所ニ據ル

第七條　鯉苗納入ノ通知ヲ受ケタルトキハ水產試驗場又ハ其ノ指定ノ場所ヘ送付スヘシ

第八條　納入ニ要スル費用及運賃ハ納入者ノ負擔トス

第三章　水產及畜產

●水產試驗場設置

明治三十三年四月十八日
告示第六十二號

滋賀縣水產試驗場ヲ犬上郡福滿村大字平田ニ設置シ本月十五日ヨリ其事務ヲ開始ス

●水產試驗場附屬養魚場孵化場ノ名稱位置

明治四十一年六月三日
告示第百二十五號

沿革　大正二年五月告示第二〇五號改正

滋賀縣水產試驗場附屬養魚場孵化場ノ名稱位置左ノ通之ヲ定ム

名稱	位置
滋賀縣水產試驗場彥根養魚場	犬上郡彥根町大字下片原
滋賀縣水產試驗場知內孵化場	高島郡百瀨村大字知內
滋賀縣水產試驗場南小松養魚場	滋賀郡小松村大字南小松

●水產試驗場標旗

明治四十一年十月十四日
告示第四百八十六號

本年七月滋賀縣告示第百六十一號ニ依ル本縣水產試驗場ニ於テ禁止制限ノ魚類ヲ採捕シ其他禁止ノ時期又ハ區域內ニ於テ水產動植物ヲ採捕スル場合ニ揭揚スル標旗左ノ如シ

〔滋賀令〕

本縣水產試驗場ニ於テハ試驗研究ノ爲必要ニ應シ禁止制限ノ魚類ヲ採捕シ其ノ他禁止ノ時期又ハ區域內ニ於テ水產動植物ヲ採捕スルコトアルヘシ此ノ場合ニハ同場ノ標旗ヲ揭揚ス

●水產試驗場鯉苗購入規程

第七類　勸業、權度、氣象及測候　第三章　水產及畜產

第一號樣式

養鯉場設備報告

（毎年三月三十一日迄ニ報告）

養鯉場ノ位置	郡 村大字	總面積	坪								
孵化池		產卵池		魚兒飼育池		親鯉池		親魚尾數		親魚體量	
池數	面積	池數	面積	池數	面積	池數	面積	雌	雄	雌	雄
個	坪	個	坪	個	坪	個	坪	尾	尾	匁	匁

備考 稻田ヲ以テ代用スル場合ハ其ノ旨記入スヘシ

右報告候也

年 月 日

住所

氏 名印

滋賀縣水產試驗場長宛

第二號樣式

鯉產卵孵化成績報告

（毎年七月一日迄ニ報告）

產卵回數	親魚數 雌	親魚數 雄	親魚數 計	產卵數	孵化數	自家稻田及池面放養青兒數	青兒販賣數
第 回				粒	尾	尾	尾
第 回							
第 回							
合計							

〔滋賀令〕

備考 青兒販賣數欄ニハ一般養鯉者（水產試驗場ヲ除ク）ヘ販賣シタル青兒數ヲ記入スヘシ

右報告候也

年 月 日

住所

氏 名印

滋賀縣水產試驗場長宛

第三號樣式

鯉苗納入希望數申込書

（毎年八月十日迄ニ申込）

孵化回數	放養池又ハ稻田面積	一寸五分以上三寸 尾數	一寸五分以上三寸 體量	三寸一分以上五寸 尾數	三寸一分以上五寸 體量
第 回	坪	尾	匁	尾	匁
第 回					
第 回					
合計					

備考 青兒ヲ購入シテ飼育セルモノハ購入先及尾數ヲ記入スヘシ

右購入相成度候也

年　月　日

住所
氏名　印

滋賀縣水產試驗場長宛

●水產試驗場琵琶湖丸貸付規程

大正九年七月二十四日
縣令第五十三號

〔滋賀令〕

滋賀縣水產試驗場琵琶湖丸貸付規程左ノ通相定ム

水產試驗場琵琶湖丸貸付規程

第一條　本縣水產試驗場魚苗放流船琵琶湖丸ハ場務ニ支障ナキ限リ本令ニ依リ之ヲ水產業者又ハ其ノ團體ニ貸付ス

貸付中琵琶湖丸ノ操縱及機關運轉ハ本縣水產試驗場職員之ニ當ル

第二條　琵琶湖丸貸付ハ左ノ目的ニ使用スル場合ニ限ル

一　活魚又ハ鮮魚ノ運搬
二　水產製造物原料ノ運搬
三　其ノ他本縣水產試驗場ニ於テ必要ト認メタル作業

第三條　貸付ヲ受ケムトスル者ハ少クトモ二日前ニ左ノ事項ヲ記載シタル書面若ハ口頭ヲ以テ本縣水產試驗場長ニ願出ツヘシ

一　使用ノ目的
二　使用期間及區間
三　運搬物種類名稱竝數量
四　囘航場所及其ノ日時

第四條　借受人ハ第二條使用ノ目的以外ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第五條　貸付ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ貸付期間一日ニ付金三圓ノ使用料ヲ前納スヘシ

第六條　琵琶湖丸貸付中其ノ操縱、運轉ニ要スル經費ハ借受人ノ負擔トス
但シ水產試驗場職員ニ關スル費用ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　貸付ヲ許可シタル後ト雖本縣水產試驗場ノ業務又ハ船體ノ都合ニ依リ其ノ貸付日時ヲ變更シ若ハ貸付ヲ取消スコトアルヘシ

前項ニ依リ貸付期間內ニ許可ヲ取消シタルトキハ許可取消後ノ運轉費用ハ本縣水產試驗場ニ於テ之ヲ支辨ス

第八條　琵琶湖定繫地出發後借受人ニ於テ之カ借受ヲ取消スコトアルモ第六條ニ定メタル費用ハ借受人ノ負擔トス

第九條　琵琶湖丸ノ貸付ヲ取消シタルトキ又ハ借受人之カ借受ヲ取消シタルトキハ左ノ割合ヲ以テ前納使用料ハ之ヲ還付ス

一　定繫地出發前ナルトキハ其ノ全額
二　定繫地出發後ナルトキハ歸航迄ノ日割ヲ控除シタル金額

第十條　貸付ヲ許可シタルトキハ船ノ運用積荷其ノ他ニ付テハ乘組場員ノ指示ニ從フヘシ

〔滋賀令〕

第十一條　借受人若ハ其ノ代理人ハ運搬物ノ保管、處理ノ責ニ任スヘシ但シ乘組場員ニ於テ必要ト認メタル人員ノ外乘船スルコトヲ得ス

第十二條　貸付ノ取消、變更又ハ天災其ノ他ノ事故ニ依ル借受人ノ損害ニ對シテハ其ノ責ニ任セス

●滋賀縣漁業取締規則

明治四十五年一月十日
縣令第一號

〔滋賀令〕

追事　大正二年九月縣令第三一號、五年一〇月第二六號、八年一〇月第五五號、九年四月第三八號、一五年七月第七一號改正

明治四十一年三月滋賀縣令第十四號滋賀縣漁業取締規則左ノ通改正ス

滋賀縣漁業取締規則

第一條　左ノ區域ヲ禁漁區トシ水產動植物ヲ採捕スルコトヲ禁ス

一　濱田川洗堰ヨリ上流二百三十間（第一禁漁區）
二　滋賀郡際川尻ノ南端ヨリ栗太郡草津川尻ノ南端ヲ見通シ及滋賀郡大正寺川尻ノ北端ヨリ栗太郡常盤村大字志那ノ北端ヲ見通シタル水面ニ於テ各浮標ノ接合線內ノ水面（第二禁漁區）
三　蒲生郡島村伊崎（尼子岩）ヨリ愛知川尻ノ北端ヲ見通シタル線內ノ外湖水面（第三禁漁區）
四　犬上郡芹川尻ノ南端ヨリ多景島ノ南端ヲ見通シ阪田郡筑摩川尻ノ北端ヨリ多景島ノ北端ヲ見通シタル線內ノ外湖水面（第四禁漁區）
五　伊香郡葛籠尾崎ヨリ高島郡大崎及竹生島ノ東北端ヲ見通シ高島郡大崎ヨリ竹生島ノ西端ヲ見通シタル線內及同線外竹生島沿岸ヨリ八町線以內ノ水面（第五禁漁區）

第二條　鮎ハ每年九月二十四日ヨリ同月三十日迄鮭、鱒ハ每年十一月一日ヨリ同月二十日迄左ノ河川及其ノ川尻沖百間竝川尻ヨリ湖岸ニ沿フテ左右各二十間沖百間ノ區域ニ於テノ之ヲ捕獲スルコトヲ禁ス

眞野川、和邇川、野洲川、仁保川、愛知川、宇曾川、芹川、犬上川、天ノ川、姉川、余吳川、高時川、大川（伊香郡鹽津村）知內川、石田川、安曇川、鴨川

第三條　前條ノ河川及其ノ川尻沖百間竝川尻ヨリ湖岸ニ沿フテ左右各二十間沖百間ノ區域ニ於テハ每年九月二十日ヨリ十月十四日迄及十一月一日ヨリ十二月三十一日迄水中ノ砂礫ヲ採取スルコトヲ禁ス

第四條　鮒網及鯉網ハ每年四月一日ヨリ八月三十一日迄使用スルコトヲ禁ス

第五條　滋賀郡眞野川尻ノ北端ヨリ野洲郡野洲川尻（南流ノ北端ヲ見通シタル直線以南瀨田川洗堰迄ノ水面及內湖入江ニ於テハ鮒網及鯉網ヲ使用スルコトヲ禁ス

第六條　每年五月十五日ヨリ七月三十一日迄覆生水面ニ於テ魚類ヲ捕獲スルコトヲ禁ス但シ漁簗ニ於テ免許ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　每年六月一日ヨリ七月三十一日迄藻類ヲ採取スルコトヲ禁ス

第八條　口尖ヨリ尾端ニ至ル一尺一寸未滿ノ鰻八寸未滿ノ鯉、鮠、鰌及五寸未滿ノ鮒竝三寸未滿ノ鯰ハ捕獲スルコトヲ禁ス

前項ニ違反シテ捕獲シタルモノハ之ヲ販賣又ハ所持スルコトヲ得ス

第九條　漁具ハ張網、鮎、網鮎、簗、かつとり簗、網簗、堰四手網、伏網、大地曳網、氷魚地曳網、鮎地曳網、鱚地曳網竝第二十一條及第二十二條ノ二ノ漁業ニ要スルモノヲ除クノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス但シ一竿釣、潛漁、鮹漁（鮹壺）及採藻ニ要スルモノ竝專用漁業權若ハ區劃漁業權ニ依ルモノ又ハ特ニ知事ノ許可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十條　鮎、網鮎、張網、「モンドリ」、「タツベ」及「ウエ」ハ左ノ制限ニ據

ルヘシ

一　鰯ノ簀目ハ五分以上トス但シ漁獲物ノ種類ニ依リ鰯縦間數百間以内ノ部分ニ限リ特ニ一分以下ト爲スコトヲ許可スルコトアルヘシ

二　網鰯ノ網目ハ方一寸以上

三　張網ノ網目ハ方五分以上

四　「モンドリ」ノ網目ハ方一寸以上

五　「タツベ」及「ウエ」ノ簀目ハ毎年五月一日ヨリ九月三十日迄ハ三分以上但シ鰯壺ニ於テ使用スル「ウエ」ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　河川及江口竝其ノ潮先ニ於テハ魚道ヲ遮斷スル裝置ヲ以テ漁業ヲ爲スコトヲ禁ス但シ漁籍ニ於テ免許ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　定置漁業及特別漁業ハ漁籍ノ定メアル場所ニ限リ之ヲ免許ス

前項漁業ノ名稱及漁籍ノ所在地ハ別ニ告示ス

第十三條　漁籍ハ水產動植物ノ蕃殖保護其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ之ヲ創除シ又ハ變更スルコトアルヘシ但シ漁業權ヲ設定セルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ知事ハ第二十一條ノ許可ヲ制限シ停止シ又ハ之ヲ取消スコトアルヘシ

本則其ノ他漁業ニ關スル法令ノ規定ニ違反シタルトキ亦前項ニ同シ

前二項取消ノ場合ニ於テハ遲滯ナク鑑札ヲ返納スヘシ

第十五條　漁場ニ裝置シタル工作物ハ漁業時期終了後若ハ漁業權消滅後遲滯ナク之ヲ撤去スヘシ其ノ免許シタル漁業ヲ制限シタル部分若ハ停止シタルトキ亦同シ

第十六條　漁業者ハ知事ノ指定シタル魚揚場ノ檢査ヲ受クルニ非サレハ其ノ漁獲物ヲ販賣スルコトヲ得ス

〔滋賀令〕

前項ノ魚揚場ハ之ヲ告示ス

第十七條　魚商人ハ前條第一項ノ檢査ヲ受ケサル漁獲物ヲ賣買シ又ハ所持スルコトヲ得ス

第十八條　營業上前條ノ漁獲物ヲ消費シ又ハ加工シテ販賣スル者ハ之ヲ魚商人ト看做ス

第十九條　張網類漁業及鰯簗類漁業ノ漁場ニハ左ノ保護區域ヲ設ク但シ各漁場ノ距離接近シ本條各號ノ間數ニ滿タサルトキハ其ノ距離間數ヲ以テ甲乙漁場ノ保護區域トス

一　鰯及網鰯ハ元杭ヨリ横間數ノ兩端ヲ見通シタル線内ノ水面及其ノ線外ニ在リテハ左ノ距離以内ノ水面トス但シ壺ヲ數段ニ設クルモノハ順次每段横間數ノ兩端ヲ見通スヘシ

一	縦間數十間未滿ノモノ	二	間
二	同十間以上二十間未滿ノモノ	三	間
三	同三十間以上五十間未滿ノモノ	五	間
四	同五十間以上百間未滿ノモノ	七	間
五	同百間以上ノモノ	十	間

二　川口江口ニ在ル鰯、網鰯ニシテ前號保護區域ノ外縣別ニ保護區域ノ必要ヲ認ムルモノ及張網、網簗、かつとり簗、簗、堰四手網ノ保護區域ハ別ニ之ヲ告示ス

第二十條　保護區域内ニ於テハ漁業ヲ爲スコトヲ禁ス但シ網簗、かつとり簗、簗ノ漁業權ニ依リ漁業ヲ爲ス者ニ限リ其ノ保護區域内ニ於テ流シ網、ナゲ網、打網、四手網、掻網ヲ以テ漁業ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　左ニ揭クル漁業ヲ爲サムトスル者ハ一種每ニ知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ專用漁業權ニ依リテ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　紗網漁業

〔滋賀令〕

二　紀網漁業

三　駒曳網漁業

四　根掛網漁業

五　小絲網漁業

六　覆卷網漁業

七　モンドリ漁業

八　竹筒漁業

前項ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ其ノ願書ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　漁業ノ名稱

一　漁具ノ員數

一　漁具ノ構造及使用方法

一　漁業ノ場所

一　漁業ノ時期

一　從業者ヲ使用スルモノハ其ノ員數

第二十一條ノ二　左ニ揭クル漁業ヲ爲サムトスル者ハ一種每ニ市町村長ニ屆出ツヘシ但シ專用漁業權ニ依リテ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　流シ網漁業

二　ナゲ網漁業

三　打網漁業

四　四手網漁業

五　押網漁業

六　掻網漁業

七　サデ網漁業

八　タツベ漁業

九　ウエ漁業

十　竿釣漁業（一竿釣ヲ除ク）

十一　流シ釣漁業

十二　掛ケ釣漁業

十三　蜆掻漁業

十四　貝曳漁業

前項ノ屆書ニハ漁業ノ名稱及漁具ノ員數ヲ記載スヘシ

市町村長必要ト認ムルトキハ漁具ノ構造及使用方法書ヲ徵スルコトヲ得

第二十二條　第二十一條ノ許可ヲ與ヘタルトキ又ハ第二十一條ノ二ノ屆出アリタルトキハ第一號樣式ノ鑑札ヲ下付ス

鑑札ヲ亡失若ハ汚損シ又ハ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ事由ヲ具シ亡失ノ場合ヲ除クノ外鑑札ヲ添ヘ遲滯ナク下付ヲ受ケタル官公署ニ再下付又ハ書換ヲ申請スヘシ

第二十三條　前條ニ依リ鑑札ノ下付ヲ受ケタル漁業者死亡又ハ廢業シタルトキハ鑑札ヲ添ヘ遲滯ナク下付ヲ受ケタル官公署ニ屆出ツヘシ

前項死亡ノ場合ニ於ケル屆出ハ其ノ戶主又ハ相續人ヨリ之ヲ爲スヘシ

第二十四條　養殖、學術、研究其ノ他特別ノ理由ニ依リ本則ニ於テ制限禁止シタル水產動植物ヲ採捕シ又ハ制限禁止シタル漁具漁法ニ依リ水產動植物ヲ採捕セムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ知事ニ差出スヘシ

一　採捕ノ目的

二　採捕セムトスル水產動植物ノ種類

三　採捕ノ場所

四　採捕ノ時期

五　採捕ノ方法

六　漁具ノ構造

前項ノ許可ヲ受ケタル者採捕ニ從事スルトキハ許可指令書ヲ携帶スヘシ

第二十五條　知事ニ差出シ又ハ知事ヲ經由スヘキ書面ハ漁業ノ場所一定スルモノハ其ノ所屬地市町村長其ノ一定セサルモノハ住所地ノ市町村長ヲ經由スヘシ但シ漁業登錄令ニ依ル登錄申請書ハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　鑑札ノ下付ヲ受ケタル漁業者漁業ヲ爲ストキハ之ヲ携帶スヘシ但シ再下付又ハ書換申請中ノ者ハ所屬市町村長ノ證明書ヲ携帶スヘシ

第二十七條　鑑札ハ讓渡又ハ貸付スルコトヲ得ス

第二十八條　定置漁場ニ於テ使用スル「サデ網」ハ之ヲ附屬漁具トス

第二十九條　漁場ニハ別記第一號雛形ニ準シ標識ヲ建設スヘシ

第三十條　漁業法第三條第二項ノ許可ヲ受ケタル者ハ別記第二號雛形ニ準シ其ノ許可ヲ受ケタル區域ノ標識ヲ建設スヘシ

第三十一條　第二十九條及第三十條ノ標識ヲ亡失シ汚損シ又ハ其ノ文字磨滅シタルトキハ遲滯ナク書換又ハ再建スヘシ

第三十二條　鰯築類漁場ニハ相當ノ船通ヲ設クヘシ

船通ニハ認メ易キ目標ヲ建設スヘシ

船通ハ漁場ノ區域ニ包含スルモノトス

第三十三條　第四條乃至第十一條、第十四條、第十六條、第二十一條乃至第二十七條及第三十四條ノ規定ハ公共ノ用ニ供セサル水面ニシテ公共ノ用ニ供スル水面又ハ漁業法第三條ノ水面ニ通スルモノニ之ヲ適用ス

第三十四條　本則ノ規定ハ營利ノ目的ニ非スシテ水產動植物ヲ採捕スル者ニ之ヲ準用ス

第三十五條　第四條、第五條、第八條、第十條、第十一條、第十五條、第二十條、第二十一條第一項、第二十一條ノ二第一項又ハ第二十七條ニ違反シタル者ハ五拾圓以內ノ罰金又ハ二十圓未滿ノ科料ニ處ス

【滋賀令】

前項第五條、第十條又ハ第二十一條第一項ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物及漁具ハ之ヲ沒收ス但シ犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第三十六條　第二條、第三條、第六條、第七條、第九條、第十六條、第十七條、第二十六條又ハ第二十九條乃至第三十二條第一項ニ違反シタル者ハ三十日未滿ノ拘留又ハ貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス

附　則

第三十七條　本則ハ明治四十五年一月二十日ヨリ施行ス但シ第十條第一號ノ規定ハ明治四十五年三月一日ヨリ施行ス

第三十八條　明治四十一年滋賀縣令第十四號滋賀縣漁業取締規則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノニシテ本則ニ抵觸セサルモノハ本則施行ノ日ヨリ本則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

大綱、氷魚綱、鮎綱、鯨綱及公有水面ニ通スル私有水面ノ鰀、張綱ノ許可鑑札ハ明治四十五年二月十日迄ニ郡市長ニ返納スヘシ

附　則（大正十五年縣令第七十二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルモノハ本則ニ依リ許可又ハ鑑札ノ下付ヲ受ケタルモノト看做ス

第一號樣式

表

第　號

○何々（漁具名ヲ記ス）何個（員數ヲ記ス）

住所

氏名

大正　年　月　日許可（下付）

滋賀縣（何市役所又ハ何郡何町村役場）

烙印

裏

備考

一　木製　縱　十二センチメートル　橫　八センチメートル

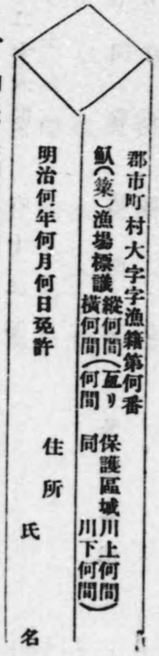
二　營業ニ非サルモノハ非營業ノ文字ヲ記載ス

【滋賀令】

（別記）

第一號　雛形

（方三寸以上用材適宜）

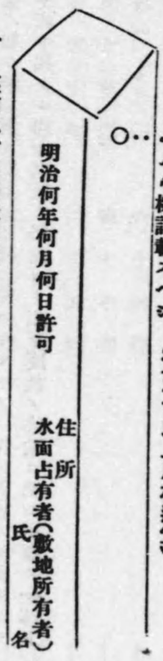


明治何年何月何日免許　住所　氏名

一　綱鰀、張綱、綱築、かつとり築、堰四手綱、區劃漁業、特別漁業モ之ニ準ス

一　裏面ニ方モ同樣記載スヘシ

第二號　雛形



明治何年何月何日許可

（方三寸以上用材適宜）

一　裏面ニ方モ同樣記載スヘシ

●免許漁業ノ漁籍竝保護區域

明治四十五年一月十日
告示第六號

沿革　大正二年二月告示第六七號、四月第一三五號、一二月第三八八號、四年二月第七三號、五年二月第三二號、六月第二一五號、一〇月第三五四號、六年二月第四五號、

第八〇號、三月第九二號、四月第一五一號、第一五四號、五月第一九六號、六月第一八〇號、三月第九二號、四月第一五一號、第一五四號、五月第一九六號、六月第二一一號、七月第二四七號、一四年一月第九號、三月第五七號、第七一號、第九一號、六月第一七〇號、一一月第二九九號、一五年二月第三七號、四月第一二四號、五月第一六四號、九月第三二六號、昭和二年一月第四號、二月第七〇號、三月第九九號、第一〇七號、四月第一三二號、第一三三號、五月第一六九號、第一七八號、七月第二八八號、九月第三五七號改正

滋賀縣漁業取締規則第十二條ニ依ル漁籍竝同則第十九條第二號ニ依ル保護區域ハ漁業區域ヲ除キ本表ニ揭ク川上間數ノ終點ヨリ川下間數ノ終點ニ至ル川幅ノ全部トス

【滋賀令】

縱間數	橫間數	保護區域
三百二十間	百六十間	
百二十六間	六十三間	

縱間數	橫間數	保護區域
二百間	百間	
五百五間	二百五十間	
百五十間	六十五間	
二十五間	十二間半	

定置漁業漁籍竝保護區域

鰛築類漁業

鰛網鰛之部

大津市

公共ノ用ニ供スル水面ノ分

町村	字	漁籍番號個所	縱間數	橫間數	保護區域
市町村	大字	漁籍番號個所	三百二十間	百六十間	
大津	馬場	里中第六番一	百二十六間	六十三間	
同	別所	北ノ橋第七番一			

滋賀郡

公共ノ用ニ供スル水面ノ分

町村	字	漁籍番號個所	縱間數	橫間數	保護區域
大字	平田	第一番一	二百間	百間	
膳所	別保	第二番一	五百五間	二百五十間	
同	膳所	西ノ庄第十九番一	百五十間	六十五間	
滋賀	山上	スリコシ第二十番一	二十五間	十二間半	
同	錦織	下杭川			

【滋賀令】

町村	字	漁籍番號個所	縱間數	橫間數	保護區域
下阪本	下阪本	畔內第十八番一	二百五十間	百二十五間	
同	同	北河原第二十三番一	二百五十五間	百二十五間	
同	同	李頭第二十六番一	四十間	二十間	
同	同	的場第二十九番一	百間	五十間	
同	同	横田第三十三番一	百間	五十間	
同	貝須	第三十六番一	百間	五十間	
同	清水崎	第三十七番一	七十五間	三十七間	
同	比叡辻	第四十四番一	百間	五十間	
同	川崎	第四十五番一	三百二十間	百六十間	
堆琴	堆琴	苗鹿八反田第四十八番一	九十間	四十五間	
同	大正寺	第五十一番一	百間	五十間	
同	島ケ崎	第五十二番一	三百二十間	百六十間	
堅田	堅田	本堅田ハシ爪第五十四番一	百間	五十間	
同	川中	第五十九番一	二百間	百間	
同	今堅田	島第六十番一	六十四間	三十二間	
同	同	北大道第六十一番一	百二十八間	六十四間	
同	神	第五十七番一	九十四間	四十七間	
眞野	眞野	東浦第六十二番一	百五十間	六十五間	
同	須原	第七百五十一番一	二十四間	十四間	
和邇	小野	第六十三番一	百間	五十間	
同	同	第七百五十二番一	四十三間	二十一間	
同	同	クルケ第七百五十三番一	十間	五間	
同	同	今宿第六十五番一	七十間	三十五間	
同	南淺後	第六十六番一	百八十間	九十間	
同	北淺後	第六十七番一	七十五間	三十七間	
同	中濱	第六十八番一	五十間	二十五間	
木戶	八屋戶	橫田			

下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間

町村	大字	字	地番號	個所	縦間數	横間數	保護區域
堅田	今堅田	院界	第七百二十三番	一	十五間	七間	—

漁業法第三條ノ水面ノ分

栗太郡

公共ノ用ニ供スル水面ノ分

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縦間數	横間數	保護區域
常盤	下物	高砂	第七十二番	一	百六十間	八十間	—
同	同	下長良	第七十三番	一	二百六十間	百三十間	—
同	同	烏丸	第七十五番	一	二百七十間	百三十五間	—
同	同	烏丸	第七十五番ノ二	一	百十二間	五十六間	—
同	同	烏丸	第八十番	一	百六十間	八十間	—
同	同	鎌田	第七百五十四番	一	十五間	二間	—
同	同	同	第七百五十五番	一	二十間	二間	—
同	同	佐田	第七百五十六番	一	二十間	二間	—
同	同	迫田	第七百五十七番	一	二十九間	二間	—
同	下寺	丸田	第八十三番	一	二百五十間	百二十五間	—
同	同	同	第八十四番	一	三百間	百五十間	—
同	志那中	北芦刈	第八十六番	一	二百五十間	百二十五間	—
同	同	平田	第九十二番	一	四間半	二間二分五厘	—
同	同	鍵田	第九十九番	一	五間	二間半	—
同	同	東大町	第百十二番	一	七間	二間半	—
同	支那	柿根	第百十六番	一	三百間	百五十間	—
同	同	濱	第百十七番	一	百十間	五十五間	—
同	同	コドロ	第百十八番	一	六十間	三十間	—
同	同	老松	第百十九番	一	百間	五十間	—

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縦間數	横間數	保護區域
同	同	コドロ	第百二十番	一	百四十五間	七十二間	—
笠縫	下笠	南七條	第百二十一番	一	三百間	百五十間	—
同	同	北七條	第百二十九番	一	八十間	四十間	—
同	同	大濱	第百三十番	一	九十八間	四十五間	—
同	同	六反田	第百三十一番	一	二十間	十間	—
同	同	長出	第百三十二番	一	百八十間	九十間	—
同	同	横通シ	第百四十番	一	十三間	六間半	—
同	同	長出	第七百五十九番	一	二十間	十間	—
山田	北山田	正島	第百四十一番	一	百五十間	七十五間	—
同	同	古川	第百四十二番	一	百二十五間	三十五間	—
同	同	同	第百四十五番	一	七十五間	三十間	—
同	同	同	第百四十六番	一	百五十間	七十五間	—
同	同	中島	第百五十番	一	百五十間	七十五間	—
同	南山田	ヨシギハ	第百五十四番	一	二百八十間	百四十間	—
同	同	魞島	第百五十五番	一	七十間	三十五間	—
同	同	同	第百五十七番	一	四百四十間	二百二十間	—
老上	矢橋	崎出	第百六十七番	一	九十間	四十五間	—
同	同	萱田	第百六十八番	一	二百五十間	百二十五間	—
同	同	北萱	第百七十番	一	二百五十間	百二十五間	—
同	同	七畝割	第七百六十番	一	七十間	三十五間	—
同	同	北萱	第七百六十一番	一	四十間	二十間	—
同	同	同	第七百六十三番	一	四十間	二十間	—
同	同	同	第七百六十五番	一	五十五間	二十七間	—
同	同	同	第七百六十六番	一	三十間	十五間	—
同	同	同	第七百六十七番	一	五十間	二十五間	—

同	同	同	第七百六十八番	一	四十間	二十間	—
同	同	崎出	第七百六十九番	一	三十五間	十七間	—
同	同	北萱	第七百七十番	一	六十一間	三十間	—
同	同	同	第七百七十三番	一	六十八間	三十四間	—
同	同	畑田	第七百七十五番	一	三十五間	七間	—
同	同	浮位野	第七百七十六番	一	三十五間	十七間	—
同	同	同	第七百七十七番	一	六十間	三十間	—
同	新濱	南川崎	第七百七十八番	一	百五十間	七十五間	—
瀬田	南大萱	廣葭	第七百八十番	一	六十五間	三十二間	—
同	大江	草川	第七百八十二番	一	十五間	七間	—
同	同	權現公	第七百八十三番	一	二十間	十間	—
同	同	同	第七百八十五番	一	二十間	十間	—
同	同	江崎	第七百八十六番	一	二十間	十間	—
同	同	同	第七百八十七番	一	二十間	十間	—
同	同	川崎	第七百八十八番	一	二十六間	十三間	—
同	同	同	第七百八十九番	一	十五間	七間	—

漁業法第三條ノ水面ノ分

町村	大字	字	地番號	個所	縱間數	橫間數	保護區域
常盤	下物	下長良	第七百番	一	二十八間	十四間	—
同	同	竹田	第四百十五番	一	三十八間	十八間	—
同	下寺	水淺場	第六百二十番	一	十五間	七間	—
同	同	同	第六百二十一番	二	二十間	十間	—
同	同	同	第六百二十二番	一	二十三間	十一間	—
同	同	同	同	一	二十間	十間	—
同	同	同	同	一	二十八間	十四間	—

〔滋賀令〕

〔滋賀令〕

同	志那中	南中浮船	第九百六十四番ノ五	一	十六間	八間	—
同	志那	コヤバ	第千百六十番	一	二十間	八間	—
同	同	柹根	第千三百八十六番 第千三百八十七番	一	四十五間	二十二間	—
同	同	クサリ田	第八百七十八番ノ二	一	十五間	七間	—
山田	北山田	正島	第五百四十七番ノ一	一	三十間	十五間	—

野洲郡

公共ノ用ニ供スル水面ノ分

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縱間數	橫間數	保護區域
北里	野田	山根	第百七十三番	一	二十五間	八間	—
同	江頭	高曾根	第百七十四番	一	二十間	八間	—
同	同	同	第百七十四番ノ二	一	二十間	十間	—
同	同	稲荷尻	第百七十五番	一	二十間	十間	—
同	同	同	第百七十六番	一	九十間	四十五間	—
同	同	山根	第百七十六番ノ二	一	二十間	十間	—
同	同	野毛崎	第三百八番	一	四十五間	二十二間半	—
同	同	流田	第三百八番ノ二	一	二十五間	十二間	—
同	野	同	第七百九十番	一	二十五間	十二間	—
同	同	野田	第七百九十番ノ二	一	四十間	二十間	—
同	同	野毛崎	第二百七十番	一	四十五間	二十間	—
同	佐波江	北中島	第三百九番	一	五十間	二十五間	—
兵主	野田	下出口	第百七十七番	一	十間	五間	—
同	同	荒木	第百七十八番	一	三十間	七間	—
同	同	淀止	第百八十番	一	三十八間	十九間	—
同	同	同	第百八十四番	一	二百十間	百間	—
同	安治	中魞	第百八十四番ノ一	一	八十二間	四十一間	—

同	須原	沖葭	第百九十五番	一	百八十間	九十間
中洲	喜合新田	吉ノ川	第百九十七番	一	三十間	十五間
同	吉川	中瀬	第百九十九番	一	百五十間	七十五間
同	同	同	第二百四番	一	百六十間	八十間
同	同	同	第二百五番	一	二百八十間	八十六間
同	同	淵尻	第二百六番	一	二百五間	百間
同	同	同	第七百九十二番	一	百一間	五十間
同	同	中瀬	第七百九十二番ノ二	一	百間	五十二間
同	葛蒲	松ノ下	第二百七番	一	三百間	九十間
同	同	同	第二百九番	一	百間	五十間
同	小濱	鵜飼	第二百十番	一	二百二十間	百十間
同	幸津川	比江	第二百十二番	一	十五間	三間
同	同	道畑	第二百十八番	一	十五間	三間
同	同	小平	第二百十九番	一	二百間	百間
同	同	孫助	第二百二十一番	一	十五間	三間
同	同	勘解由	第二百二十四番	一	十五間	三間
同	同	平田	第二百二十八番	一	二十五間	六間
同	同	大北	第二百三十一番	一	二百五十間	百二十五間
同	同	比江	第七百九十三番	一	二百間	百間
同	同	明神	第七百九十四番	一	十間	三間
同	同	數眞	第七百九十五番	一	十間	三間
速野	今濱	五番	第二百三十二番	一	八十七間	四十三間
同	同	七番	第二百三十四番	一	百二十間	六十間
同	同	同	第二百三十五番	一	九十間	四十間
同	同	同	第二百三十六番	一	百間	四十間
同	同	同	第二百三十七番	一	百五十間	七十五間
同	同	出葭	第二百三十八番	一	百間	五十間
同	同	蒲原	第二百三十九番	一	五十間	二十五間
同	同	飯役場	第二百四十一番	一	二百四十間	百二十間
同	同	出葭	第二百四十三番	一	三百四十間	百七十間
同	同	同	第二百四十四番	一	三百二十間	百六十間
同	同	十軒家	第二百四十五番	一	百十間	五十五間
同	同	北川	第二百四十六番	一	百九十間	九十五間
同	永保	南川	第二百五十番	一	八十間	四十間
同	同	北川	第二百五十二番	一	百間	五十間
同	同	同	第二百五十四番	一	三百間	百五十間
同	同	同	第二百五十六番	一	百間	五十間
同	同	同	第二百五十七番	一	百間	五十間
同	木濱	中島	第二百五十九番	一	七百間	三百五十間
同	同	長出	第二百六十番	一	百間	五十間
同	同	神田	第二百六十一番	一	七十八間	三十九間
同	同	中島	第二百六十六番	一	四百三十間	二百十五間
同	同	番上田	第二百七十一番	一	三十六間	十八間
同	同	同	第二百七十三番	一	三十間	五十間
同	同	中島	第二百七十七番	一	二百八十間	百四十間
同	同	同	第二百七十八番	一	八十三間	四十一間
同	同	同	第二百八十二番	一	五十七間	二十八間
同	同	同	第二百八十五番	一	百五十間	三十間
同	同	同	第二百八十六番	一	百間	三十五間
同	同	同	第二百八十七番	一	四十五間	二十二間

〔滋賀令〕

町村	大字	字	地番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
同	同	八反田	第二百八十九番	一	百六十五間	八十間	｜
同	同	神田	第二百九十三番	一	百間	五十間	｜
同	洲本	ヒラコ	第二百九十四番	一	百九十間	九十五間	｜
同	同	石ヶ崎	第二百九十六番ノ一	一	百三十二間	六十六間	｜
玉津	赤野井	大釟	第二百九十六番ノ二	一	二百十六間	百八間	｜
小津	杉江	江口	第二百九十七番	一	三百間	百五十間	｜
同	山賀	西川	第三百一番	一	百四十間	七十間	｜
同	同	座	第三百五番	一	二百間	百間	｜

漁業法第三條ノ水面ノ分

町村	大字	字	地番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
北里	野	野ヶ崎	第二千六百三十一番ノ三	一	三十間	十五間	｜
兵主	須原	中ぞり	第四百八十七番ノ一	一	二十間	十間	｜
同	同	上沖	第六百三十八番	一	二十間	十間	｜
同	安治	東割	第九百四十二番ノ一	一	八十間	十二間	｜
同	同	同	同	一	四十八間	二十四間	｜
同	同	同	同	一	二十四間	十二間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	同	第千三十三番	一	四十六間	二十三間	｜
同	野田	浪留メ	第二千八十七番	一	四十間	二十間	｜
中洲	幸津川	繁昌	第二千八百三十五番	一	五十間	二十五間	｜
同	小濱	鵜飼	第千八十五番	一	百九十九間	九十九間	｜
同	同	同	同	一	七十五間	三十七間	｜
同	吉川	濱和田	第千八百三十一番	一	百四十間	七十間	｜
速野	洲本	石ヶ崎	第二千六百九十六番ノ三	一	八十二間	四十一間	｜
同	今濱	釟役場	第四百六十七番	一	四十九間	二十四間	｜
同	同	沼田	第三百四番	一	三十二間	十六間	｜

〔滋賀令〕

〔滋賀令〕

町村	大字	字	地番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
玉津	赤野井	奥瀨	第千三百十三番ノ三	一	三十六間	十八間	｜
同	同	同	同	一	六十間	三十間	｜
小津	杉江	西江口	第八百七十九番ノ三	一	十七間	八間	｜
同	同	北江口	第八百八十四番ノ二	一	二十四間	十二間	｜

蒲生郡

公共ノ用ニ供スル水面ノ分

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
安土	下豐浦	神樂	第三百十二番	一	七十間	三十間	｜
同	同	江ノ島	第三百十三番	一	百間	三十間	｜
同	同	巴	第三百十四番	一	百五十間	五十間	｜
同	同	蘆莇	第三百十五番	一	百八十間	九十間	｜
安土	常樂寺	中島	第三百十八番	一	二百間	百間	｜
同	同	百間堀	第三百十九番	一	四十一間	二十六間	｜
宇津呂	北之莊	川東	第三百二十番	一	三十三間	十六間半	｜
同	同	馬洗	第三百二十二番	一	五十五間	二十五間	｜
同	同	同	第三百二十三番	一	十六間	八間	｜
同	同	川東權座	第三百二十六番	一	三十九間	十九間半	｜
島	白王	上リ漁郡座	第三百二十九番	一	二百四十間	百二十間	｜
同	同	下リ漁永葭	第三百三十番	一	五十間	二十五間	｜
同	同	北ヶ崎	第三百三十一番	一	三百間	百五十間	｜
同	同	安戸	第三百三十二番	一	三十間	十五間	｜
同	同	諸子谷	第三百三十三番	一	百五十間	七十五間	｜
同	同	山連	第三百三十五番	一	十五間	七間	｜
同	同	同	第三百三十五番ノ二	一	八間	四間	下流外湖水面迄ノ流域
同	同	伊崎	第三百三十六番	一	十五間	七間	｜

〔滋賀令〕

同	同	女ヶ崎	第三百三十八番	一	二十五間	十二間	—
同	同	北浦	第三百三十九番	一	十五間	七間半	—
同	同	宮下	第三百四十番	一	九十七間	四十八間	—
同	同	女ヶ崎	第三百四十二番	一	百間	五十間	下流外湖水面迄ノ流域
同	圓山	渡合	第三百四十三番	一	十三間	三間半	—
同	同	川東	第三百四十四番	一	五間	三間	—
同	同	川西	第三百四十六番	一	十八間	八間	—
同	同	山前	第三百四十九番	一	二十一間	十間半	—
同	北津田	四ノ坪	第三百五十七番	一	十五間	七間半	—
同	中之庄	鯰尾	第三百五十六番	一	六十間	三十間	—
同	長命寺	岡ヶ崎	第三百七十五番	一	九十五間	四十七間半	—
同	淺小井	中野	第三百五十番	一	四間半	四間	—
金田	同	三十三	第三百五十三番	一	六十八間	三十四間	—
同	南津田	魞場	第三百六十五番	一	四十六間	二十間	—
岡山	同	同	第三百六十七番	一	百三十間	三十間	—
同	同	同	第三百七十番	一	百五間	五十二間五分	—
同	牧	大和田	第三百七十二番	一	百二十間	六十間	—
同	同	岡田	第三百七十三番	一	九十六間	四十八間	—
同	同	同	第三百七十四番	一	五十間	二十五間	—
同	船木	西澤田	第三百七十六番	一	十二間	六間	—

神崎郡

公共ノ用ニ供スル水面ノ分

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
栗見	出在家	中瀬	第三百八十六番	一	二百間	百間	—
同	同	同	第三百八十七番	一	百二十間	六十間	—

〔滋賀令〕

同	栗見新田	綱ヶ崎	第三百九十三番	一	百五十間	六十間	—
同	福堂	南大島	第三百九十四番	一	百三十間	三十間	—
同	同	稲葉葭	第三百九十六番	一	二百四十間	百間	—
同	同	西中ノ須	第三百九十七番	一	百九十五間	五十五間	—
同	同	金剛ヶ崎	第三百九十八番	一	三十間	十五間	—
同	同	田葭	第三百九十九番	一	四十間	二十間	—
同	栗見新田	中ノ投	第四百番	一	百五十間	六十間	—
同	同	同	第七百九十六番	一	八十間	四十間	—
同	同	網ヶ崎	第四百二十七番	一	百間	五十間	—
栗見莊	乙女濱	野田	第四百三番	一	二百三十間	七十間	—
同	同	里ノ東	第四百四番	一	十間	五間	—
同	同	野田	第四百六番	一	三十五間	十七間	—
同	同	上ウキ	第四百七番	一	二十間	一間	—
同	同	里ノ南	第七百九十七番	一	二十一間	十間	—
伊庭		鶴亀	第四百八番	一	八十間	四十間	—
同		同	第四百十番	一	百五十間	五十五間	—
同		大蛇	第四百十一番	一	百五十間	五十五間	—
同		郷頭野	第四百十二番	一	六十間	三十間	—
同		名古	第四百十三番	一	三十間	十五間	—
同		東貢永	第四百十五番	一	二百三十間	六十間	—
同		武者田	第四百十六番	一	二十七間	十三間半	—
同		道海	第四百二十番	一	百五十間	五十五間	—
同		東重永	第四百二十二番	一	百間	三十八間	—
同		浦葭	第四百二十三番	一	百三十五間	四十五間	—
同		鶴亀	第四百二十四番	一	七十間	三十五間	—

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
同		七野	第四百二十六番	一	七十間	二十二間	—
能登川	能登川	十八	第四百十七番	一	百五十間	五十間	—
同	南須田	岩ノ駒	第四百十八番	一	百三十間	三十八間	—
同	北須田	同	第四百十八番ノ二	一	百三十間	六十五間	—

愛知郡

公共ノ用ニ供スル水面ノ分

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
葉枝見	新海	松開	第三百七十七番	一	八十間	四十間	—
同	同	同	第三百七十八番	一	七十間	三十五間	—
同	同	長濱	第三百七十九番	一	七十間	三十五間	—
同	同	同	第三百七十九番ノ一	一	二十間	十間	—
同	同	同	第三百八十番	一	七十間	三十五間	—
同	同	葭開	第三百八十一番	一	七十間	三十五間	—
同	同	同	第三百八十二番	一	七十間	三十五間	—
同	同	平浦	第三百八十三番	一	八十間	四十間	—
同	同	同	第三百八十四番	一	七十間	三十五間	—
同	田附	道山寺	第三百九十二番	一	十五間	七間半	—
同	同	同	第七百九十八番	一	三十四間	十七間	—
同	三ツ谷	中濱	第七百九十八番ノ二	一	二十間	十間	—
同	同	同	第七百九十八番ノ三	一	四十間	二十間	—
同	同	北ノ濱	第七百九十八番ノ四	一	二十間	十間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
稲	石寺	新川	第四百二十八番	一	十六間	八間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	薩摩	北須賀	第四百二十九番	一	十四間	七間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	室戸	第四百三十番	一	六間	八間	—

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
同	柳川	後池	第四百三十二番	一	十八間	六間	—
同	同	北廣瀬	第四百三十三番	一	十一間	七間	—

漁業法第三條ノ水面ノ分

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
葉枝見	田附	道山寺	第二千八百八十二番	二	十六間	八間	—
同	同	中島	第二千八百八十三番ノ[illegible]	一	十四間	七間	—
同	同	道山寺	第二千八百八十二番	一	二十四間	十二間	—
同	新海	平浦	第二千二百九十六番	二	二十間	十間	—
同	同	蛭原	第二千三百十六番ノ一	一	二十間	十間	—

犬上郡

公共ノ用ニ供スル水面ノ分

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
松原		三丸	第四百三十九番	一	五十三間	二十六間	—
同		同	第四百四十番	一	三十八間	十九間	—
同		同	第四百六十五番	一	二十七間	十三間	—
同		網代口	第四百六十五番ノ二	一	二十五間	四間	下流川尻迄
同		大黒	第四百六十六番	一	十四間	七間	下流川尻迄
北青柳	大藪	寄洲	第四百七十番	一	三十間	十三間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
磯田	八坂	江面川	第四百六十七番	一	四十間	十五間	同
同	同	三海	第四百六十八番	一	八十間	四十間	—
同	須越	堀ノ内	第四百七十二番	一	二十間	十間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
彦根	彦根	彦根町裏	第四百七十四番	一	三十間	十五間	—
同	同	同	第四百七十五番	一	三十間	十五間	—
同	中島	廣小路	第四百七十六番	一	三十間	十五間	下流川尻迄
同	同	同	第四百七十七番	一	三十間	十五間	—

阪田郡

公共ノ用ニ供スル水面ノ分

町村	大字	字	漁業	番號	個所	縱間數	橫間數	保護區域
大津町	神照	友久	第四百七十八番	一	三	三十五間	十七間半	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	相模	同	第四百七十九番	一	八	四十五間	四十三間	同
同	同	同	第四百八十番	一	四	四十五間	四十三間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	河内作	第四百八十一番	一	百	六十間	五十三間	同
同	同	角田六町	第四百八十二番	一	百	三十間	三十二間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	祇園	第四百八十四番	一	百	五十間	四十三間	同
同	同	日ノ町	第四百八十五番	一	百	三十間	三十二間	同
同	同	蚊屋津町	第四百八十六番	一	百	十間	七間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	六ノ坪	第四百八十七番	一	百	五十間	二十五間	同
同	同	古屋	第四百八十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	長濱	南吳服	第四百八十九番	一	百	五十間	五十五間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	船山	第四百九十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	二ノ江入	第四百九十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	北船	第四百九十四番	一	百	五十間	五十五間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	南吳服	第四百九十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	南香長	第四百九十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	二ノ江入	第四百九十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	御馬屋	第五百三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	六荘	下深町	第五百四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	下辻町	第五百五番ノ二	一	百	五十間	五十五間	同
同	平方	マガリ	第五百七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	法性寺	長澤	第五百八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	濱田町	第五百九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	才勝町	第五百十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	六ノ坪町	第五百十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	濱	第五百十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	川崎	第五百十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	日頭	第五百十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	神塚	第五百十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	大小屋	第五百十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	北新川	第五百十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	南地頭川	第五百十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	磯	第五百二十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	男鳥川	第五百二十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	筑摩	第五百二十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	横霞	第五百二十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	小田江	第五百二十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百二十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	川南	第五百二十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百二十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	横霞	第五百二十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百二十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	入江	朝妻筑摩	第五百三十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百三十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百三十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百三十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百三十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百三十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百三十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百三十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百三十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百三十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百四十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百四十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百四十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百四十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百四十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百四十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百四十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百四十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百四十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百四十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百五十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百五十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百五十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百五十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百五十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百五十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百五十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百五十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百五十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百五十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百六十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百六十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百六十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百六十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百六十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百六十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百六十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百六十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百六十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百六十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百七十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百七十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百七十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百七十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百七十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百七十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百七十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百七十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百七十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百七十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百八十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百八十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百八十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百八十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百八十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百八十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百八十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百八十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百八十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百八十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百九十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百九十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百九十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百九十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百九十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百九十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百九十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百九十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百九十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第五百九十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百二十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百二十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百二十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百二十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百二十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百二十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百二十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百二十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百二十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百二十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百三十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百三十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百三十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百三十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百三十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百三十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百三十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百三十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百三十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百三十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百四十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百四十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百四十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百四十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百四十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百四十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百四十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百四十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百四十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百四十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百五十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百五十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百五十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百五十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百五十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百五十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百五十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百五十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百五十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百五十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百六十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百六十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百六十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百六十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百六十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百六十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百六十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百六十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百六十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百六十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百七十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百七十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百七十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百七十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百七十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百七十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百七十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百七十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百七十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百七十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百八十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百八十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百八十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百八十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百八十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百八十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百八十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百八十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百八十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百八十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百九十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百九十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百九十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百九十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百九十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百九十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百九十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百九十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百九十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第六百九十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百二十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百二十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百二十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百二十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百二十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百二十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百二十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百二十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百二十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百二十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百三十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百三十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百三十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百三十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百三十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百三十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百三十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百三十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百三十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百三十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百四十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百四十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百四十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百四十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百四十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百四十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百四十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百四十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百四十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百四十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百五十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百五十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百五十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百五十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百五十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百五十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百五十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百五十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百五十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百五十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百六十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百六十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百六十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百六十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百六十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百六十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百六十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百六十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百六十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百六十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百七十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百七十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百七十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百七十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百七十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百七十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百七十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百七十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百七十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百七十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百八十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百八十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百八十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百八十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百八十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百八十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百八十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百八十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百八十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百八十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百九十番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百九十一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百九十二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百九十三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百九十四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百九十五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百九十六番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百九十七番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百九十八番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第七百九十九番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第八百番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第八百一番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第八百二番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第八百三番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第八百四番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第八百五番	一	百	五十間	五十五間	同
同	同	同	第八百六番	一	百	五十間	五十五間	同

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
同	同	大小屋	第五百四十番	一	四十五間	二十二間	—
同	同	北新田	第五百四十一番	一	四十間	二十間	—

漁業法第三條ノ水面ノ分

東淺井郡

町村	大字	字	地番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
入江	梅ケ原	奥屋敷	第五百六十五番	一	二十間	十間	—

公共ノ用ニ供スル水面ノ分

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
朝日	石川	松ケ本	第五百四十二番	一	八十間	四十間	—
同	尾上	村ノ内	第五百四十五番	一	七十五間	三十六間	—
同	同	村ノ内	第五百四十六番	一	八十二間	三十五間	—
同	今西	ツツミ	第五百四十九番	一	二百十間	八十間	—
同	同	榎木町	第五百五十番	一	二百五十間	百間	—
同	同	小賀	第五百五十一番	一	二百間	八十間	—
同	同	味噌市	第五百五十一番ノ二	一	十七間	八十間	—
同	延勝寺	六反田	第五百六十二番	一	二百間	八十間	—
同	同	大上軍	第五百六十三番	一	三百間	百間	—
同	同	廣葭先	第五百六十五番	一	二百六十間	百二十間	—
同	同	狐塚	第七百九十九番	一	六十間	三十間	—
同	同	廣葭先	第八百番	一	六十八間	三十間	—
同	同	ヱゲ	第八百一番	一	二十間	十間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間並其沖十間
同	同	勝負街道	第八百二番	一	十八間	九間	—
同	海老江	小江濱	第五百六十九番	一	百五十間	七十五間	—
同	同	狐塚	第八百三番	一	百五間	五十間	—
同	同	稗田	第八百四番	一	十七間	八間	—

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
同	同	小江濱	第八百五番	一	八十間	四十間	—
同	同	三反田	第八百六番	一	四十間	二十間	—
同	同	御穗	第八百七番	一	二十間	十三間	—
竹生	安養寺	コノ子	第八百八番	一	百十間	五十二間	—
同	同	同	第八百九番	一	百七十間	八十五間	—
同	同	同	第八百十番	一	二十五間	十二間	—
同	同	堀海道	第八百十一番	一	十五間	七間	—
同	同	經ケ瀨	第八百十二番	一	十五間	七間	—
同	益田	溝淵內湖	第五百七十番	一	百九十五間	百二十五間	—
同	同	同	第五百七十番ノ二	一	百九十五間	九十七間半	—
同	同	山詰	第五百七十二番	一	四間	一間半	—
同	同	東池尻	第五百七十四番	一	四間	二間	—
同	同	西池尻	第五百七十五番	一	四間	二間	—
同	同	溝淵	第八百十三番	一	十五間	七間	—
同	同	同	第八百十四番	一	十七間	八間	—
同	同	同	第八百十五番	一	五十間	二十五間	—
同	同	同	第八百十六番	一	十七間	八間	—
同	早崎	後魞	第五百七十七番	一	二百五十間	八十間	—
同	同	岡本	第五百八十番	一	七十三間	三十六間五分	—
同	同	栗木垣	第八百十七番	一	五十六間	二十八間	—
同	同	同	第八百十九番	一	三十八間	十五間	—
同	同	笹原	第八百二十二番	一	九十一間	四十五間	—
同	同	岡本	第八百十三番	一	三十一間	十五間	—
同	同	同	第八百二十四番	一	三十間	十二間	—
同	同	白本	第八百二十六番	一	四十八間	二十四間	—

同	同	大浦畑	第八百二十七番	一	四十三間	二十六間	一	一	
同	同	南浦	第八百二十八番	一	四十一間	二十七間	一	一	
同	同	同	第八百二十九番	一	四十六間	二十三間	一	一	
同	同	同	第八百三十番	一	四十五間	二十間	一	一	
同	同	白木	第八百三十一番	一	三百間	九十三間	一	一	
同	同	中鮎	第五百八十四番	一	四十間	二十七間	一	一	
同	同	下八木	第五百八十六番	一	十一間	三間	一	一	
同	同	野切	第五百八十六番	一	六十間	三十間	一	一	
同	同	中鮎	第五百八十七番	一	三十六間	十五間	一	一	
同	同	八日地	第八百三十二番	一	十五間	十間	一	一	
同	同	モロコ	第八百三十三番	一	五十間	二十間	一	一	
同	同	同	第八百三十四番	一	二十間	十間	一	一	
同	同	同	第八百三十五番	一	二十間	十間	一	一	
同	同	仁ノ鮎	第八百三十六番	一	二十八間	二十間	一	一	
同	同	南鮎	第八百三十七番	一	三十間	十五間	一	一	
同	同	濱塚	第五百九十一番	一	四十間	二十間	一	一	
大	同	八木濱	第五百九十二番	一	二百七十間	二百十間	一	一	
同	同	松ケ枝	第五百九十三番	一	九十間	四十五間	一	一	
同	同	新堀	第八百三十八番	一	三百間	百間	一	一	
同	同	濱塚	第八百三十九番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第八百四十番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	荒鮎	第八百四十一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	老松	第五百九十四番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第五百九十五番	一	四十間	二十間	一	一	

〔滋賀令〕

同	同	第五百九十六番	一	四十間	二十間	一	一		
同	同	第五百九十七番	一	四十間	二十間	一	一		
同	南濱	荒萩	第五百九十八番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	濵戸	第五百九十九番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	政所	第六百番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	川下	第六百番ノ二	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百番ノ三	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	二ノ鮎	第六百一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	中川	第六百四番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	川道	第六百五番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	西濱塚	第六百六番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	紀江	第六百七番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	鶴ケ島	第六百十番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百十一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百十二番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	須田	第六百十三番ノ五	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	鶴ケ島	第六百十三番ノ十二	一	四十間	二十間	一	一	

漁業法第三條ノ水面ノ分

町	大字	地番	號個所	一	十八間	九間	一	一	
村	朝日	野田	第千四番	一	二百六十間	八十間	一	一	
同	津里	六丁濱	第千五番	一	百間	五十間	一	一	
同	同	同	同	一	百五十間	五十間	一	一	
同	同	野田	第千四番	一	百六十間	五十間	一	一	
同	今西	小賀	第二百七十九番	一	百四十間	五十間	一	一	
同	同	数不知	第二百九十七番	一	二十五間	十間	一	一	

同	同	大浦畑	第八百二十七番	一	四十三間	二十六間	一	一	
同	同	南浦	第八百二十八番	一	四十一間	二十七間	一	一	
同	同	同	第八百二十九番	一	四十六間	二十三間	一	一	
同	同	同	第八百三十番	一	四十五間	二十間	一	一	
同	同	白木	第八百三十一番	一	三百間	九十三間	一	一	
同	同	中鮎	第五百八十四番	一	四十間	二十七間	一	一	
同	同	下八木	第五百八十六番	一	十一間	三間	一	一	
同	同	野切	第五百八十六番	一	六十間	三十間	一	一	
同	同	中鮎	第五百八十七番	一	三十六間	十五間	一	一	
同	同	八日地	第八百三十二番	一	十五間	十間	一	一	
同	同	モロコ	第八百三十三番	一	五十間	二十間	一	一	
同	同	同	第八百三十四番	一	二十間	十間	一	一	
同	同	同	第八百三十五番	一	二十間	十間	一	一	
同	同	仁ノ鮎	第八百三十六番	一	二十八間	二十間	一	一	
同	同	南鮎	第八百三十七番	一	三十間	十五間	一	一	
同	同	濱塚	第五百九十一番	一	四十間	二十間	一	一	
大	同	八木濱	第五百九十二番	一	二百七十間	二百十間	一	一	
同	同	松ケ枝	第五百九十三番	一	九十間	四十五間	一	一	
同	同	新堀	第八百三十八番	一	三百間	百間	一	一	
同	同	濱塚	第八百三十九番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第八百四十番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	荒鮎	第八百四十一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	老松	第五百九十四番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第五百九十五番	一	四十間	二十間	一	一	

〔滋賀令〕

同	同	第五百九十六番	一	四十間	二十間	一	一		
同	同	第五百九十七番	一	四十間	二十間	一	一		
同	南濱	荒萩	第五百九十八番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	濵戸	第五百九十九番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	政所	第六百番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	川下	第六百番ノ二	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百番ノ三	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	二ノ鮎	第六百一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	中川	第六百四番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	川道	第六百五番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	西濱塚	第六百六番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	紀江	第六百七番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	鶴ケ島	第六百十番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百十一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百十二番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	須田	第六百十三番ノ五	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	鶴ケ島	第六百十三番ノ十二	一	四十間	二十間	一	一	

漁業法第三條ノ水面ノ分

町	大字	地番	號個所	一	十八間	九間	一	一	
村	朝日	野田	第千四番	一	二百六十間	八十間	一	一	
同	津里	六丁濱	第千五番	一	百間	五十間	一	一	
同	同	同	同	一	百五十間	五十間	一	一	
同	同	野田	第千四番	一	百六十間	五十間	一	一	
同	今西	小賀	第二百七十九番	一	百四十間	五十間	一	一	
同	同	数不知	第二百九十七番	一	二十五間	十間	一	一	

同	同	第五百九十六番	一	四十間	二十間	一	一		
同	同	第五百九十七番	一	四十間	二十間	一	一		
同	南濱	荒萩	第五百九十八番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	濵戸	第五百九十九番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	政所	第六百番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	川下	第六百番ノ二	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百番ノ三	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	二ノ鮎	第六百一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	中川	第六百四番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	川道	第六百五番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	西濱塚	第六百六番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	紀江	第六百七番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	鶴ケ島	第六百十番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百十一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百十二番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	須田	第六百十三番ノ五	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	鶴ケ島	第六百十三番ノ十二	一	四十間	二十間	一	一	

漁業法第三條ノ水面ノ分

町	大字	地番	號個所	一	十八間	九間	一	一	
村	朝日	野田	第千四番	一	二百六十間	八十間	一	一	
同	津里	六丁濱	第千五番	一	百間	五十間	一	一	
同	同	同	同	一	百五十間	五十間	一	一	
同	同	野田	第千四番	一	百六十間	五十間	一	一	
同	今西	小賀	第二百七十九番	一	百四十間	五十間	一	一	
同	同	数不知	第二百九十七番	一	二十五間	十間	一	一	

同	同	第五百九十六番	一	四十間	二十間	一	一		
同	同	第五百九十七番	一	四十間	二十間	一	一		
同	南濱	荒萩	第五百九十八番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	濵戸	第五百九十九番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	政所	第六百番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	川下	第六百番ノ二	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百番ノ三	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	二ノ鮎	第六百一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	中川	第六百四番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	川道	第六百五番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	西濱塚	第六百六番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	紀江	第六百七番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	鶴ケ島	第六百十番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百十一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百十二番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	須田	第六百十三番ノ五	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	鶴ケ島	第六百十三番ノ十二	一	四十間	二十間	一	一	

漁業法第三條ノ水面ノ分

町	大字	地番	號個所	一	十八間	九間	一	一	
村	朝日	野田	第千四番	一	二百六十間	八十間	一	一	
同	津里	六丁濱	第千五番	一	百間	五十間	一	一	
同	同	同	同	一	百五十間	五十間	一	一	
同	同	野田	第千四番	一	百六十間	五十間	一	一	
同	今西	小賀	第二百七十九番	一	百四十間	五十間	一	一	
同	同	数不知	第二百九十七番	一	二十五間	十間	一	一	

〔滋賀令〕

同	同	第五百九十六番	一	四十間	二十間	一	一		
同	同	第五百九十七番	一	四十間	二十間	一	一		
同	南濱	荒萩	第五百九十八番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	濵戸	第五百九十九番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	政所	第六百番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	川下	第六百番ノ二	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百番ノ三	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	二ノ鮎	第六百一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	中川	第六百四番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	川道	第六百五番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	西濱塚	第六百六番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	紀江	第六百七番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	鶴ケ島	第六百十番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百十一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百十二番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	須田	第六百十三番ノ五	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	鶴ケ島	第六百十三番ノ十二	一	四十間	二十間	一	一	

漁業法第三條ノ水面ノ分

町	大字	地番	號個所	一	十八間	九間	一	一	
村	朝日	野田	第千四番	一	二百六十間	八十間	一	一	
同	津里	六丁濱	第千五番	一	百間	五十間	一	一	
同	同	同	同	一	百五十間	五十間	一	一	
同	同	野田	第千四番	一	百六十間	五十間	一	一	
同	今西	小賀	第二百七十九番	一	百四十間	五十間	一	一	
同	同	数不知	第二百九十七番	一	二十五間	十間	一	一	

同	同	第五百九十六番	一	四十間	二十間	一	一		
同	同	第五百九十七番	一	四十間	二十間	一	一		
同	南濱	荒萩	第五百九十八番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	濵戸	第五百九十九番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	政所	第六百番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	川下	第六百番ノ二	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百番ノ三	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	二ノ鮎	第六百一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	中川	第六百四番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	川道	第六百五番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	西濱塚	第六百六番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	紀江	第六百七番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	鶴ケ島	第六百十番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百十一番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	同	第六百十二番	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	須田	第六百十三番ノ五	一	四十間	二十間	一	一	
同	同	鶴ケ島	第六百十三番ノ十二	一	四十間	二十間	一	一	

漁業法第三條ノ水面ノ分

町	大字	地番	號個所	一	十八間	九間	一	一	
村	朝日	野田	第千四番	一	二百六十間	八十間	一	一	
同	津里	六丁濱	第千五番	一	百間	五十間	一	一	
同	同	同	同	一	百五十間	五十間	一	一	
同	同	野田	第千四番	一	百六十間	五十間	一	一	
同	今西	小賀	第二百七十九番	一	百四十間	五十間	一	一	
同	同	数不知	第二百九十七番	一	二十五間	十間	一	一	

保護區域　下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間　同

下流川尻沖百間迄及川尻沿岸左へ五十間及右へ十四間竝各其ノ沖百間　下流川尻沖百間迄及川尻沿岸左へ百間右へ三十四間竝各其ノ沖百間

下流川尻沖百間迄及川尻沿岸左へ十四間右へ百間竝各其ノ沖百間

下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間

同	同	北ノ町	第九百十九番	二	二十五間	十二間	一
同	同	市ノ町	第九百四十九番	一	二十間	八間	一
同	同	四文田	第九百九十二番	一	二十間	十間	一
大郷	南濱	平尾	第五百八十五番	一	百三十間	六十五間	一
同	同	政所	第五百五十五番ノ七	一	十間	五間	一
同	同	同	第五百五十五番	一	五十間	二十五間	一
同	川道	三ノ魚	第千三十九番	一	九間	四間	一
同	同	西濱塚	第千二百二十三番	一	四十間	二十間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	同	同	一	十六間	八間	一
同	同	同	同	一	三十間	十五間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	同	第千二百二十二番ノ一	二	十六間	八間	一
同	同	東中群	第千三百四十三番ノ一	一	二十五間	十二間	一
		伊香郡					

公共ノ用ニ供スル水面ノ分

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
古保利	片山	黑崎	第六百十六番	一	八十間	四十間	一
永原	月出	乙部	第六百十七番	一	百八十間	八十七間	一
同	大浦	勘後	第八百四十二番	一	九十八間	四十九間	一
鹽津	鹽津濱	中島	第六百二十二番	一	百八十間	九十間	一
同	同	大辛	第六百二十三番	一	六十間	三十間	一
同	同	浦手	第八百四十三番	一	百間	五十間	一
同	岩熊	小島	第八百四十三番ノ二	一	百五十間	六十間	一
同	同	同	第八百四十三番ノ三	一	五十間	二十間	一
同	同	石ケ崎	第八百四十三番ノ四	一	十八間	九間	一
		高島郡					

〔滋賀令〕

〔滋賀令〕

公共ノ用ニ供スル水面ノ分

町村	大字	字	漁籍番號	個所	縱間數	横間數	保護區域
大溝	勝野	大芹	第六百二十四番	一	三十三間	十六間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	喜呂	第六百二十六番	一	二十三間	六間五尺	一
同	同	同	第六百二十七番	一	六十間	三十間	一
同	永田	大源	第六百三十七番	一	六十間	三十間	一
同	同	川口	第六百三十九番	一	十八間	九間	一
同	同	臺場	第八百四十四番	一	九十七間	四十八間	一
青柳	下小川	堂腰	第六百四十番	一	二十五間	四間二尺	一
同	同	同	第六百四十一番	一	二十間	四間半	一
同	同	四十分	第六百四十二番	一	四十間	二十間	一
同	同	長割	第六百四十三番	一	七十間	三十五間	一
同	同	四ツ目	第六百四十四番	一	百五十間	五十間	一
本庄	横江濱	川向	第六百四十五番	一	十五間	六間	一
同	同	同	第六百四十六番	一	十間	五間	一
同	同	同	第六百四十七番	一	六十間	三十間	一
同	同	中筋	第六百四十八番	一	六十間	三十間	一
同	四津川	梅ノ木	第六百五十三番	一	百五十五間	七十七間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	松ノ木	第六百五十五番	一	五十間	十六間	一
同	同	柿ノ木	第六百五十六番	一	十間	五間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	同	第六百五十七番	一	十間	五間	一
同	同	村ノ内	第六百五十八番	一	百十間	四十間	一
同	同	濱畑	第六百五十九番	一	百十間	四十間	一
同	同	濱割	第六百六十番	一	六十間	三十間	一
同	同	濱畑	第六百六十一番	一	二百八十間	四十間	一

同	同	同	第六百六十二番	一	二百八十間	四十間	
同	同	村ノ内	第六百六十三番	一	二百八十間	四十間	
同	南船木	佃	第六百六十八番	一	十七間	四間	
同	同	同	第六百六十九番	一	百間	四十五間	
同	同	暕	第六百七十番	一	三百九十間	五十五間	
同	同	同	第六百七十一番	一	三百九十間	五十五間	
同	同	同	第六百七十二番	一	三百三十三間	七十間	
同	同	同	第六百七十四番	一	九十五間	四十二間	
同	北船木	新口	第六百七十五番	一	七十間	三十五間	
同	同	元口	第六百七十七番	一	三十五間	十間	
同	同	同	第六百七十八番	一	百間	三十八間	
同	同	永龍	第六百七十九番	一	五十間	二十五間	
同	同	輪内	第六百八十番	一	十五間	二間	
同	同	永竜	第六百八十一番	一	百二十間	三十八間	
同	同	川崎	第六百八十二番	一	五十間	二十五間	
同	同	輪内	第六百八十三番	一	五十間	二十五間	
同	同	同	第八百四十五番	一	十七間	七間	
新儀	太田	入道	第六百八十四番	一	三十間	五間四尺	下流川尻十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	同	第六百八十五番	一	三十五間	十七間	
同	藁園	彦須	第六百八十七番	一	六十間	三十間	
同	同	同	第八百四十六番	一	十五間	七間	
同	同	同	第八百四十七番	一	十五間	七間	
同	同	川内田	第六百八十九番	一	二十五間	十二間	
同	同	同	第八百四十八番	一	四十間	二十間	
同	同	彦須	第六百九十一番	一	五十間	二十五間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間

同	同	芝ヶ濱	第六百九十二番	一	五十間	二十五間	同
同	同	四反田	第八百四十九番	一	十五間	七間	
饗庭	深溝	一ノ坪	第六百九十三番	一	四十七間	二十間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	同	第六百九十三番ノ二	一	五十間	二十五間	
同	同	同	第六百九十六番	一	五十間	二十五間	
同	同	東釜	第八百五十番	一	八十三間	四十一間半	
同	同	一之坪	第八百五十一番	一	五十五間	二十七間五分	
同	針江	川北	第六百九十九番	一	四十五間	二十二間半	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	同	第七百番	一	五十間	二十五間	
同	針江深溝	川北一ノ坪	第七百二番	一	五十五間	十六間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	饗庭	太田川	第八百五十二番	一	百二十八間	六十四間	
同	深溝	一ノ坪	第七百一番	一	五十間	二十五間	
同	饗庭	榮元	第七百十一番	一	十八間	五間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	大江	第七百十四番	一	七十七間	三十八間半	
同	同	榮元	第七百十六番	一	二百間	百間	
同	同	馬原	第八百五十四番	一	二十間	十間	
同	同	同	第八百五十五番	一	二十間	八間	
同	同	大江	第八百五十六番	一	十六間	八間	
同	同	馬原	第八百五十八番	一	二十間	八間	
同	同	大江	第八百六十一番	一	二十五間	十二間	
同	同	馬原	第八百六十二番	一	三十間	十間	
同	同	大江	第八百六十三番	一	三十間	十二間	
今津	今津	菰池	第七百十七番	一	三十二間	八間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	同	第七百二十番	一	百二十八間	四十三間	
同	同	新町	第七百二十一番	一	五十間	二十五間	

〔滋賀令〕

同	同	南濱	第七百二十二番	一	五十間	二十五間	―
同	南新保	大濱	第七百二十五番	一	五十七間	二十八間五分	―
川上	濱分	里ノ内	第七百二十六番	一	八十間	四十間	―
同	同	古賀町	第七百二十七番	一	百間	五十間	―
同	同	三人川	第七百二十八番	一	百四十間	四十間	―
同	北柳	横清水	第七百二十九番	一	百五十間	四十間	―
同	深清水	濱崎	第七百三十四番	一	八十三間	四十一間	―
百瀨	大沼	北濱	第七百三十六番	一	七十五間	三十七間	―
同	中庄	脹折	第七百三十七番	一	五十間	二十五間	―
同	新保	中島	第七百三十八番	一	八間	四間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	同	第七百三十九番	一	四十間	二十間	―
同	知內	八反田	第七百四十番	一	三十間	十間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	濱畑	第七百四十一番	一	十九間	四間	同
同	同	同	第七百四十二番	一	八十間	三十間	―
同	同	中ノ勢	第七百四十三番	一	五十間	二十五間	―
海津	西濱	渡瀨	第七百四十四番	一	五間半	二間七分五厘	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	面テ	第七百四十五番	一	二十間	八間	同
同	同	高木	第七百四十六番	一	十八間	六間	同
同	同	同	第七百四十七番	一	五十間	二十五間	―
同	同	同	第七百四十八番	一	百二十間	五十六間	―
同	海津	中内	第七百四十九番	一	二十五間	十間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間

漁業法第三條ノ水面ノ分

町村	大字	字	地番號	個所	縦間數	横間數	保護區域
大溝	永田	通町	第百二番	一	十五間	二十間	―

〔滋賀令〕

同	同	臺場	第六十四番	一	二十五間	十間	―
同	同	中島	第十二番	一	二十間	八間	―
同	同	川口	第十一番	一	二十二間	十間	―
同	同	同	同	一	十五間	七間	―
同	勝野	港	第千五百四十二番	一	十七間	八間	―
同	同	同	第千五百四十一番	一	二十間	五間	―
同	同	喜呂	第千四百九十七番	一	十六間	八間	―
同	同	同	第千五百三十九番	一	四十一間	二十間	―
同	同	同	第千五百三十八番ノ七	一	六十二間	三十一間	―
同	同	杉原	第二千四百六十五番	一	十六間	五間	―
同	同	同	第二千二百五十四番	一	四十間	二十間	―
同	永田	兒子面	第五番	一	五十間	二十五間	―
青柳	下小川	飢本	第二千二百四十九番ノ二	一	十七間	五間	―
本庄	南船木	佃	第三百六十五番	一	四十九間	二十四間	―
同	四津川	梅ノ木	第十番	三	二十間	十間	―
同	同	鉾ノ町	第二十九番	一	十五間	七間	―
同	同	松ノ木	第八百七十六番	一	二十間	十間	―
同	同	濱畑	第七百二十八番ノ一	一	二十間	十間	―
同	同	同	第七百五十二番ノ一	一	四十間	二十間	―
新儀	太田	入道南	第十二番ノ一	一	三十一間	十三間	―
饗庭	旭	城ノ下	第千五百七十九番	一	二十六間	十三間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	針江	川北	第千四百三十二番	一	四十六間	二十三間	―
同	同	大久保	第三番	一	三十間	十間	―
同	同	同	第四番	一	四十間	二十間	―
同	深溝	西釜	第五百二十四番	一	二十八間	十二間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間

同	同	東釜	第五百一番ノ一	一	五十間	十八間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	同	中川	第七十四番	一	十七間	八間	同
同	同	夕暮原	第三番	一	五十間	二十五間	―
今津	今津	中ノ沼	第三百五十四番	二	四十五間	五間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
川上	桂	古川	第千百七十一番ノ一	一	七十五間	三十五間	同
同	深清水	南古田	第二千四百七番ノ六	一	六十三間	三十一間	―
同	同	同	第二千四百七番ノ六	一	五十間	十八間	―
同	北仰	横清水	第一番	一	三十五間	十間	下流川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
同	濱分	三人河	第七番ノ一	一	三十間	十五間	同
百瀬	中庄	腰折	第千二百五十四番	一	十五間	五間	―
海津	西濱	橋川	第七百四番	一	十五間	八間	―
同	同	同	同	一	二十五間	十五間	―
同	同	西道	第二百八番ノ一	一	二十五間	十五間	

簗ノ部

滋賀郡

川名	町村名	大字名	字名	漁籍番號	個所	亙リ間數	保護區域 上	保護區域 下
眞野川	眞野	眞野	東浦	第三番	一	七間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間
和邇川	和邇	今宿	和邇川	第四番	一	十間	十間	同
同	同	同	同	第四番ノ二	一	十三間四分	二十五間	五十間
栗太郡								
大戸川	下田上	黒津	水汲	第五番	一	三十九間	十間	川尻沖十間迄及川尻沿岸左右各十間竝沖十間
野洲郡								
野洲川	中洲	吉川	度々川原	第七番	一	三十間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間
同	速野	今濱	内畑	第八番	一	三十二間	十間	同

同	河西	笠原	森	第十番	一	四十五間	五間	二百間
童子川	兵主	野田	落合	第十一番	一	四間	八間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間
仁保川	北里	野	下ノ木方	第十二番	一	二十間	十間	同
甲賀郡								
野洲川	水口	水口	上眞海	第十三番	一	六間	六十間	十間
同	石部	石部	中島					
同	岩根	菩提寺	下高田	第十四番	一	五間	四十間	十間
同	柏木	酒人	柳原	第十五番	一	二十間	六十間	十間
同	三雲	針	西濱臺	第十六番	一	五間	四十間	十間
同	岩根	岩根	十七割	第十八番	一	五間	四十間	十間
同	三雲	吉永	中川原	第二十番	一	五間	四十間	十間
同	佐山	嶬峨	寺久保又ハ久保田	第二十四番	一	五間	四十間	十間
神崎郡								
愛知川	北五箇荘	小幡	的場鈎	第三十一番	一	二十五間	五間	九十五間
神崎郡 愛知郡								
愛知川	栗見 葉枝見	福堂 新海	西河原 一ノ坪	第二十九番	一	三十間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間
同	北五個莊 愛知川	簗瀬 愛知川	大原 柳	第三十四番	一	二十五間	五十間	九十五間
愛知郡								
愛知川	西小椋	外	別所	第三十五番	一	十間	十間	四間
同	同	小倉	上川原	第三十六番	一	八間	七間	四間
宇曾川	稻枝	肥田	又蔵	第三十七番	一	八間	十間	百間
犬上郡								
宇曾川	磯田	三津屋	川東	第三十八番	一	二十二間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間

芹川	北青柳	長曾根	野紳	第四十番	一	二十七間	二十間	川尻迄
犬上川	磯田	八阪	頭無	第四十一番	一	四十四間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間
阪田郡								
天ノ川	入江	朝妻筑摩	川端 自五月十六日至十二月三十一日	第四十六番	一	十八間四尺	百十六間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間
同	同	上多良	奥野森 上り漁 自二月一日至五月十五日 下り漁 自五月十六日至十月三十日	第四十六番ノ二	一	十八間	上り漁 三十間 下り漁 百間	上り漁 川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間 下り漁 三十間
同	息長	箕浦外	河原	第四十七番	一	二十九間	十五間	八十五間
東浅井郡								
姉川	大郷	南濱	中島	第五十七番	一	二十九間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間
同	同	同	川向	第五十八番	一	三十五間	十間	同
同	同	野寺	中川原	第五十九番	一	二十三間	三十間	三十間
伊香郡								
高時川	高時	小山	中川原	第六十九番	一	二十五間	五間	二十間
同	同	川合	牛谷	第七十六番	一	五間	百間	
同	同	同	下川原	第七十七番	一	二十七間	百間	
同	同	大見	豆ヶ谷	第百九番	一	十間	五十間	八間
同	同	同	北野	第百二十二番	一	六間	十間	十間
同	丹生	上丹生	吉ノ邊	第百五番	一	十間	十間	五間
余呉川	古保利	柳野中	川原	第百二十九番	一	七間	十間	九十間
大川	鹽津	鹽津濱	下關屋	第百三十三番	一	五間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間
高島郡								
知内川	百瀬	知内	大川	第百三十四番	一	十六間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間

〔滋賀令〕

〔滋賀令〕

石田川	川上	濱分	出口	第百三十七番	一	十二間半	二十五間	下流漁籍第百三十八番漁場上流二十五間迄
同	同	同	同	第百三十八番	一	十二間半	二十五間	下流漁籍第百三十九番漁場上流三十間迄
同	同	同	里ノ内	第百三十九番	一	十二間	三十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間
鴨川	水尾	鴨	中堤	第百四十番	一	十五間	三十間	下流大字鴨竝青柳村大字下小川境迄
堰四手網ノ部								
東浅井郡								
姉川	大郷	大濱	堤外中川原	第五十三番	一	三十間	十五間	十八間
同	同	同	川向	第五十四番	一	三十間	十五間	百五十五間
同	同	同	上川原	第五十四番ノ二	一	二十三間	十五間	十八間
同	同	南濱	上操舟・	第五十五番	一	二十八間	十間	九十間
同	同	同	下操舟	第五十六番	一	三十間	十間	二百五十間
余呉川	朝日	東尾上	川成	第六十番	一	八間一分	百二十八間	三十二間
同・	同	同	同	第六十一番	一	六間八分	十間	水抜川川尻沖百間迄及湖岸ニ沿フテ右百間竝其沖百間
同	同	同	同	第六十二番	一	八間五分	十間	六十七間
同	同	尾上	村ノ内	第六十三番	一	七間五分	十間	二百間
網簗ノ部								
高島郡								
安曇川	本庄	北舟木	同内	第百三十五番	一	五十間	三十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間
同	同	同	永龍	第百三十六番	一	二十間	三十間	同
東浅井郡								
田川	大郷	錦織	下作	第百三十六番ノ三	一	七間五分	三十六間九分	五十二間
かつとり簗ノ部								
高島郡								

町村名	大字名	漁籍番號	個所	幅	深	保護區域	互り間數	保護區域
堅田	大字堅田	第一番	一	十六間	四尺	上り漁	三十間	一
今堅田	今堅田	第二番	一	十六間	四尺	下り漁	三十間	一
野洲郡	中ノ荘第三生	第三番	一	十六間	四尺	川下百三十間		
佐波江	第二生	第四番	一	十六間	四尺	川下百五十間		
同	同	第五番	一	十六間	四尺			
栗太郡	大字志津	第六番	一	十六間	四尺			
北津田	大字北津田	第七番	一	十六間	四尺			
同	同	第八番	一	十六間	四尺			
同	同	第九番	一	十六間	四尺			
上田上	大字上田上	第十番	一	十六間	四尺			

伏網ノ部

町村名	大字名	漁籍番號	個所	幅	深	保護區域	互り間數	保護區域
栗見	大字栗見新田	第一番	一	十六間	四尺	上り漁	三十間	一
同	中ノ荘第二生	第二番	一	十六間	四尺	下り漁	三十間	一
同	今生	第三番	一	十六間	四尺	川下百三十間		
津	第三生	第四番	一	十六間	四尺	川下百五十間		
諸	同	第五番	一	十六間	四尺			
濱	大字濱	第六番	一	十六間	四尺			

滋賀郡

町村名	大字名	漁籍番號	個所	幅	深	保護區域	互り間數	保護區域
大津	大字大津	第一番	一	五十間	六十間	下流網築漁籍第百三十五番漁場上流三十間迄		
同	同	第二番	一	二十間	百間	下流網築漁籍第百三十六番漁場上流三十間迄		
知内川	百濱	第三番（築漁籍第百三十四番ト同一場所）	一	十六間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間		
石田川	川上	第四番（築漁籍第百三十八番ト同一場所）	一	十二間半	二十五間	下流漁籍第百三十九番漁場上流三十間迄		
同	濱分	第五番（築漁籍第百三十九番ト同一場所）	一	十二間	三十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間		
同	出口	第一番（築漁籍第百三十四番ト同一場所）	一	十間	十間			
同	里ノ内	第二番（築漁籍第百三十五番ト同一場所）	一	十間	百間			

張網類漁業

張網ノ部

神崎郡

町村名	大字名	漁籍番號	個所	幅	深	保護區域	互り間數	保護區域
安養川	本庄	第一番	一	五十間	六十間	下流網築漁籍第百三十五番漁場上流三十間迄		
同	同	第二番	一	二十間	百間	下流網築漁籍第百三十六番漁場上流三十間迄		
知内川	百濱	第三番（築漁籍第百三十四番ト同一場所）	一	十六間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間		
石田川	川上	第四番（築漁籍第百三十八番ト同一場所）	一	十二間半	二十五間	下流漁籍第百三十九番漁場上流三十間迄		
同	濱分	第五番（築漁籍第百三十九番ト同一場所）	一	十二間	三十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間		
同	出口	第一番（築漁籍第百三十四番ト同一場所）	一	十間	十間			
同	里ノ内	第二番（築漁籍第百三十五番ト同一場所）	一	十間	百間			

町村名	大字名	漁籍番號	個所	幅	深	保護區域	互り間數	保護區域
堅田	大字堅田	第一番	一	十六間	四尺	上り漁	三十間	一
今堅田	今堅田	第二番	一	十六間	四尺	下り漁	三十間	一
野洲郡	中ノ荘第三生	第三番	一	十六間	四尺	川下百三十間		
佐波江	第二生	第四番	一	十六間	四尺	川下百五十間		
同	同	第五番	一	十六間	四尺			
栗太郡	大字志津	第六番	一	十六間	四尺			
北津田	大字北津田	第七番	一	十六間	四尺			
同	同	第八番	一	十六間	四尺			
同	同	第九番	一	十六間	四尺			
上田上	大字上田上	第十番	一	十六間	四尺			

伏網ノ部

町村名	大字名	漁籍番號	個所	幅	深	保護區域	互り間數	保護區域
栗見	大字栗見新田	第一番	一	十六間	四尺	上り漁	三十間	一
同	中ノ荘第二生	第二番	一	十六間	四尺	下り漁	三十間	一
同	今生	第三番	一	十六間	四尺	川下百三十間		
津	第三生	第四番	一	十六間	四尺	川下百五十間		
諸	同	第五番	一	十六間	四尺			
濱	大字濱	第六番	一	十六間	四尺			

滋賀郡

町村名	大字名	漁籍番號	個所	幅	深	保護區域	互り間數	保護區域
大津	大字大津	第一番	一	五十間	六十間	下流網築漁籍第百三十五番漁場上流三十間迄		
同	同	第二番	一	二十間	百間	下流網築漁籍第百三十六番漁場上流三十間迄		
知内川	百濱	第三番（築漁籍第百三十四番ト同一場所）	一	十六間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間		
石田川	川上	第四番（築漁籍第百三十八番ト同一場所）	一	十二間半	二十五間	下流漁籍第百三十九番漁場上流三十間迄		
同	濱分	第五番（築漁籍第百三十九番ト同一場所）	一	十二間	三十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間		
同	出口	第一番（築漁籍第百三十四番ト同一場所）	一	十間	十間			
同	里ノ内	第二番（築漁籍第百三十五番ト同一場所）	一	十間	百間			

張網類漁業

張網ノ部

神崎郡

町村名	大字名	漁籍番號	個所	幅	深	保護區域	互り間數	保護區域
安養川	本庄	第一番	一	五十間	六十間	下流網築漁籍第百三十五番漁場上流三十間迄		
同	同	第二番	一	二十間	百間	下流網築漁籍第百三十六番漁場上流三十間迄		
知内川	百濱	第三番（築漁籍第百三十四番ト同一場所）	一	十六間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間		
石田川	川上	第四番（築漁籍第百三十八番ト同一場所）	一	十二間半	二十五間	下流漁籍第百三十九番漁場上流三十間迄		
同	濱分	第五番（築漁籍第百三十九番ト同一場所）	一	十二間	三十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間		
同	出口	第一番（築漁籍第百三十四番ト同一場所）	一	十間	十間			
同	里ノ内	第二番（築漁籍第百三十五番ト同一場所）	一	十間	百間			

町村名	大字名	漁籍番號	個所	幅	深	保護區域	互り間數	保護區域
堅田	大字堅田	第一番	一	十六間	四尺	上り漁	三十間	一
今堅田	今堅田	第二番	一	十六間	四尺	下り漁	三十間	一
野洲郡	中ノ荘第三生	第三番	一	十六間	四尺	川下百三十間		
佐波江	第二生	第四番	一	十六間	四尺	川下百五十間		
同	同	第五番	一	十六間	四尺			
栗太郡	大字志津	第六番	一	十六間	四尺			
北津田	大字北津田	第七番	一	十六間	四尺			
同	同	第八番	一	十六間	四尺			
同	同	第九番	一	十六間	四尺			
上田上	大字上田上	第十番	一	十六間	四尺			

伏網ノ部

町村名	大字名	漁籍番號	個所	幅	深	保護區域	互り間數	保護區域
栗見	大字栗見新田	第一番	一	十六間	四尺	上り漁	三十間	一
同	中ノ荘第二生	第二番	一	十六間	四尺	下り漁	三十間	一
同	今生	第三番	一	十六間	四尺	川下百三十間		
津	第三生	第四番	一	十六間	四尺	川下百五十間		
諸	同	第五番	一	十六間	四尺			
濱	大字濱	第六番	一	十六間	四尺			

滋賀郡

町村名	大字名	漁籍番號	個所	幅	深	保護區域	互り間數	保護區域
大津	大字大津	第一番	一	五十間	六十間	下流網築漁籍第百三十五番漁場上流三十間迄		
同	同	第二番	一	二十間	百間	下流網築漁籍第百三十六番漁場上流三十間迄		
知内川	百濱	第三番（築漁籍第百三十四番ト同一場所）	一	十六間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間		
石田川	川上	第四番（築漁籍第百三十八番ト同一場所）	一	十二間半	二十五間	下流漁籍第百三十九番漁場上流三十間迄		
同	濱分	第五番（築漁籍第百三十九番ト同一場所）	一	十二間	三十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間		
同	出口	第一番（築漁籍第百三十四番ト同一場所）	一	十間	十間			
同	里ノ内	第二番（築漁籍第百三十五番ト同一場所）	一	十間	百間			

張網類漁業

張網ノ部

神崎郡

町村名	大字名	漁籍番號	個所	幅	深	保護區域	互り間數	保護區域
安養川	本庄	第一番	一	五十間	六十間	下流網築漁籍第百三十五番漁場上流三十間迄		
同	同	第二番	一	二十間	百間	下流網築漁籍第百三十六番漁場上流三十間迄		
知内川	百濱	第三番（築漁籍第百三十四番ト同一場所）	一	十六間	十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間		
石田川	川上	第四番（築漁籍第百三十八番ト同一場所）	一	十二間半	二十五間	下流漁籍第百三十九番漁場上流三十間迄		
同	濱分	第五番（築漁籍第百三十九番ト同一場所）	一	十二間	三十間	川尻沖十間迄及湖岸左右各十間竝其ノ沖十間		
同	出口	第一番（築漁籍第百三十四番ト同一場所）	一	十間	十間			
同	里ノ内	第二番（築漁籍第百三十五番ト同一場所）	一	十間	百間			

同	同	北探	第十七番
同	石寺	出畑	第十八番
犬上郡			
磯田	三津屋	今川	第十九番
同	須越	南里	第二十番
同	同	針粂	第二十一番
同	八阪	江面須賀	
同	同	八阪野	第二十二番
北青柳	大藪	寄洲	第二十三番
伊香郡			
永原	大浦	小ツ組	第二十四番
同	同	三味	第二十五番
同	菅浦	奥出	第二十六番
同	同	同	第二十七番
同	同	道出	第二十八番
古保利	片山	黒ケ崎	第二十九番
同	同	瀧ケ谷	第三十番
高島郡			
饗庭	饗庭	佃	第三十一番
同	同	栄元	第三十二番
今津	今津	新町	第三十三番
同	同	中濱	第三十四番
			第三十五番第三十六番（削除）
川上	濱分	七反田	第三十七番
百瀬	中庄	宮崎	第三十八番

同	新保	中島	第三十九番
海津	西濱	高木	第四十番

氷魚地曳網之部

滋賀郡

和邇	今宿	北淺後	第四十一番
同	南濱	唐崎	第四十二番
同	同	同	第四十三番
同	同	北西	第四十四番
同	中濱	村ノ内	第四十五番
同	北濱	村ノ内	第四十六番
同	同	平濱	第四十七番
同	同	天川	第四十八番
木戸	南船路	大門	第四十九番
同	八屋戸	カヤ	第五十番
同	同	横田	第五十一番
同	木戸	前田	第五十二番
同	荒川	松ノ浦	第五十三番
同	南比良	高築	第五十四番
同	同	南出	第五十五番
小松	北比良	川崎町	第五十六番
同	同	居本	第五十六番ノ二
同	南小松	男松	第五十七番
同	同	同	第五十七番ノ二
同	同	北カヤ	第五十八番
同	北小松	宮ノ南	第五十九番

同	同	村屋敷	第六十番
同	同	同	第六十一番
同	同	北コケノ	第六十二番
同	同	金ケ口	第六十三番
同	同	鵜川	第六十四番
同	鵜川	下鷹尾	第六十五番
同	同	元	第六十六番
同	同	坂畑	第六十七番
同	同	宮前	第六十八番
同	同	畑切	第六十九番
同	同	宮ノ前	第七十番
伊香郡			
古保利	片山	黒ケ崎	第七十一番
同	同	同	第七十二番
同	同	瀧ケ谷	第七十三番
古保利	西野	大浦	第七十四番
高島郡			
大溝	勝野	權田	第七十五番
同	同	同	第七十六番
同	同	村内	第七十七番
同	同	大芹	第七十八番
同	同	了道	第七十九番
同	同	伽	第八十番
饗庭	饗庭	桑元	第八十一番
同	同	同	第八十二番

〔滋賀令〕

〔滋賀令〕

今津	今津	新町	第八十三番
同	同	同	第八十四番
同	同	南濱	第八十五番
同	同	北濱	第八十六番
同	南新保	大瀬至	第八十七番
川上	濱分	里ノ内	第八十八番
同	同	四反田	第八十九番
同	同	七反田	第九十番
百瀬	中庄	宮崎	第九十一番
同	新保	中・島	第九十二番
同	同	同	第九十三番
同	知内	濱畑	第九十四番
海津	西濱	高木	第九十五番
同	同	同	第九十六番
同	同	西テ	第九十七番
同	海津	中内	第九十八番

鮎地曳網之部

滋賀郡

和邇	今宿	北淺後	第九十八番ノ二
同	南濱	唐崎	第九十八番ノ三
同	同	同	第九十八番ノ四
同	同	北西	第九十八番ノ五
同	中濱	村ノ内	第九十八番ノ六
同	北濱	同	第九十八番ノ七
同	同	平濱	第九十八番ノ八

同	同	天川	第九十八番ノ九
木戸	南比良	南出	第九十九番
同	南船路	大門	第九十九番ノ二
同	八屋戸	カヤ	第九十九番ノ三
同	同	横田	第九十九番ノ四
同	木戸	前田	第九十九番ノ五
小松	北比良	濱田	第百番
同	同	川崎町	第百番ノ二
同	南小松	雄松	第百番ノ三
同	同	同	第百番ノ四
同	北小松	宮ノ南	第百番ノ五
同	同	村屋敷	第百番ノ六
同	同	同	第百番ノ七
同	同	北コケノ	第百番ノ八
同	同	金ケロ	第百番ノ九
同	同	鵜川	第百番ノ十
同	同	坂畑	第百番ノ十一
同	鵜川	宮前	第百番ノ十二
同	同	堀切	第百番ノ十三
同	同	下鷹尾	第百一番
小松	同	蚖	第百二番
同	同	宮ノ前	第百三番
同	同	伊崎	第百四番
島	蒲生郡	瀬戸浦	第百四番ノ二
同	奥島		
	沖島		

〔滋賀令〕

同	同	栗谷	第百四番ノ三
同	同	湯ケ谷	第百四番ノ四
同	同	和田山	第百四番ノ五
同	奥島	伊崎	第百四番ノ六
同	同	宮ケ濱	第百四番ノ七
同	同	鮒ケ谷	第百四番ノ八
同	同	小豆濱	第百四番ノ九
同	同	伊崎	第百四番ノ十
同	長命寺	西方谷	第百四番ノ十一
碳田	犬上郡	今川	第百五番
同	三津屋	南里	第百六番
同	須越	針兼	第百七番
同	同	江面須賀	
同	八阪	濱出	第百七番ノ二
同	同	八阪野	第百八番
大郷	東淺井郡	川下	第百九番
同	南濱	同	第百十番
永原	伊香郡	三味	第百十番ノ二
同	大浦	小津組	第百十番ノ三
同	同	奥出	第百十番ノ四
伊香具	菅浦	板谷	第百十番ノ五
同	飯浦	深谷	第百十番ノ六

〔滋賀令〕

塩津	塩津濱	大辛	第百十番ノ七
同	同	同	第百十番ノ八
永原	月出	乙部	第百十番ノ九
同	同	西方	第百十番ノ十
高島郡			
大溝	勝野	權田	第百十一番
同	同	同	第百十二番
同	同	了道	第百十二番ノ二
同	同	村內	第百十三番
川上	濱分	里ノ內	第百十三番ノ二
同	同	四反田	第百十三番ノ三
百濱	中庄	宮崎	第百十四番
同	新保	中島	第百十五番
同	同	同	第百十六番
同	知內	濱畑	第百十七番
同	同	大川	第百十八番
同	同	中鯰	第百十九番
海津	西濱	高木	第百二十番
同	同	同	第百二十一番
同	同	西テ	第百二十二番
同	海津	中內	第百二十三番
今津町	今津	新町	第百二十四番
同	同	同	第百二十五番
同	同	南濱	第百二十六番
同	同	北濱	第百二十七番

〔滋賀令〕

同	南新保	大濱	第百二十八番

鮒地曳網ノ部

滋賀郡			
小松	南小松	男松	第百二十四番
同	同	同	第百二十四番ノ二
			第百二十五番（削除）
高島郡			
本庄	北船木	永龍	第百二十六番
同	同	同	第百二十七番
同	同	輪內	第百二十八番

●漁揚場指定

明治四十五年一月十日
告示第五號

沿革　大正七年三月告示第六一號、一〇年四月第一四八號、一二年四月第一三九號、五月第一七五號、一三年五月第一五七號、一四年三月第六〇號、昭和二年六月第二三九號改正

明治四十五年一月滋賀縣令第一號滋賀縣漁業取締規則第十六條ニ依ル魚揚場左ノ通指定ス

魚揚場所在地及魚揚場名

郡市	町村	大字	魚揚場名
大津		御藏町	近江水產組合大津西魚揚場
同		湖南	同　大津東魚揚場
滋賀	小松	北小松	同　小松魚揚場
同	和邇	南濱	同　和邇魚揚場
同	堅田	本堅田	同　堅田魚揚場
同	下阪本	下阪本	同　下阪本魚揚場
同	膳所	錦	同　膳所魚揚場
栗太	大石	東	同　大石魚揚場
同	下田上	黑津	同　黑津魚揚場
同	瀨田	橋本	同　瀨田魚揚場
同	老上	矢橋	同　矢橋魚揚場
同	山田	北山田	同　山田魚揚場
同	常盤	志那	同　志那魚揚場
同	同	下物	同　下物魚揚場
野洲	玉津	赤野井	同　赤野井魚揚場
同	速野	木濱	同　木濱魚揚場
同	中洲	幸津川	同　幸津川魚揚場
同	同	吉川	同　吉川魚揚場
同	兵主	野田	同　野田魚揚場
同	北里	野	同　野　魚揚場
蒲生	八幡	新町元	同　八幡魚揚場
同	島	沖島	同　沖島魚揚場

同　豐浦魚揚場
同　常樂寺魚揚場
同　伊庭魚揚場
同　福堂魚揚場
同　新海魚揚場
同　柳川魚揚場
同　宇曾川魚揚場
同　八阪魚揚場
同　彥根魚揚場
同　松原魚揚場
同　磯　魚揚場
同　朝妻筑摩魚揚場
同　長濱魚揚場
同　川道魚揚場
同　南濱魚揚場
同　八木濱魚揚場
同　下八木魚揚場
同　早崎魚揚場
同　延勝寺魚揚場
同　尾上魚揚場
同　片山魚揚場
同　鹽津魚揚場
同　大浦魚揚場
同　海津魚揚場
同　知內魚揚場

同　濱分魚揚場
同　今津魚揚場
同　深溝魚揚場
同　船木魚揚場
同　四津川魚揚場
同　大溝魚揚場

●琵琶湖ノ魚族蕃殖及保護ノ件

明治四十一年三月九日
告諭第一號

琵琶湖ハ天然ノ養魚場ニシテ之ニ適應スル計劃ヲ立テ盛ニ漁獲ヲ放流シテ其蕃殖ヲ保護スルトキハ大ニ漁業ノ利益ヲ增進スルニ至ルヘキハ既往ノ實蹟ニ徵シテ明瞭ナルヲ以テ玆ニ明治四十一年度ヨリ同五十一年度ニ至ル十一箇年繼續事業トシテ鯉、鱒(鮭)鰻ノ魚鮮ヲ放流シ以テ琵琶湖ノ利源ヲ開發センコトヲ企劃シ其ノ經費ハ既ニ昨年通常縣會ノ議決ヲ經今ヤ之カ實行ニ著手セントスルニ至レリ

抑々本事業ノ積極的ノ方法ニ依リ琵琶湖魚族中將來最有望ナル魚族ノ蕃殖ヲ圖リ以テ永遠ニ縣下ノ福利ヲ增進スルニ在リト雖既往ノ實驗ニ徵スレハ多數ノ漁業者ハ只徒ニ眼前ノ小利ニ眩惑シ魚族愛護ノ感念ニ乏シク從テ魚鮮ヲ放流スレハ從テ之ヲ濫獲スルノ弊アルヲ以テ一面消極的ノ方法ニ依リテ之カ取締ヲ嚴密ニシ其蕃殖ヲ保護スルニアラサレハ到底完全ニ其ノ目的ヲ達スル能ハス故ニ今回縣令第十四號ヲ以テ漁業取締規則ヲ改正シ一層嚴重ナル取締方法ヲ設ケ以テ密漁濫獲ノ弊ヲ防遏センコトヲ期シタリ

琵琶湖重要魚族ノ繁殖ヲ圖ルノ目的ヲ以テ計畫シタル明治四十一年度ヨリ同五十一年度ニ至ル十一箇年繼續事業費ハ昨年通常縣會ニ於テ議決シタルヲ以テ愈々本年四月ヨリ之カ實行ニ著手セントス然ルニ本事業ヲ實施スルト同時ニ琵琶湖ニ於ケル漁業取締ヲ勵行スルニ非サレハ到底其效果ヲ完フスル能ハサルヲ以テ今回漁業取締規則ヲ改正シ本日之ヲ發布スルト同時ニ當業者ニ對シ告諭ヲ發シタリ故ニ各官公署ニ於テハ自今努メテ漁業者ヲシテ魚族愛護ノ感念ヲ喚起セシムルト同時ニ漁業取締ニ關シテハ一層嚴正ヲ守リ密漁濫獲ヲ防遏スルニ遺算ナカラムコトヲ期スヘシ今規則改正ノ主要ナル點及既往ノ實驗ニ徵シ取締上特ニ注意ヲ要スル點ヲ擧クレハ左ノ如シ

(一)規則改正ノ主要點

一從前內湖入江ニ於テハ大網、氷魚網、鮒網、鈔網ノ使用ヲ禁止シタルモ更ニ此ノ制限區域ヲ擴張シテ滋賀郡眞野川尻ヨリ野洲郡野洲川尻ヲ見通シタル線以南瀨田川洗堰迄ノ水面ヲ加ヘタルコト

二從前葭生水面ニ於テ五月十五日ヨリ七月十五日迄漁業ヲ禁止シタルモ更ニ其ノ期間ヲ延長シテ七月三十一日迄トシタルコト

三從前八寸未滿ノ鯉、鮭、鱒及五寸未滿ノ鮒ヲ捕獲販賣ヲ禁止シタルモ更ニ此ノ制限區域ヲ擴張シテ滋賀郡眞野川尻ヨリ野洲郡野洲川尻ヲ見通シタル線以南瀨田川洗堰迄ノ水面ヲ加ヘタルコト

二從前葭生水面ニ於テ五月十五日ヨリ七月十五日迄漁業ヲ禁止シタルモ更ニ其ノ期間ヲ延長シテ七月三十一日迄トシタルコト

三從前八寸未滿ノ鯉、鮭、鱒及五寸未滿ノ鮒ヲ捕獲販賣ヲ禁止シタルモ更ニ此ノ制限區域ヲ擴張シテ滋賀郡眞野川尻ヨリ野洲郡野洲川尻ヲ見通シタル線以南瀨田川洗堰迄ノ水面ヲ加ヘタルコト

二從前葭生水面ニ於テ五月十五日ヨリ七月十五日迄漁業ヲ禁止シタルモ更ニ其ノ期間ヲ延長シテ七月三十一日迄トシタルコト

三從前八寸未滿ノ鯉、鮭、鱒及五寸未滿ノ鮒ヲ捕獲販賣ヲ禁止シタルモ更ニ此ノ制限區域ヲ擴張シテ滋賀郡眞野川尻ヨリ野洲郡野洲川尻ヲ見通シタル線以南瀨田川洗堰迄ノ水面ヲ加ヘタルコト

三從前八寸未滿ノ鯉、鮭、鱒及五寸未滿ノ鮒ヲ捕獲販賣ヲ禁止シタルモ更ニ此ノ制限區域ヲ擴張シテ滋賀郡眞野川尻ヨリ野洲郡野洲川尻ヲ見通シタル線以南瀨田川洗堰迄ノ水面ヲ加ヘタルコト

四禁止期間中ニ漁業ヲ爲ス者アルコト

五捕獲及販賣禁止ノ稚魚ヲ捕獲販賣スル者アルコト

六恙ニ鮒ノ區域ヲ變更シ或ハ免許期數ヲ延長スル者アルコト

以上ハ既往ノ實蹟ニ徵シ往々取締上遺憾ヲ感スルコト多キヲ以テ自今以後一層取締ヲ嚴重ニシ苟モ本規則ニ違背スルモノアルトキハ寬假ナク處分シ以テ永遠保護ノ目的ヲ達センコトヲ努ムヘシ

●定置漁業免許願書ニ添付スヘキ漁場圖標準及雛形調製方

明治四十二年十二月十八日
告示第四百七號

漁業法第三條ニ依リ免許ヲ得ントスル定置漁業免許願書ニ添付スヘキ漁場圖ハ左記標準及雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

漁場圖調製標準

五百間以上	一分十間	(六千分ノ一)
三百間以上五百間未滿	一分五厘十間	(四千分ノ一)
二百間以上三百間未滿	二分	(二千五百分ノ一)
百間以上二百間未滿	三分十間	(二千分ノ一)

的琵琶湖經營ノ完成ヲ期シ永遠ニ其利益ヲ保護スルコトヲ努メ以テ荷モ法規ニ違背スルカ如キ行爲ナキ樣深ク注意スヘシ

●琵琶湖ノ魚族蕃殖及保護ニ關スル取締ノ件

明治四十一年三月九日
訓令第六號

內務部　警察部　郡市役所　警察署
(岡分署)　町村役場

琵琶湖重要魚族ノ繁殖ヲ圖ルノ目的ヲ以テ計畫シタル明治四十一年度ヨリ同五十一年度ニ至ル十一箇年繼續事業費ハ昨年通常縣會ニ於テ議決シタルヲ以テ愈々本年四月ヨリ之カ實行ニ著手セントス然ルニ本事業ヲ實施スルト同時ニ琵琶湖ニ於ケル漁業取締ヲ勵行スルニ非サレハ到底其效果ヲ完フスル能ハサルヲ以テ今回漁業取締規則ヲ改正シ本日之ヲ發布スルト同時ニ當業者ニ對シ告諭ヲ發シタリ故ニ各官公署ニ於テハ自今努メテ漁業者ヲシテ魚族愛護ノ感念ヲ喚起セシムルト同時ニ漁業取締ニ關シテハ一層嚴正ヲ守リ密漁濫獲ヲ防遏スルニ遺算ナカラムコトヲ期スヘシ今規則改正ノ主要ナル點及既往ノ實驗ニ徵シ取締上特ニ注意ヲ要スル點ヲ擧クレハ左ノ如シ

(一)規則改正ノ主要點

一從前內湖入江ニ於テハ大網、氷魚網、鮒網、鈔網ノ使用ヲ禁止シタルモ更ニ此ノ制限區域ヲ擴張シテ滋賀郡眞野川尻ヨリ野洲郡野洲川尻ヲ見通シタル線以南瀨田川洗堰迄ノ水面ヲ加ヘタルコト

二從前葭生水面ニ於テ五月十五日ヨリ七月十五日迄漁業ヲ禁止シタルモ更ニ其ノ期間ヲ延長シテ七月三十一日迄トシタルコト

三從前八寸未滿ノ鯉、鮭、鱒及五寸未滿ノ鮒ヲ捕獲販賣ヲ禁止シタルモ更ニ此ノ制限區域ヲ擴張シテ滋賀郡眞野川尻ヨリ野洲郡野洲川尻ヲ見通シタル線以南瀨田川洗堰迄ノ水面ヲ加ヘタルコト

二從前葭生水面ニ於テ五月十五日ヨリ七月十五日迄漁業ヲ禁止シタルモ更ニ其ノ期間ヲ延長シテ七月三十一日迄トシタルコト

三從前八寸未滿ノ鯉、鮭、鱒及五寸未滿ノ鮒ヲ捕獲販賣ヲ禁止シタルモ更ニ此ノ制限區域ヲ擴張シテ滋賀郡眞野川尻ヨリ野洲郡野洲川尻ヲ見通シタル線以南瀨田川洗堰迄ノ水面ヲ加ヘタルコト

四禁止期間中ニ漁業ヲ爲ス者アルコト

五捕獲及販賣禁止ノ稚魚ヲ捕獲販賣スル者アルコト

六恙ニ鮒ノ區域ヲ變更シ或ハ免許期數ヲ延長スル者アルコト

以上ハ既往ノ實蹟ニ徵シ往々取締上遺憾ヲ感スルコト多キヲ以テ自今以後一層取締ヲ嚴重ニシ苟モ本規則ニ違背スルモノアルトキハ寬假ナク處分シ以テ永遠保護ノ目的ヲ達センコトヲ努ムヘシ

●定置漁業免許願書ニ添付スヘキ漁場圖標準及雛形調製方

明治四十二年十二月十八日
告示第四百七號

漁業法第三條ニ依リ免許ヲ得ントスル定置漁業免許願書ニ添付スヘキ漁場圖ハ左記標準及雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

漁場圖調製標準

五百間以上	一分十間	(六千分ノ一)
三百間以上五百間未滿	一分五厘十間	(四千分ノ一)
二百間以上三百間未滿	二分	(二千五百分ノ一)
百間以上二百間未滿	三分十間	(二千分ノ一)

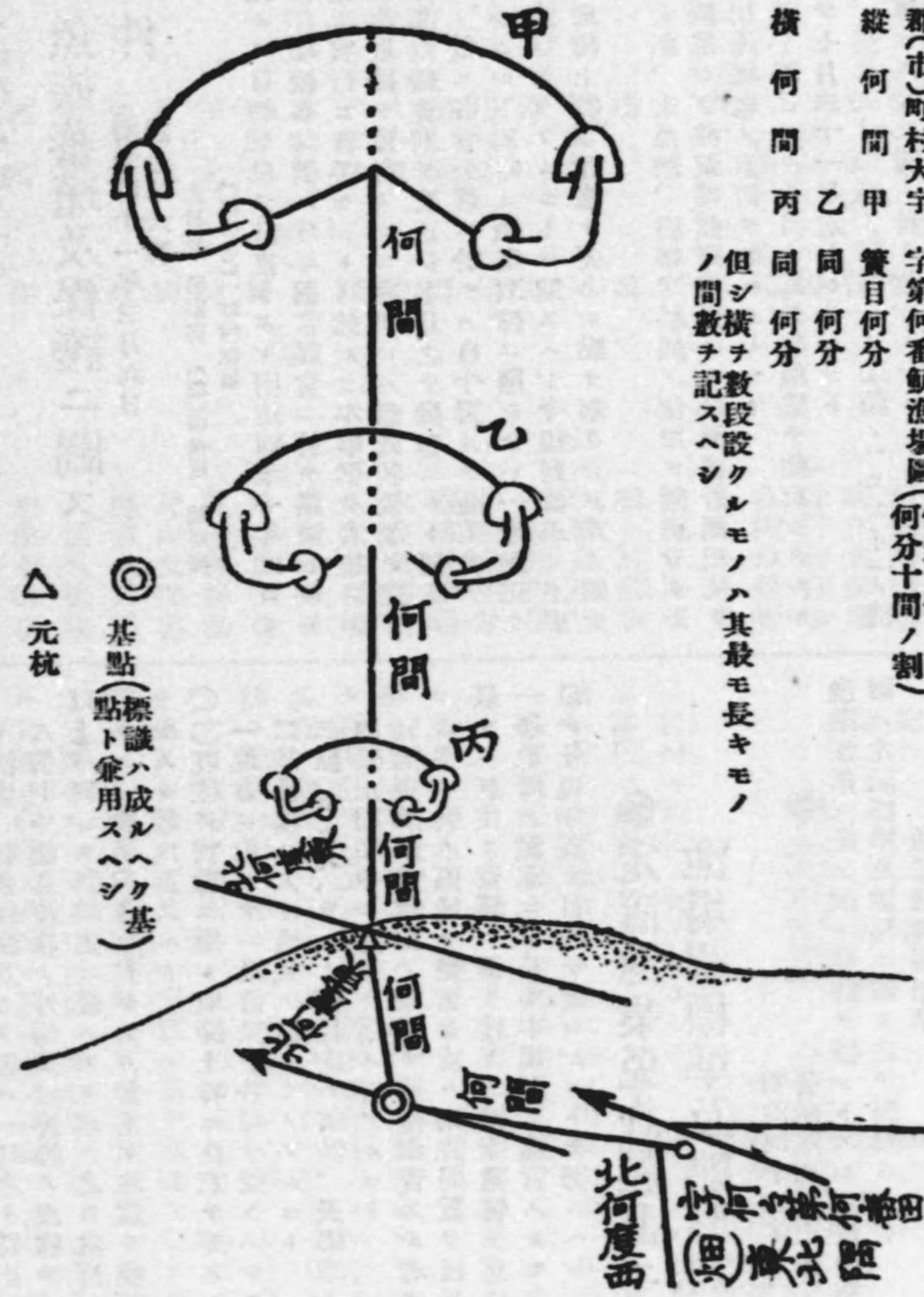
五十間以上百間未滿　六分十間（千分ノ一）
三十間以上五十間未滿　一分一間（六百分ノ一）
十間以上三十間未滿　二分一間（三百分ノ一）

五間以上十間未滿　四分一間（百五十分ノ一）
三間以上五間未滿　五分一間（百二十分ノ一）
三間以下　一寸一間（六十分ノ一）

郡（市）町村大字、字第何番魞漁場圖（何分ノ一何分十間ノ割）

縱何間甲簀目何分
　　　乙同何分
横何間丙同何分

但シ横ヲ數段設クルモノハ其最モ長キモノノ間數ヲ記スヘシ



◎基點（標識ハ成ルヘク基點ト兼用スヘシ）
△元杭
○控點

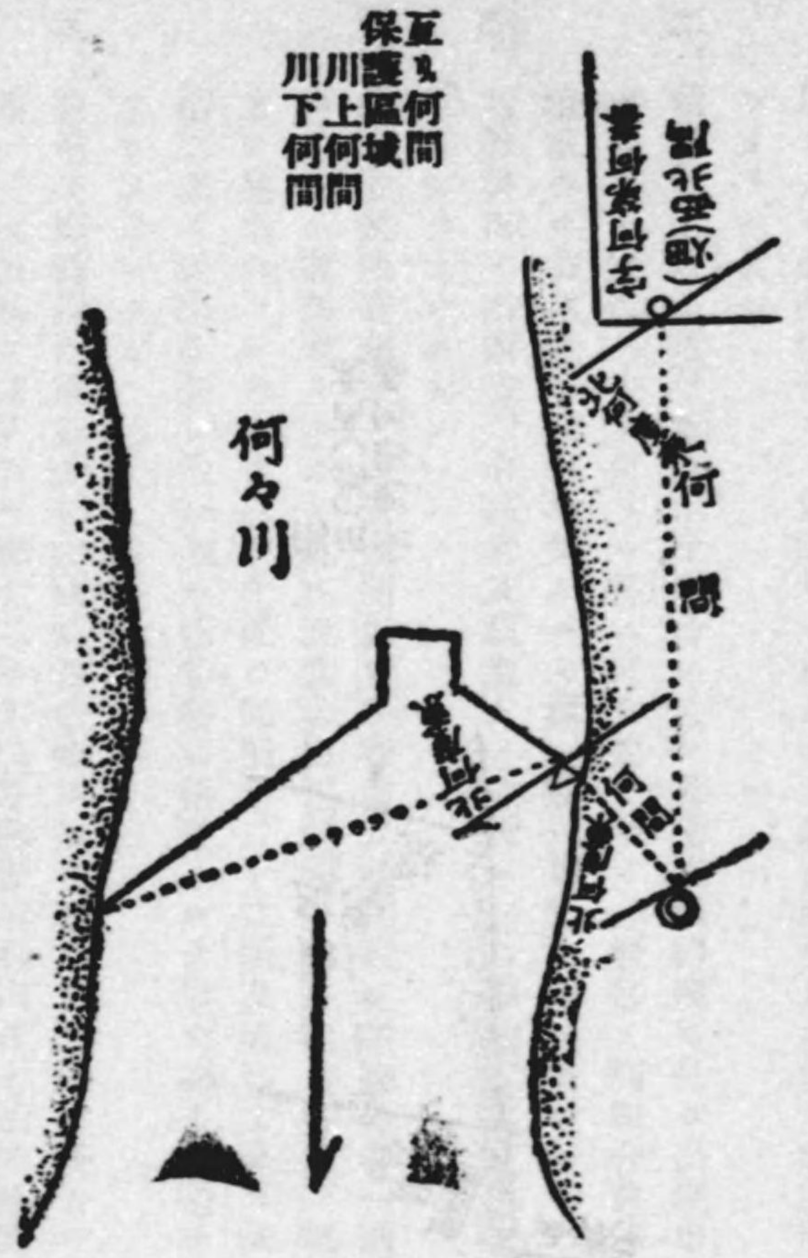
〔滋賀令〕

〔滋賀令〕

（備　考）
縱間數ノ或部分ニ於テ屈折スルモノニ在リテハ其屈折部ニ於テ磁石ニテ方位及角度ヲ示シ且其各間數ヲ記スヘシ
用紙攀水引美濃紙以下皆同シ

郡（市）町村大字、第何番梁（堰四手網）漁場圖（何分ノ一何分十間ノ割）

◎基點（標識ハ成ルヘク基點ト兼用スヘシ）
△元杭
○控點



出願者　氏　名印

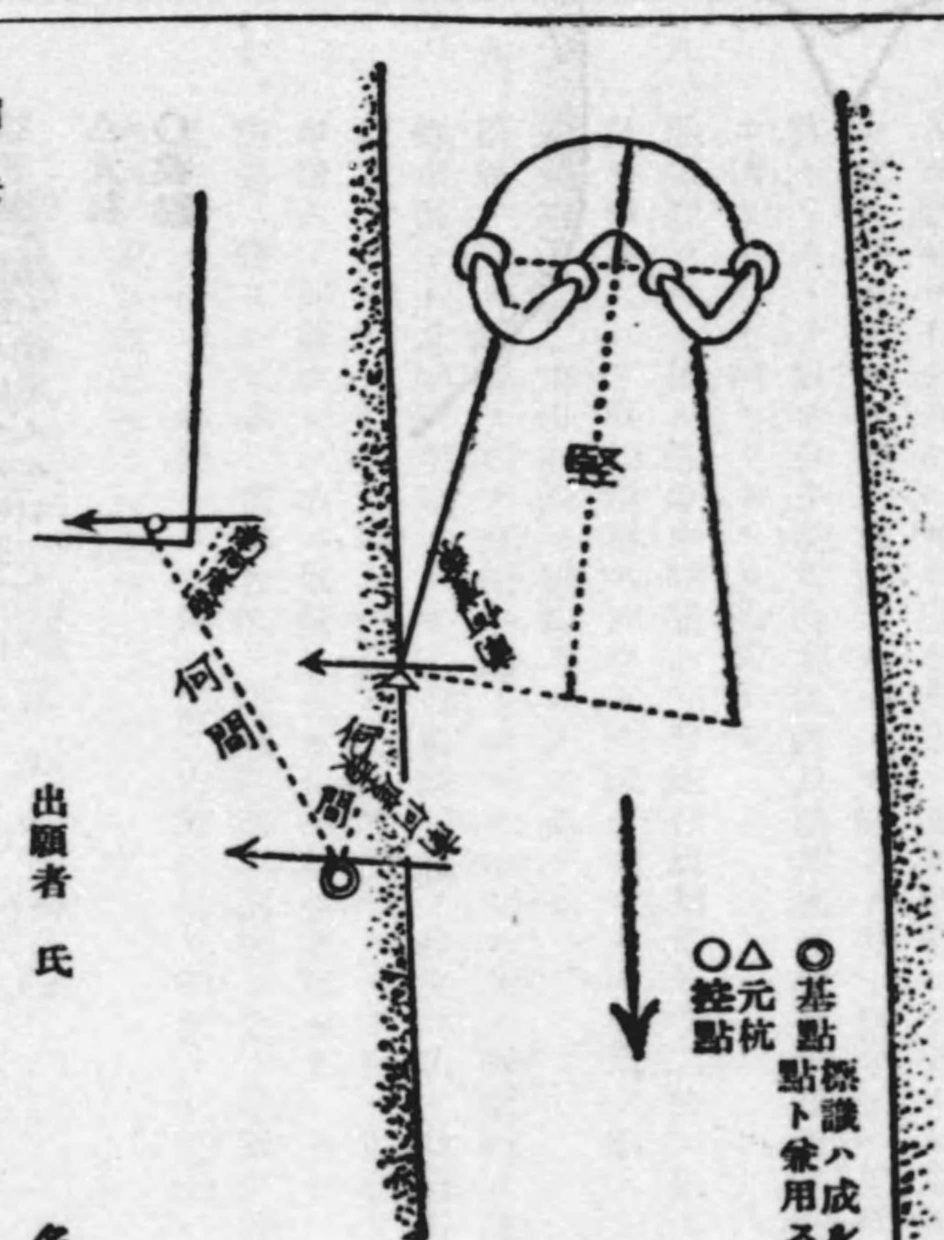
備　考
亙リ間數ハ元杭ヨリ他方ノ袖簀ノ最端ヲ見通シタルモノヲ云フ

郡（市）町村大字、字第何番魞漁場圖（何分ノ一何分一間ノ割）

縱何間
横何間簀目何分
開キ何間

出願者　氏　名印

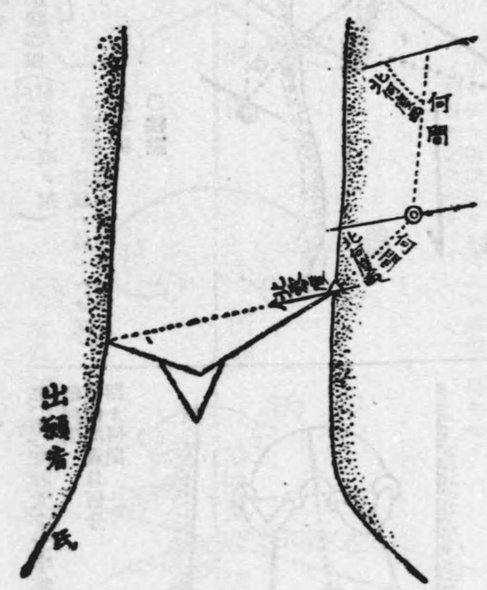
◎基點（標識ハ成ルヘク基點ト兼用スヘシ）
△元杭
○控點



備　考
袖簀ノ開キハ免許ノ間幅ヨリ超過スヘカラス
字何何第何番田（畑）西南隅

郡(市)町村大字、字第何番張網漁場圖(何分ノ一　何分一間ノ割)

幅　何間
深　何間



◎基點(標識ハ成ルヘク基點ト兼用スヘシ)
△元杭
○竝點

備考
某ニ同シ

【雜費令】

●改正漁業法施行ニ關スル件

明治四十四年四月十七日
勸發第一九二號內務部長通牒
各(郡)市長宛

改正漁業法施行ニ關シ左記ノ事項御注意相成度
右通牒候也

一、免許漁業ニ關シ出願申請屆出ヲ爲シ及漁業登錄令ニ依リ登錄ノ申請ヲ爲ス場合ニ於ケル願書其ノ他ノ書式ハ客月十八日、二十三日ノ官報ヲ以テ夫々農商務省ヨリ告示セラレタルヲ以テ自今右ニ依リ出願申請セシメラレタシ

二、前號ノ用紙ハ近日近江水產組合ニ於テ各書式通印刷ニ付シ出願申請屆出人ニハ無代ニテ交付スル筈ニ付必要ノモノハ最寄ノ同組合魚揚場ニ請求シテ右用紙ノ交付ヲ受クヘキ樣一般ヘ周知セシメラレタシ

三、前號書面ノ出願者、申請書及屆出人ノ住所ハ必ス番地(番屋號)ヲモ記入セシメラレタシ

四、從來漁業免許願書、免許期間更新申請書及免許變更願書ハ各一通ヲ差出サシメ取扱來リタルモ改正漁業法施行規則中免許狀ニ關スル規定ハ之ヲ廢止セラレタルヲ以テ今後ハ同則第二十二條及第三十條ニ依リ願書二通ノ提出ヲ要シ內一通ハ指令書ニ添附スルヲ以テ必ス二通ヲ差出サシメラレタシ

五、漁業法施行規則第二十三條及第三十條ニ依リ願書ニ添附ヲ要スル漁場圖ハ定置漁業ニ在リテハ四十二年十二月縣告示第四百七號漁場圖調製標準及雛形竝客月三十一日農商務省告示第二百十三號漁場圖調製心得第十二號第十三號ニ依リ其ノ他ノ免許漁業ニ在リテハ前記農商務省告示第二百十三號ニ依リ調製シ各三通宛ヲ添附セシメラレタシ

六、前號漁場圖ハ本年一月農商務省令第一號漁業登錄令施行規則第四條ニ依リ漁場圖綴込帳ニ編綴ヲ要スルモノナレハ其ノ用紙ハ必ス雁水引美濃全紙ヲ使用セシメラレタシ但シ本用紙モ第二號同樣近江水產組合魚揚場ヨリ無代ニテ交付スル筈ナリ

七、漁業權存續期間ハ從來五箇年ヲ一期間トシ取扱來リシモ右ニテハ區劃漁業ノ如キ養殖業ヲ營ムモノニハ短キニ過クルノ嫌アリ尙其ノ他ノ免許漁業ニ付テモ淀川改良工事完成ノ今日將來地勢、水位等ニ變更ヲ生スル如キコトナカルヘキヲ以テ充分ニ漁業經營ニ必要ナル期間ヲ與フル爲免許漁業ハ特種ノ事情アルモノヲ除クノ外十箇年ヲ一期間トシ免許セラルヽヲ以テ自今新規漁業免許及漁業權存續期間更新ノ場合ハ右ニ依リ出願申請セシムルモ差支ナシ

八、漁業登錄令ニ依ル登錄申請書ハ同令施行規則第五十二條ニ依リ郵便ヲ以テ申請人ヨリ直接申請スルコトヲ認メラレタルヲ以テ必スシモ漁場所屬地ノ(郡)市町村長ヲ經由スルノ必要ナシ

九、前號ノ如ク郵便ヲ以テ直接申請スルモノニシテ其ノ郵便物ノ表面ニ登錄申請ナル文字ヲ明記スルモノハ前號記載ノ條文ニ依リ執務時間外ニ到達スルモ其ノ到達ノ時ヲ受付ノ時ト看做サルルヲ以テ表記ヲナス方申請人ノ利益ナレハ右ニ取扱フヘキ旨一般ニ注意セラレタシ

十、漁業ニ關スル登錄ハ當事者間ノ權利義務ニ關係シ之カ取扱ハ特ニ迅速且確實ナルコト必要ナルヲ以テ(郡)市町村長ヲ經由スル登錄ニ關スル書類ハ速ニ進達セラレタシ

【雜費令】

●漁業出願ニ關スル心得方

明治三十五年八月二十六日
內四發第八二五號內務部長通牒
各市長宛

第七類　勸業、權度、氣象及測候　第三章　水產及畜產

漁業出願ニ關シ左記各項ノ通御取扱相成度此段通牒候也

一　漁籍ニ於テ或ル部分ヲ網鰒トシ或ル部分ヲ鰒(簀鰒)トナスモノアルトキ(方言打交鰒)ハ漁業法施行規則第十七條ニ依リ其名稱ノ異ル毎ニ願書ヲ各別ニセシメラレ度候

二　前項打交鰒ニシテ鰒壺ノミ網ニテ構造スルモノハ鰒トシ道簀ノ外凡テ網ヲ用ユルモノハ網鰒トシテ御取扱相成度候

三　漁場圖ハ漁業原簿ノ一部トシテ編綴保存ヲ要スルモノニ付用紙ハ美濃紙ヲ使用セシメラレ度候

四　漁場面ニ方位ノ角度ヲ示スニ往々「北百何度東(西)」等ノ記載ヲナスモノアリ北九十度ヲ超ユルトキハ「南何度東(西)」トシ南北何レカ距離ノ近キ九十度以内ノ角度ヲ記載セシメラレ度候

五　漁業免許願書中漁業ノ種類及名稱ヲ記載スルニ單ニ鰒又ハ簀ト記載シタルモノアリ右樣式ノ通鰒簀類漁業鰒(簀)ト記載セシメラレ度候

●漁業者休業認可ニ關スル件

明治三十六年四月十日
内四發第一八一號内務部長通牒

各(郡)市長宛

漁業者カ休業ノ認可ヲ受ケスシテ引續キ二箇年以上休業シタルトキハ漁業法第八條ニ依リ免許ヲ取消サルヘキ場合可有之候得共右期間ニ達セサル休業ハ殊更認可ヲ申請スルニ及ハサル義ニ候條今後右申請ヲ爲ス者ニ對シテハ此旨御示相成候樣致度此段通牒候也

●漁業權貸付登錄ニ係ル注意方

明治三十六年八月三十一日
内四第五〇六號内務部長通牒

〔滋賀令〕

漁業權ノ貸付登錄ヲ怠リタル場合之レカ制裁アルハ勿論共同出願ニ係ル漁業權ノ貸付ヲ爲シタル場合ノ如キ其登錄申請ヲ爲サヽル爲メ借受人ノ反則行爲ニ因リ共同漁業權者ノ全體ニ制裁ヲ受ケタル例モ有之最モ注意ヲ要スル義ニ有之候條此旨特ニ御指示相成度此段通牒候也

〔郡〕市長及水產組合長宛

●漁業共同施設事業ノ奬勵ニ關スル件

大正十五年二月六日
勸第五五七號

各(郡)市長宛

漁業共同施設事業ノ奬勵ニ關スル件

漁業共同施設事業ノ奬勵規則ニ依ル申請樣式曩ニ通牒致置候處今回事業計畫書樣式其ノ他別紙ノ通變改相成候旨其筋ヨリ通牒有之候條御了知有之度追而明年度ニ於ケル奬勵金交付願書ハ二月末日迄ニ提出スヘキ筋ニ付關係ノ向ニ御注意置有之度

一　本奬勵規則第二條第六號ニ依リ奬勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ル者ハ左ノ如シ

(一)　水產業ノ改良發達ヲ目的トスル公益法人

(二)　組合又ハ營利法人ニシテ其ノ組合員、社員又ハ株主ノ過半數カ漁業者又ハ養殖業者ニシテ且漁業者又ハ養殖業者ノ數カ十人以上ノモノ

二　本奬勵規則第二條第六號ノ組合カ本奬勵金交付ノ出願ヲ爲ス場合ニハ本奬勵規則第四條第二項第一號ニ揭クル規約ノ外出願當時ニ於ケル各組合員ノ氏名又ハ名稱、職業及住所ヲ記載シタル書類ヲ添附スルコト

本奬勵規則第十二條第三號ニ依ル組合員ノ加入又ハ脫退ノ屆出ニハ加入又ハ脫退シタル者ノ氏名又ハ名稱、職業及住所竝加入又ハ脫退ノ年月日ヲ明示スルコト

三　本奬勵規則ニ依ル奬勵ニ付テハ遠洋漁業奬勵法及水產冷藏奬勵規則ニ依ル奬勵ノ關係上左ノ制限ニ依リ之ヲ行フコト

イ　冷藏庫ニ對スル奬勵金ハ之ヲ交付セス

ロ　氷藏庫ニ對スル奬勵金ハ他ノ設備ノ附屬設備ヲ除ク外漁業組合又ハ漁業組合聯合會ニ限リ之ヲ交付ス

ハ　漁船及其ノ附屬設備ニ對スル奬勵金ハ十噸以下ノ漁船ニ之ヲ交付ス

ニ　水產物ノ運搬船及其附屬設備ニ對スル奬勵金ハ原則トシテ三十噸以下ノ船舶ニ之ヲ交付ス

四　漁業共同施設奬勵規則第三條第三項中ノ標識中航路標識設備ハ現行法令上縣又ハ市町村ニ於テ地方費ヲ以テ施設スルモノノ外ハ遞信大臣ノ許可相成難キ事情アルヲ以テ縣又ハ市町村ヲシテ出願セシムルコト但シ願書ニハ遞信大臣ノ許可書寫ヲ添附スルコト(航路標識條例第一條參照)

五　本奬勵金交付願書ハ同一人ノ出願ニ係ルモノト雖モ漁業共同施設奬勵規則第一條ニ揭クル設備毎ニ之ヲ作成スルコト但シ不可分的關係ヲ有スル設備ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

六　本奬勵規則第四條第一項各號ノ書類ハ別紙樣式ニ依リ之ヲ作成スルコト樣式ヲ示ササル設備ニアリテハ之レニ準シテ作成スルコト但シ必要アル場合ハ更ニ詳細ナル書類又ハ圖面ヲ提出セシムルコトアルヘシ

七　設備設計書(圖面及仕樣書等ノ設計關係書類總テヲ含ム)ハ本奬勵金交付願書ニ添附スルモノノ外尙ホ副本貳通ヲ添附スルコト

八　本奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスル建築物其ノ他ノ固定物ハ可成耐久的構造トスルコト

九　法令又ハ規約會則、定款若ハ寄附行爲等ニ依リ相當機關ノ決議ヲ要スル出願設備ニ關シテハ其ノ決議書謄本ヲ添附スルコト

一〇　本奬勵規則第二條第六號中組合ノ出願書類ニハ法人其ノ他ノ代表者タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコト

一一　出願書類ニハ其ノ區域又ハ地區内ニ於ケル總漁獲高(最近三箇年間平均)及漁船數其ノ他參考トナルヘキ事項、本奬勵規則第二條第一號乃至第四號及第六號ニ該當スルモノニ在リテハ右ノ外組合員、會員又ハ株主ノ數、經費(最近ノ決算)漁業組合又ハ同聯合會ニ在リテハ右ノ外共同施設事業ノ種類ヲ記載シタル書類ヲ添附スルコト

別表

一　設備ニ關スル事業計畫書樣式

(一)　設備ノ種類

(二)　設備ヲ必要トスル事由

(三)　設備ノ目的及用途

(四)　設備ノ場所

(五)　設備實施年度

(六)　設備完了後ノ事業經營目論見概要

二　設計書樣式

イ　船揚及船溜設備設計書

(一)　施設場所附近ノ地勢概況(海軍水路部發行海圖又ハ陸地測量部發行地形圖若ハ其ノ寫ニ施設場所ヲ明示スルコト但シ要塞地帶ハ此限ニ在ラス)

(二)　工事計畫

〔滋賀令〕

(一)工事計畫ノ概說
(二)各工事種目ノ配置規模及構造
(三)敷地又ハ水面坪數ト其ノ利用ノ豫想
(四)計畫工事記入海陸實測平面圖(縮尺適宜)
(三)工事設計
(一)工事設計總括表(工事費チ工費雜費及豫備費竝附屬設備等ニ區別記載スルコト)
(二)各工事種別設計書及單價表(道府縣ノ設計樣式ニ依ルコト)
(三)各工事種目平面構造及縱橫斷面圖(縮尺適宜)
(四)起工及竣工豫定　年　月　日
(四)附屬設備ノ圖面及仕樣書
ロ　販賣設備設計書
(一)建設場所附近ノ略圖(停車場、魚市場、船著場其ノ他設備利用上關係アル設備ノ位置チ明示スルコト)
(二)販賣所及附屬建築物ノ敷地坪數及建坪數(各階別)
(三)設計ノ概要(略圖添附)
(四)附屬設備
(五)氷藏庫ノ室數、各室ノ面積及容積
(六)取扱數量ノ見込
(七)起工及竣工又ハ買入豫定　年　月　日
單ニ附屬設備ノミノ場合ニハ以上ニ準シテ記載ノコト

【蔵資令】

ハ　製造、加工又ハ處理設備設計書
甲　製造場、加工場又ハ處理場
(一)建設場所附近ノ略圖(停車場、魚市場、船著場其ノ他設備利用上關係アル設備ノ位置チ明示スルコト)
(二)建設場所ノ敷地坪數
(三)建築物ノ建坪數
(四)設計ノ概要(略圖添附)
(五)起工及竣工又ハ買入豫定　年　月　日
乙　製造、加工又ハ處理ノ爲使用スル機械器具
(一)機械器具据附場所附近ノ略圖(停車場、魚市場、船著場其ノ他設備利用上關係アル設備ノ位置チ明示スルコト)
(二)名稱
(三)構造概要(略圖添附)
(四)動力其ノ他ノ附屬設備ノ概要
(五)使用方法及其ノ能率
(六)製作所又ハ販賣所ノ所在地及氏名又ハ名稱
(七)買入及据附豫定　年　月　日
構造及取扱上特ニ注意スル事項アラハ之チ記載スルコト
ニ　貯藏設備設計書
(一)建設場所附近ノ略圖(停車場、魚市場、船著場其ノ他設備利用上關係アル設備ノ位置チ明示スルコト)

(二)倉庫及附屬建築物ノ敷地坪數及建坪數
(三)設計ノ概要(略圖添附)
(四)外部建築材料ノ種類
(五)倉庫ノ室數、各室ノ面積及容積
(六)貯藏物ノ種類及數量
(七)防熱、防濕、防寒其ノ他特殊設備アラハ其ノ構造ノ概要
(八)起工及竣工又ハ買入豫定年月日
ホ　漁船及漁具設備設計書
甲　漁船
(一)船種及船名
(二)船ノ長、幅、深
(三)總噸數又ハ總石數
(四)設計ノ概要(略圖添附)
(五)機關ノ種類及純馬力
(六)船體及機關ノ製作所
(七)副漁具ノ種類及數
(八)防熱裝置アラハ其ノ構造ノ概要
(九)起工及竣工又ハ買入豫定年月日
單ニ機關、副漁具、保藏設備ノミノ場合ハ以上ニ準シテ記載スルコト

【蔵資令】

乙　漁具
(一)名稱
(二)構造ノ概要
(三)屬具ノ種類及數
(四)漁業方法
(五)主ナル漁獲物
(六)製作又ハ買入豫定年月日
(七)副漁具ノ種類及數
單ニ副漁具ノミノ場合ニハ以上ニ準シテ記載スルコト
丙　染網場、網干場其ノ他漁具保强設備
(一)敷地ノ坪數
(二)設計ノ概要(略圖添附)
(三)附屬設備ノ概要
(四)起工及竣工又ハ買入豫定年月日
ヘ　運搬設備設計書
甲　運搬船
(一)船種及船名
(二)船ノ長、幅、深

（三）總噸數又ハ總石數
（四）設計ノ概要（略圖添附）
（五）機關ノ種類及純馬力
（六）船體及機關ノ製作所
（七）防熱裝置アラハ其ノ構造ノ概要
（八）冷室ノ數及其ノ容積
（九）起工及竣工又ハ買入豫定年日月

乙　運搬車又ハ運搬用機械器具

（一）名　稱
（二）構造ノ概要（略圖添附）
（三）重要寸法（車體及機械ノ大サチ知ル程度）
（四）使用方法
（五）製造場又ハ販賣所ノ所在地及氏名又ハ名稱
（六）買入豫定年月日

ト　水産物ノ養殖設備設計書

甲　蓄殖場、種場、漁礁

（一）建設場所附近ノ地勢又ハ海況（略圖添附）
（二）建設場所ノ敷地又ハ水面坪數
（三）設計ノ概要

（滋賀令）

（四）附屬設備
（五）起工及竣工又ハ買入豫定年月日

乙　人工孵化場其ノ他ノ養殖場

（一）建設場所附近ノ地勢概況（略圖添附）
（二）建設場所ノ敷地又ハ水面坪數
（三）建築物ノ建坪數
（四）設計ノ概要（略圖添附）
（五）附屬設備
（六）起工及竣工又ハ買入豫定年月日

チ　救難設備設計書

甲　救護船

（一）船種及船名
（二）船ノ長、幅、深
（三）總噸數又ハ總石數
（四）設計ノ概要（略圖添附）
（五）機關ノ種類及純馬力
（六）船體及機關ノ製作所
（七）附屬救難設備
（八）起工及竣工又ハ買入豫定年月日

乙　救護船格納庫

（一）建設場所附近ノ略圖
（二）敷地ノ坪數及建築物ノ建坪數
（三）設計ノ概要（略圖添附）
（四）起工及竣工又ハ買入豫定年月日

丙　標識、信號標

（一）建設場所附近ノ地勢又ハ海況（略圖添附）
（二）標識、信號標ノ種類
（三）設計ノ概要（略圖添附）
（四）起工及竣工豫定年月日

丁　無線電信及無線電話設備

（一）建設場所附近ノ略圖
（二）型　式
（三）波　長
（四）電力及到達距離
（五）建設場所ノ敷地坪數
（六）建築物ノ建坪數
（七）設計ノ概要（略圖添附）
（八）起工及竣工又ハ買入豫定年月日

（滋賀令）

以上設備ヲ增設、改設（改造）スル場合ハ現在及新計畫ニ區別シテ記載スルコト

三、設備ニ關スル收支豫算書樣式

第一　設備豫算

收　入

支　出

イ　船揚及船溜設備新設（增設又ハ改設）

（一）工　費
（二）雜　費
（三）附屬設備費
（四）豫備費
（五）其ノ他
（六）合　計

ロ　販賣設備新設（增設又ハ改設）

（一）敷地買入費
（二）建築物工費（設計費其ノ他ノ雜費ヲ含ム）
（三）附屬設備費
（四）氷藏庫アラハ其ノ工費
（五）其ノ他

(六)　合　計

ハ　製造、加工、處理設備新設(增設又ハ改設)

甲　製造、加工又ハ處理場

(一)　敷地買入費

(二)　建築物工費(設計費其ノ他ノ雜費ヲ含ム)

(三)　機械器具買入費(運搬費及据附費ヲ含ム)

(四)　附屬設備費

(五)　其ノ他

(六)　合　計

乙　機械器具

(一)　機械器具買入費

(二)　運賃据附其ノ他ノ費用

(三)　合　計

ニ　貯藏設備新設(增設又ハ改設)

(一)　敷地買入費

(二)　建築物工費(設計費其ノ他ノ雜費ヲ含ム)

(三)　附屬設備費

(四)　防熱裝置アラハ其ノ工費

(五)　其ノ他

(六)　合　計

ホ　漁船及漁具設備新造(改造)

甲　漁船

(一)　船體(艤裝、屬具及其ノ据附費ヲ含ム)

(二)　機關(据附費ヲ含ム)

(三)　防熱裝置アラハ其ノ工費

(四)　副漁具ノ買入費(据附費ヲ含ム)

(五)　其ノ他

(六)　合　計

乙　漁具

(一)　漁具製作又ハ買入費

(二)　副漁具買入費

(三)　其ノ他

(四)　合　計

丙　染網場、網干場其ノ他漁具保强設備

(一)　敷地買入費

(二)　設備ノ工費(設計費其ノ他ノ雜費ヲ含ム)

(三)　其ノ他

(四)　合　計

ヘ　運搬設備新造(改造)

甲　運搬船

(一)　船體(艤裝、屬具及其ノ据附費ヲ含ム)

(二)　機關(据附費ヲ含ム)

(三)　防熱裝置アラハ其ノ工費

(四)　其ノ他

(五)　合計

乙　運搬車又ハ運搬用機械器具

(一)　車又ハ機械器具買入費

(二)　其ノ他

(三)　合計

ト　水產物ノ養殖設備(增設又ハ改設)

甲　蕃殖場、種場、漁礁

(一)　設備工費(設計費其ノ他ノ雜費ヲ含ム)

(二)　附屬設備費

(三)　其ノ他

(四)　合計

乙　人工孵化場其ノ他養殖場

(一)　敷地買入費

(二)　設備工費(設計費其ノ他ノ雜費ヲ含ム)

(三)　建築物工費(設計費其ノ他ノ雜費ヲ含ム)

(四)　其ノ他

(五)　合計

丙　標識、信號標

(一)　設備工費(設計費其ノ他ノ雜費ヲ含ム)

チ　救難設備新造(改造)

甲　救護船

(一)　船體(艤裝、屬具及其ノ据附費ヲ含ム)

(二)　機關(据附費ヲ含ム)

(三)　附屬設備費

(四)　其ノ他

(五)　合計

乙　救護船格納庫

(一)　敷地買入費(設計費其ノ他雜費ヲ含ム)

(二)　建築物工費(設計費其ノ他ノ雜費ヲ含ム)

(三)　其ノ他

(四)　合計

(一)　敷地買入費

第七類　勸業、權度、氣象及測候　第三章　水產及畜產

（二）其ノ他

（三）合計

丁　無線電信、無線電話

（一）敷地買入費

（二）設備工費（設計費其ノ他ノ雜費ヲ含ム）

（三）建築物工費（設計費其ノ他ノ雜費ヲ含ム）

（四）其ノ他

（五）合計

備考

一　奬勵金ノ交附ヲ受ケムトスル設備ニ付本奬勵規則ニ依ル奬勵金以外ニ國庫若ハ道廳府縣ノ奬勵金、助成金又ハ補助金ノ交附ヲ受ケ又ハ受ケムトスルトキハ其ノ種類及金額ヲ設備收入豫算ニ明記スルコト

二　同上設備ニ付起債又ハ資金ノ借入ヲ爲サムトスルトキハ其ノ種類及金額ヲ設備收入豫算ニ明記シ且其ノ償還方法及年度割ヲ附記スルコト

三　設備買入ノ場合ニ在リテハ設備支出豫算記載事項ニ準シ買入費ノ内譯ヲ記載スルコト

第二　設備完了後ノ事業豫算

起業費

收入

支出

損益

備考

一　設備完了後ノ事業豫算ニ記載スヘキ事項ナキモノニ付テハ其ノ旨附記スルコト

●漁業共同施設奬勵規則ニ依ル事業報告ニ關スル件

昭和二年三月七日
商第一八〇八號內務部長通牒
近江水産組合組長　各漁業組合理事宛

漁業共同施設奬勵規則第十條ニ依ル事業報告樣式別紙ノ通定メラレ候條爾今每事業年度終了後二月內ニ二通ヲ作製無遲滯（農林大臣宛）當廳ニ提出相成度

事業報告書樣式

一　船揚及船溜設備

（一）設備ノ種類

（二）所在ノ場所

（三）奬勵金交付年月日

（四）事業ノ概要

（五）設備ノ改設又ハ增設ノ有無及概要

（六）附屬設備ノ新設、增設又ハ改設ノ有無及概要

（七）設備ヲ利用スル船舶ノ種類大サ及數

（八）收支及損益

二　水産物ノ販賣設備

（一）設備ノ種類

（二）所在ノ場所

（三）奬勵金交付年月日

（四）所有者及使用者ノ氏名又ハ名稱

（五）事業ノ概要

（六）取扱水産物ノ種類別數量及金額

（七）販賣方法

（八）販賣手數料

（九）設備ノ改設、增設又ハ買入ノ有無及概要

（十）附屬設備ノ新設、增設、改設又ハ買入ノ有無及概要

（十一）收支及損益

三　製造、加工及處理設備

甲　製造場、加工場又ハ處理場

（一）設備ノ種類

（二）所在ノ場所

（三）奬勵金交付年月日

（四）所有者及使用者ノ氏名又ハ名稱

（五）事業ノ概要

（六）取扱物ノ種類別數量及金額

（七）設備ノ改設、增設又ハ買入ノ有無及概要

（八）收支及損益

乙　製造、加工又ハ處理ノ爲使用スル機械器具

（一）設備ノ種類

（二）所在ノ場所

（三）名稱

（四）奬勵金交付年月日

（五）所有者及使用者ノ氏名又ハ名稱

（六）利用ノ狀況

（七）手數料又ハ使用料

（八）設備ノ改設、增設又ハ買入ノ有無及概要

（九）收支及損益

四　貯藏設備

（一）設備ノ種類

（二）所在ノ場所

（三）奬勵金交付年月日

（四）所有者及使用者ノ氏名又ハ名稱

（五）事業ノ概要
（六）取扱貯藏品ノ種類別數量及金額
（七）保管料
（八）設備ノ改設、增設又ハ買入ノ有無及概要
（九）收支及損益

五　漁船及漁具設備

甲　漁船

（一）設備ノ種類
（二）船種及船名
（三）奬勵金交付年月日
（四）所有者及使用者ノ氏名又ハ名稱
（五）漁業ノ種類及從業員
（六）漁具ノ種類及數
（七）從業期間及場所竝出漁日數
（八）漁獲物ノ種類別數量及金額
（九）使用料
（十）設備ノ改造又ハ買入ノ有無及概要
（十一）收支及損益
（十二）管理ノ方法

乙　漁具

（一）設備ノ種類
（二）名稱
（三）奬勵金交付年月日
（四）所有者及使用者ノ氏名又ハ名稱
（五）漁業ノ種類
（六）利用ノ狀況
（七）漁獲物ノ種類別數量及金額
（八）使用料
（九）設備ノ改造又ハ買入ノ有無及概要
（十）收支及損益
（十一）管理ノ方法

丙　染網場、網干場其他漁具保彊設備

（一）設備ノ種類
（二）所在ノ場所
（三）奬勵金交付年月日
（四）所有者及使用者ノ氏名又ハ名稱
（五）事業ノ概要
（六）利用ノ狀況

〔滋賀令〕

（七）設備ノ改造又ハ買入ノ有無及概要
（八）使用料又ハ手數料
（九）收支及損益

六　運搬設備

甲　運搬船

（一）設備ノ種類
（二）船種及船名
（三）奬勵金交付年月日
（四）所有者及使用者ノ氏名又ハ名稱
（五）事業ノ概要
（六）從業期間及場所竝從業日數
（七）運搬物ノ種類別數量及金額
（八）運搬手數料
（九）設備ノ改造又ハ買入ノ有無及概要
（十）收支及損益

乙　運搬車又ハ運搬用機械器具

（一）設備ノ種類
（二）名稱
（三）奬勵金交付年月日

（四）所有者及使用者ノ氏名又ハ名稱
（五）事業ノ概要
（六）運搬物ノ種類別數量及金額
（七）運搬手數料又ハ使用料
（八）設備ノ改造又ハ買入ノ有無及概要
（九）收支及損益

七　水產物ノ養殖設備

甲　人工孵化場

（一）設備ノ種類
（二）所在ノ場所
（三）奬勵金交付年月日
（四）所有者及使用者ノ氏名又ハ名稱
（五）事業ノ概要
（六）採卵數及放流尾數
（七）設備ノ改設、增設又ハ買入ノ有無及概要
（八）附屬設備ノ新設、增設、改設又ハ買入ノ有無及概要
（九）收支及損益

乙　蓄殖場、蓄養場、種場、漁礁其他ノ養殖設備

（一）設備ノ種類

〔滋賀令〕

備考	(一)	(二)	(三)	(四)	(五)	(六)	(七)	(八)
一 様式ニ示ササルモノニ付テハ之ニ準シテ作成スルコト 二 種類別数ノ単位ヲ可成買ニ依ルコト但シ買ノ単位ヲ換算法ヲ記入スルコトニ依リサルヘキ場合ハ記入スルコト 三 設備ノ欄ニ附属設備又ハ単ニ附属設備ノミノ場合ニアリテハ之ニ準ス	第七類 動業、種族、気象及測候 第三章 水産及畜産	所在ノ場所 種類	漁獲物ノ種類 数量	漁獲物ノ価額 金額	漁獲物ノ売渡先ノ氏名又ハ名称	漁獲物ノ売渡年月日	漁獲物ノ売渡価格	漁獲物ノ売渡先ノ住所

● 種牡牛検査法施行手続

明治四十年八月二十八日
縣令第三十一號

（追書）明治四十一年二月縣令第八號、大正三年一〇月縣令第三八號、四年一月縣令第四號、一五年七月縣令第四八號改正

種牡牛検査法施行手續左ノ通之ヲ定ム

第一條　種牡牛ノ検査ヲ受ケントスル者ハ別記第一號様式ニ依リ年三月

第二條　種牡牛検査ヲ受ケントスル者ハ別記第二號様式ニ依リ検査ヲ受クヘキ場所及期日ヲ指定スルコトヲ得

第三條　種牡牛ノ検査ヲ受ケントスル者ハ其ノ所有者又ハ管理者ヲシテ出願セシムヘシ

第四條　左ノ場合ニ於テハ其ノ牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲシテ出願セシムヘシ

一　検査ヲ行フコトアルヘキ場所及期日ヲ指定スルコトヲ得サルトキ

二　検査前後牡牛ヲ所有スルニ至リタルトキ

三　検査ヲ受クヘキ牡牛ヲ得サルニ至リタルトキ

四　検査ヲ受ケサルトキ

五　検査ヲ受ケタル牡牛ヲ得サルトキ

第五條　種牡牛検査合格ノ表格ヲ検査期日ニ依リ検査ヲ受ケタル牡牛ニ左ノ如ク

一　年齢不足ノ爲メ前條第二項ニ依リ検査ヲ受ケサリシトキ

二　年齢不足ノ爲メ前條第二項ニ依リ検査ヲ受ケサリシトキ

第六條　種牡牛検査法施行規則第四條ニ依ル格印ノ雛形ヲ左ノ通之ヲ定ム

合格格印	種四分	合格格印
体格強健ニシテ性質善良ナルコト	一	体格強健ニシテ性質善良ナルコト
悪質ノ疾病又ハ醜癖アルコト	一	悪質ノ疾病又ハ醜癖アルコト

第七條　（削除）

第八條　種牡牛ヲ他府縣ニ移轉シタルトキハ前所有者又ハ管理者ハ三十日以内ニ證明書ヲ當縣ニ返納スヘシ

第九條　種牡牛検査法施行規則第九條ノ種付簿ノ別記第二號様式ニ依リ調製スヘシ

第十條　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ハ別記第三號様式ニ依リ種付報告書ヲ本令ニ定ムル期日ニ提出スヘシ

第十一條　作製シ又ハ受ケタル種付證明書ヲ當縣ニ提出スヘキ場合ハ左ノ通リ

一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

五十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

五十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

五十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

五十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

五十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

五十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

五十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

五十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

五十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

五十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

六十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

六十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

六十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

六十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

六十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

六十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

六十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

六十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

六十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

六十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

七十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

七十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

七十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

七十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

七十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

七十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

七十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

七十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

七十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

七十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

八十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

八十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

八十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

八十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

八十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

八十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

八十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

八十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

八十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

八十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

九十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

九十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

九十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

九十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

九十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

九十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

九十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

九十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

九十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

九十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百二十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百二十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百二十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百二十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百二十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百二十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百二十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百二十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百二十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百二十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百三十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百三十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百三十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百三十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百三十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百三十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百三十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百三十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百三十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百三十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百四十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百四十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百四十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百四十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百四十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百四十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百四十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百四十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百四十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百四十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百五十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百五十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百五十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百五十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百五十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百五十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百五十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百五十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百五十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百五十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百六十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百六十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百六十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百六十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百六十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百六十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百六十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百六十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百六十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百六十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百七十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百七十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百七十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百七十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百七十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百七十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百七十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百七十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百七十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百七十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百八十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百八十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百八十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百八十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百八十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百八十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百八十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百八十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百八十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百八十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百九十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百九十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百九十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百九十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百九十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百九十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百九十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百九十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百九十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

百九十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百二十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百二十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百二十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百二十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百二十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百二十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百二十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百二十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百二十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百二十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百三十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百三十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百三十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百三十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百三十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百三十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百三十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百三十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百三十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百三十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百四十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百四十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百四十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百四十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百四十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百四十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百四十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百四十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百四十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百四十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百五十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百五十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百五十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百五十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百五十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百五十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百五十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百五十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百五十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百五十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百六十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百六十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百六十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百六十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百六十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百六十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百六十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百六十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百六十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百六十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百七十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百七十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百七十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百七十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百七十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百七十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百七十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百七十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百七十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百七十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百八十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百八十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百八十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百八十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百八十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百八十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百八十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百八十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百八十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百八十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百九十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百九十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百九十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百九十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百九十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百九十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百九十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百九十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百九十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

二百九十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百二十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百二十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百二十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百二十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百二十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百二十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百二十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百二十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百二十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百二十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百三十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百三十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百三十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百三十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百三十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百三十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百三十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百三十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百三十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百三十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百四十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百四十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百四十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百四十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百四十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百四十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百四十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百四十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百四十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百四十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百五十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百五十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百五十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百五十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百五十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百五十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百五十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百五十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百五十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百五十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百六十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百六十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百六十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百六十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百六十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百六十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百六十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百六十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百六十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百六十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百七十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百七十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百七十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百七十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百七十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百七十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百七十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百七十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百七十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百七十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百八十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百八十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百八十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百八十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百八十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百八十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百八十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百八十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百八十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百八十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百九十　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百九十一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百九十二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百九十三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百九十四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百九十五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百九十六　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百九十七　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百九十八　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

三百九十九　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四百　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四百一　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四百二　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四百三　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四百四　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ヲ異ニシタル場合

四百五　種牡牛ノ所有者又ハ管理者

第十二條　本令第八條第十條ニ違背シタル者ハ貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス

附則

第十三條　本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

第十四條　明治三十一年九月滋賀縣令第六十七號種牡牛取締規則ハ之ヲ廢止ス

第十五條　明治四十年ニ於テハ第一條ノ願書提出期限ハ九月二十日迄ト

第一號樣式

種牡牛檢查願

一牡牛（名號）

種類　和（洋）（雜）種

出生　明治何年何月生

第二號

種付簿（種牡牛一頭毎ニ調製）

種付年月日	牝牛種類	毛色	年齡	高	特徵	所有者（管理者）住所氏名

備考　所有者（管理者）住所氏名ノ欄ニハ牝牛ノ所有者（管理者）ノ住所氏名ヲ記入スルモノトス

第三號樣式

種付報告表

（大正何年分）

種付牝牛種類別 / 種牡牛名號別	內國種		外國種		雜種		計	
	頭		頭		頭		頭	

〔滋賀令〕

體尺　何尺何寸

血統　父何國產　何種

母同　同

產地　何府（縣）何郡（市）何町（村）

特徵

畜養地

右種用ニ供シ度候間御檢查相成度此段相願候也

但シ臨時檢查出願ハ其ノ事由ヲ詳記スヘシ

年月日　縣郡（市）町（村）番地　氏　名㊞

知事宛

〔滋賀令〕

縣郡（市）町（村）大字　番地

種牡牛所有者（管理者）　氏　名㊞

各〔郡〕市長宛

種牡牛檢查法施行規則第六條ニ依リ種牡牛ノ所有者又ハ管理者カ其ノ證明書ヲ返納ノ場合其ノ返納事由明記ナキモノ又ハ種牡牛ヲ賣却シタル場合ニ於テ同規則第八條ニ依リ證明書書換ニ關スル規定アルニ不拘何等ノ申出無之爲往々取扱上徒ニ手數ヲ要スル場合有之候條囘復右證明書進達ノ場合ハ其ノ返納ノ事由明記ノ有無御調查ト共ニ讓受者ニ於テ依托種牡牛トシテ使用スルモノナルヤ否ヲ御取調ノ上使用スルモノニ關シテハ規則第八條ニ依リ書換手續ヲ履行セシメラレ度又不使用ノモノニ關シテハ其ノ旨御副申ノ上御進達相成度右及通牒候也

知事宛

右及報告候也

年　月　日

各〔郡〕市長宛

●種牡牛檢查願書ノ件

明治四十三年十二月二日
勸發第六四一號內務部長通牒

種牡牛檢查願書ハ種牡牛檢查法施行手續第一條第一號ノ樣式ニ依ルノ外自今左記ニ依リ調製差出候樣御部內ヘ周知方御取計相成度依命右及通牒候也

一、其ノ牡牛ノ毛色ヲ記載スルコト

二、所有者ヨリ出願スルモノニシテ其ノ牡牛ノ管理者ヲ定タルモノハ其ノ住所氏名又ハ管理者ヨリ出願スルモノハ其ノ牡牛所有氏名ヲ各記載スルコト

●種牡牛ニ關スル件

明治四十三年九月十九日
發第五四四號內務部長通牒

第七類　勸業、權度、氣象及測候　第三章　水產及畜產

●縣有種牡牛種付規則

大正六年六月二日
縣令第二十號

縣有種牡牛種付規則左ノ通之ヲ定ム

縣有種牡牛種付規則

第一條　縣有種牡牛ノ種付ヲ受ケムトスル者ハ第一號樣式ニ依リ知事ニ出願スヘシ

縣有種牡牛ノ種付ハ之ヲ無料トス

第二條　縣有種牡牛ノ種類、名號及管理者ハ別ニ之ヲ告示ス

第三條　種付ハ左記各號ノ事項ニ付檢查ニ合格シタル牝牛ニ對シ之ヲ行フ

一　年齡滿二十箇月以上ナルコト

二　體格優良ニシテ健全ナルコト

三　惡癖ナキコト

前項檢查ノ期日及場所ハ出願者ニ對シ別ニ之ヲ通知ス

第四條　檢查ニ合格シタル牝牛ニハ第二號樣式ノ種付合格證ヲ交付ス

種付合格證ノ有效期間ハ交付ノ日ヨリ百八十日トス

第五條　種付ヲ受ケムトスルトキハ種付合格證ヲ係員ニ示シ其ノ指揮ヲ受クヘシ

種付ヲ行ヒタルトキハ種付ノ回次及種付年月日ヲ種付合格證相當欄ニ記入シ種牡牛管理者又ハ係員之ニ捺印スヘシ

第六條　種牡牛ノ種付ハ一日一頭一回トス但シ一日ヲ隔ツルトキハ一日ニ五時間以上ヲ隔テ二頭ノ種付ヲ行フコトヲ得

第七條　種付ハ種付合格證有效期間內ニ於テ三回迄之ヲ受クルコトヲ得三回ニシテ仍受胎セサル牝牛ニ對シテハ有效期間滿了後九十日間種付ヲ出願スルコトヲ得ス

第八條　種付出願者ノ種付ニ因テ生シタル損害ニ對シ賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第九條　種付牝牛ニ付左ノ事項發生シタルトキハ其ノ都度所有者又ハ管理者ニ於テ當該牝牛ノ名號及種付合格證番號ト共ニ其ノ事項ヲ種牡牛ノ管理者ニ屆出ツヘシ

一　牝牛受胎シタルコトヲ認知シタルトキハ其ノ年月日

二　牝牛分娩シタルトキハ其ノ仔牛ノ牝牡別及分娩ノ年月日

三　牝牛斃死シ若ハ死產又ハ流產シタルトキハ其ノ事實及年月日

四　牝牛ヲ他人ニ讓渡シタルトキハ讓受人ノ住所氏名及讓渡年月日

第十條　左ノ場合ニ於テハ種付ヲ行ハス

一　獸疫又ハ獸類傳染病發生シ傳播ノ虞アルトキ

二　種牡牛ニ於テ種付ヲ休止スヘキ事故ノ生シタルトキ

三　牝牛ノ發情不全ニシテ種付ニ適セサルトキ

四　牝牛ノ管理不良ニシテ汚垢不潔ナルトキ

五　牝牛結核病ニ罹レルトキ

六　牝牛皮膚病、皮膚寄生蟲、腫瘍、瘡傷等ニ罹リ種牡牛ノ健康ヲ害スヘキ虞アルトキ

七　種牡牛ノ健康ニ異常アルトキ

前項第一號第二號ニ依ル種付ノ休止及其ノ解除ハ之ヲ告示ス

第十一條　種牡牛ノ種付ニ依リ產出シタル仔牛ニ付血統證ノ下付ヲ受ケムトスルモノハ種付合格證ヲ添ヘ知事ニ出願スヘシ

前項ノ出願アリタルトキハ其ノ仔牛ヲ檢查シ第三號樣式ノ血統證ヲ交付ス

第十二條　牝牛ニ付縣有種牡牛ノ種付ヲ爲シタルコトノ證明ヲ得ムトスルモノハ種付合格證ニ該種牡牛管理者ノ證明ヲ受クヘシ

第十三條　種付成績ノ調查上必要アリト認ムルトキハ種付牝牛及其ノ仔牛ニ對シ日時及場所ヲ定メ檢查ヲ行フコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ所有者及管理者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十四條　種付合格證ヲ亡失毀損シ若ハ記載事項ニ異動ヲ生シタルトキ其ノ

〔滋賀令〕

ノ再下付又ハ書換ヲ受ケムトスルモノハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ出願スヘシ

所有者又ハ管理者ノ變更ニ係ルモノハ雙方ノ連署ヲ要ス

第十五條　縣有種牡牛管理者ハ第四號樣式ノ種付牝牛臺帳ヲ備ヘ所要ノ事項ヲ記入シ最後記入ノトキヨリ五箇年間之ヲ保存スヘシ

第十六條　縣有種牡牛管理者ハ每年一月十五日迄ニ第五號樣式ニ依リ前年ノ種付成績ヲ知事ニ報告スヘシ

附　則

明治四十五年六月滋賀縣令第三十一號滋賀縣有外國種種牡牛種付規則ハ之ヲ廢止ス

（第一號樣式）

縣有種牡牛種付願

一何種牝牛　何々號

一生年月日　何年何月何日生

一體高　何尺何寸何分

一毛色　何　毛

一特徵　額白大三角形、額前小白、左肋中部細長、斜黑斑、菱形白斑、左角端內灣等ノ如シ

一產地　何府縣何郡市何町村何某又ハ何牧場

一血統　父　何種何號　何產地

母　何種何號　何產地

一登錄ノ種類　何國登錄第何號

何協會登錄第何號

右縣有種牡牛種付規則ヲ遵守シ何種（ホルスタイン種又ハ內國種）何號（種牡牛名）ニ種付致度候間此段相願候也

年　月　日

住　所

知事宛

所有者（又ハ管理者）氏　名㊞

（第二號樣式）

（表）　種付合格證

第　號（指定種牡牛號）

所有者（又ハ管理者）氏　名

種類		名號		毛色及特徵	
生年月日	年　月　日	體高		產地	
血統	父　何種何號	母　何種何號			

右縣有種牡牛種付規則ニ依リ種付牝牛ニ合格シタルコトヲ證ス

年　月　日

檢查員　官職　氏　名㊞

（裏）

種付有效期間　自　年　月　日

至　年　月　日

第一回種付　年　月　日主任㊞

第二回種付　年　月　日主任

第三回種付　年　月　日主任

（第三號樣式）

第　號　血統證（表）

一牛

種　類

名　號

父

母

生年月日

毛色

特徴

產地

右證明ス

年月日

滋賀縣印

（裏）

毛色斑紋ノ見取圖ヲ現ハス

第四號樣式（一頁一頭ヲ記入ス）

種付牝牛臺帳

（種牡牛何々號）

第何號		
名稱	何々	
種類	何種	
生年月日	年月日	
體高	尺寸分	
毛色	何毛斑	
特徴	何々	
產地	何縣何々	
血統	父	何種何々號
	母	同上
登錄種類番號	何々第何號	
所有者又ハ管理者	住所	郡市町村何
	氏名	某
種付成績	種付 第一回	年月日
	種付 第二回	年月日
	種付 第三回	年月日
	受胎認知	年月
	產	年月日
		牝（牡）區別
	犢死（流）產	年月日
	種牡牛事故	年月日
		斃死其他何々
	犢見積價額	何圓
備考	何年月日何地何某讓渡賣却氏名及所有者變更等其他必要ノ事項	

（備考）

種付牝牛籍ハ種付合格證ニ依リ記入ス

犢見積價額ハ畜主ト協定シ生後六ケ月ヲ見積ル

〔滋賀令〕

第五號樣式

縣有種牡牛種付成績報告

〔滋賀令〕

種牡牛何號

大正何年分			
種付頭數		頭	
種付回數		頭	
受胎頭數		頭	
生產頭數	種付ニ對スル生產頭數	牝	頭
		牡	頭
		計	頭
	一箇年內生產頭數	牝	頭
		牡	頭
		計	頭
產犢事故數	死產		頭
	流產		頭
	斃死		頭
	計		頭
種付牝牛事故數	轉賣		頭
	斃死		頭
	計		頭
合計			頭

產犢價額 性別／價額	最高	最低	平均
牝	圓	圓	圓
牡	圓	圓	圓

摘要	
	價額ニ顯著ナル差異アルモノニ付其理由ヲ記ス他ノ同種類種牡牛ノ產犢價額トノ比較

一般狀況	
	一、種牡牛ノ營養健康狀態 二、種付ノ狀況 三、種牡牛ニ對スル當業者ノ意向

備考

一、種付頭數、種付回數、受胎頭數ハ何レモ一箇年內ノ實數ヲ記載スルモノトス

二、生產頭數ハ該種牡牛ニ依リ其年ニ種付シテ生產シタルモノヲ年次ニ係ハラス揭クルモノトス例ヘハ大正三年ニ牝牛五十頭ニ六十回ノ種付ヲナシ之ニヨリテ同年內ニ五頭餘產シ翌年ニ至リテ四十頭生產セハ其合計四十五頭ヲ大正三年ノ欄ニ記入スルカ如シ

三、一箇年內生產頭數ノ欄ニハ種付トノ關係ナリ單ニ同年內ニ生產セシモノノミヲ揭クルモノトス卽チ前例ニ依レハ大正三年ノ種付ニヨリ生產セルモノ五頭ト大正二年ノ種付ニヨリ生產セシモノ十五頭ノ合計二十頭ナルカ如シ

四、事故中斃死ノ欄ニ記入スヘキ頭數ハ產犢ノミニ限ル

五、平均價額ハ全產犢價額ノ平均額トス

●種牡馬蕃殖成績報告ノ件

大正十一年五月二十五日
勸第六二〇號內務部長通牒

【高島郡長宛】

左記及通牒候也

種牡馬蕃殖成績報告方ニ關シテハ大正四年六月二十五日付勸第四二九八號ヲ以テ及通牒候處別紙樣式ヲ其ノ三トシテ加ヘラレ候間自今每年十二月マテニ御報告相成度

樣式

（何年）種牡馬蕃殖成績表ノ三

種牡馬所有主別	前年種付供用種牡馬數	牝馬數（牡馬當牝馬數）	受胎數（受胎百分數）	產駒數（生產百分數）	摘要
縣（道廳）有					
畜產組合有					
農會町村其他ノ團體有					
個人有					
計					

備考

記載上注意

一、屆年ニ繰リ取纏ムルコト

二、國有種牡馬ノ（貸下種牡馬ヲ含ム）蕃殖成績ヲ除クコト

三、流產及死產ハ產駒數ニ計上セサルコト

四、受胎、生產百分數ハ種付後ノ斃死及實却其他ノ爲メ不明トナリタル牝馬ヲ除キ算出スルコト

但シ其ノ後ハ摘要欄ニ記入スルコト

五、他府縣ヨリ移入シタル受胎牝馬數及其ノ生產駒ハ加算セスシテ該相當欄ニ左行ニ朱書スルコト

六、一牡馬當牝馬數受胎及生產ノ百分數ハ小數點以下一ヲ記シ二位以下ノ端數ハ四捨五入スルコト

【滋賀令】

●獸醫假免狀下付出願細則

明治二十三年九月十日
縣令第八十四號

追加　明治二六年一〇月縣令第七九號、大正一五年七月第五〇號改正

明治二十三年八月法律第七十六號獸醫免許規則第十四條ニ據リ假免許狀下付出願細則左ノ通相定ム

但明治二十年二本縣令第六十三號獸醫假開業免狀下付出願細則ハ廢止ス

獸醫假免狀下付出願細則

第一條　（削除）

第二條　假免狀ヲ得ント欲スル者ハ甲號書式ノ願書ニ履歷書ヲ添ヘ知事ヘ差出スヘシ

第三條　（削除）

第四條　（削除）

第五條　假免狀獸醫ノ免許年限ハ滿二箇年以內トス

第六條　假免狀獸醫ハ免許區域外ニ出テ其業ヲ營ムコトヲ得スト雖モ其免許區域內ニ幸來リタル場合ニ於テハ此限ニアラス

第七條　假免狀獸醫ニシテ本免狀ヲ得タルトキ又ハ有效期間ヲ經過シタルトキハ該免狀ハ之ヲ返納スヘシ

（甲號書式）

獸醫假開業免狀御下付願

滋賀縣何郡何町村大字何々第何番屋敷（寄留ナレハ本籍ヲ併記ス）

族籍　何某

生年月日

私儀何郡何町村大字何々第何番屋敷ニ於テ獸醫開業仕度候間該假免狀御下付被下度別紙履歷書相添此段相願候也

年月日

右　何某㊞

農商務大臣宛

（履歷書雛形略ス）

（乙號書式）

獸醫假開業免狀出願ニ付取調書

何郡何町村大字何々第何番屋敷（寄留ナレハ本籍ヲ併記ス）

族籍　氏名

營業區域　何郡一圓又ハ何郡何町村

區域內　廣　袤

同　地勢險夷

同　牛馬頭數

【滋賀令】

●獸醫本免狀ヲ有スルモノ開業ノトキ屆出方

明治二十年十二月九日
縣令第二百三十三號

縣下ニ於テ獸醫（本免狀ヲ有スルモノ）ヲ開業セントスルモノハ其地名ヲ詳記シ免狀寫相添（屆出ヘシ

但既ニ開業セシモノハ此際屆出ヘシ

●蹄鐵工假免狀下付出願細則

明治二十三年七月二十六日
縣令第七十二號

沿革　大正一五年七月縣令第四九號改正

明治二十三年四月法律第三十一號蹄鐵工免許規則第十二條ニ據リ假免狀下付出願細則左ノ通相定ム

蹄鐵工假免狀下付出願細則

第一條　本則中蹄鐵工ニ乏シキ地ト稱スルハ本免狀ヲ有スル蹄鐵工居住ノ地ヨリ一日間ニ往復シ能ハサル地ヲ云フ

第二條　假免狀ヲ得ント欲スル者ハ甲號書式ノ願書ニ履歷書ヲ添ヘ知事ヘ差出スヘシ

第三條　（削除）

第四條　（削除）

第五條　假免狀蹄鐵工ノ免許年限ハ滿二箇年以內トス

第六條　假免許蹄鐵工ハ免許區域外ニ出テ其業ヲ營ムコトヲ得ス假免許區域內ヘ馬匹ヲ率來リタル場合ニ於テハ此限ニアラス

第七條　假免狀有效期限ヲ過キタルトキ又ハ本免狀ヲ得タルトキハ速ニ假免狀ヲ返納スヘシ

第八條　假免許年期中其區域內ニ於テ本免狀ヲ得タル蹄鐵工アルトキハ該假免狀ハ之ヲ返納セシムヘシ

「甲號書式」

蹄鐵工假免狀下付願

滋賀縣何郡何町村大字何々第何番屋敷（寄留ナレハ本籍ヲ併記ス）
族籍
氏名

【滋賀令】

「乙號書式」

蹄鐵工假免狀出願書調書

何郡何町村大字何々第何番屋敷（寄留ナレハ本籍ヲ併記ス）
族籍　氏名　誕生年月日

私儀何郡何町村大字何々第何番屋敷ニ於テ蹄鐵工開業仕度候間該假免狀御下付被下度別紙履歷書相添此段奉願候也

右

年月日　氏名印

農商務大臣宛

營業區域	何郡一圓又ハ何郡ノ內何町村
區域內廣袤	
同地勢	
同馬匹頭數	
本免狀ヲ有スル蹄鐵工居住地ヨリ假免狀蹄鐵工營業區域境界マテノ最近距離	何里

●蹄鐵工本免狀ヲ有スルモノ開業ノトキ屆出方

明治二十三年十月二十五日
縣令第九十三號

縣下ニ於テ蹄鐵工（本免狀ヲ有スルモノ）ヲ開業セントスルモノハ其地名ヲ詳記シ免狀寫ヲ添ヘ屆出ツヘシ

但既ニ開業セシモノハ此際屆出ツヘシ

●種豚拂下請求ノ場合意見副申方

明治三十四年十月二十九日
內四發第一五〇四號內務部長通牒
各市長宛

本年五月農商務省告示（第五十三號種豚拂下規程）ニ依リ種豚ノ拂下ヲ出願シ若クハ讓渡ヲ請求スル者アル場合ニハ左記ノ事項御調査ノ上意見副申相成度依命此段及通知候也

記

調査事項

一　種豚拂下規程第二條ニ依リ一箇人ヨリ出願セル場合ニ在リテハ其提出スル書類ノ事實相違ナキヤ否

二　同第十二條ニ依リ讓渡ヲ請求セル場合ニ於テハ都市町村ニ在リテハ其管轄內ノ豚數及養豚ノ爲支出セントスル經費竝ニ授受ヲ要スル事由其他ニ在リテハ其所有ノ豚數及養豚ノ爲支出セントスル經費竝ニ授受ヲ要スル事由

●馬匹去勢法施行細則

大正六年四月四日
縣令第十五號

沿革　大正七年五月縣令第二五號、八年一二月第五八號、一〇年六月第三七號、一五年七月第五六號改正

馬匹去勢法施行細則左ノ通之ヲ定ム

馬匹去勢法施行細則

第一條　馬匹去勢法施行規則（以下單ニ規則ト稱ス）第七條ノ場合ニ在リテハ管理セシムル馬匹ノ名號、年齡、毛色、特徵ヲ併セテ屆出ツヘシ

第二條　去勢ヲ猶豫スヘキ馬匹ノ檢查又ハ去勢ノ施行ニ關シ去勢猶豫馬匹檢查員若ハ去勢技術員ヨリ立會ノ請求アリタルトキハ市町村長ハ之ニ立會ヒ又ハ當該市町村ノ吏員ヲシテ之ニ立會ハシムヘシ

第三條　規則第十一條ニ依ル檢查馬匹連名簿ノ交付及規則第十四條第二項ニ依ル檢查馬匹連名簿異動ノ通知ハ當該檢查所ノ去勢猶豫馬匹檢查員ニ規則第十一條ニ依ル去勢馬匹連名簿ノ交付及規則第十四條第二項ニ依ル去勢馬匹連名簿異動ノ通知ハ當該去勢所ノ去勢技術員ニ之ヲ爲スヘシ

第四條　規則第十二條ニ依ル去勢馬匹頭數表提出後規則第十條第三項ノ異動屆出アリタルトキハ直ニ市町村長ハ知事ニ之ヲ報告スヘシ

第五條　規則第十五條第一項ノ場合ニ在リテハ其ノ馬匹ノ名號、年齡、毛色、特徵、所有年月日及去勢ヲ猶豫セラレタルモノニアリテハ猶豫證ノ種類、番號其ノ他必要ノ事項ヲ具シ其ノ事實ノ生シタルトキ直ニ屆出ツヘシ

第六條　規則第二十條第一項及第二十六條第一項ノ場合ニ在リテハ其ノ馬匹ノ名號、年齡、毛色、特徵ヲ併セテ屆出ツヘシ

第七條　市町村長規則第二十條第一項ニ依ル屆出ヲ受ケタルトキハ當該檢查所ノ去勢猶豫馬匹檢查員ニ通知スヘシ

第八條　規則第二十五條第三項ニ依ル宿泊手當ハ一頭一夜每ニ金壹圓トス

第九條　前條ノ手當ハ宿泊ヲ證スルニ足ル書面ニ去勢技術員ノ認印ヲ受ケ其ノ馬匹所在地ノ市町村長ヲ經テ知事ニ請求スヘシ

第十條　規則第二十六條第三項ニ依ル願出ハ其ノ馬匹ノ名號、年齡、毛色、特徵及事由ヲ具シテ申請スヘシ

第十一條　規則第二十七條ニ依リ自費ヲ以テ去勢ヲ行ヒタル者ハ其ノ馬匹ノ名號、年齡、毛色、特徵、去勢施行年月日及去勢施術者住所氏名ヲ去勢終了後直ニ市町村長ヲ經テ知事ニ屆出ツヘシ

第十二條　規則第二十八條ニ依リ馬匹ノ去勢ヲ猶豫シタルトキハ去勢技術員ハ其ノ馬匹ノ名號、年齡、毛色、特徵、猶豫シタル事由及馬匹所有者

又ハ管理者ノ住所氏名ヲ當該去勢所ノ去勢終了後直ニ知事ニ報告スヘシ

第十三條　規則第三十一條ニ依ル乙種猶豫證下付願ニハ其ノ馬匹ノ名號、年齡、毛色、特徵及前去勢猶豫證交付官廳名並其ノ種類、番號ヲ記載スヘシ

第十四條　規則第三十三條ニ依リ去勢所閉鎖後治療ヲ要スル馬匹ニ付テハ去勢技術員ハ附近適當ノ獸醫ニ治療ヲ委託シ其ノ旨知事ニ報告シ併セテ馬匹所在地ノ市町村長ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ去勢技術員ハ該馬匹ノ去勢施術簿寫ヲ作製シ之ヲ治療委託獸醫ニ交付スヘシ

第十五條　前條ノ委託ヲ受ケタル獸醫ハ馬匹ノ症狀ヲ五日每ニ知事並去勢技術員ニ報告シ且其ノ經過及必要ノ事項ヲ去勢施術簿ニ記入スヘシ馬匹去勢法第五條ニ該當スル馬匹アルトキ亦同シ

第十六條　去勢ヲ行フヘキ馬匹ニ付テハ其ノ所有者又ハ管理者ニ第一號樣式ノ去勢票ヲ交付ス

第十七條　去勢ヲ猶豫セラレタル馬匹ノ所有者又ハ管理者ハ馬匹牽出ノ際ハ常ニ去勢猶豫證ヲ携帶スヘシ

第十八條　馬匹去勢法第五條ニ該當ノ馬匹アルトキハ去勢技術員ハ直ニ當該去勢所又ハ治療所ノ市町村長ト協議ノ上大正五年十月勅令第二百三十三號第四條ノ評價員ヲ選定シ知事ニ報告シ更ニ規則第三十六條ノ書類ヲ調製シ知事ニ提出スヘシ

第十九條　去勢技術員去勢ヲ終了シタルトキハ左ノ帳簿ニ第二號樣式ノ郡市別去勢馬匹頭數表ヲ添ヘ知事ニ報告スヘシ

一　乙種猶豫證下付報告馬匹名簿
二　去勢施術簿
三　馬匹牽出通知並施術馬匹宿泊許可簿

第二十條　前條第一項第一號乃至第三號ノ帳簿ハ第三號乃至第五號樣式ニ依ルヘシ

馬匹治療ノ委託ヲ受ケタル獸醫該馬匹ノ治療ヲ終了シタルトキハ去勢施術簿ニ前項ノ郡市別去勢馬匹頭數表ヲ添ヘ知事ニ報告スヘシ

附　則

第二十一條　本則ニ依ル屆出ハ口頭ヲ以テ爲スヲ妨ケス

本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

去勢票

第　號	名稱番號	種類	年齡	毛色	特徵
	所有者管理者	郡市　町村			
施術月日	大正　年　月　日				
主任技術員押印					
施	同次月日	技術員印	同次月日	技術員印	

(滋賀令)

術後ノ治療					指定事項					
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日
月日	月日	月日	月日	月日						
成績					主任者押印					

(滋賀令)

注意　去勢馬匹ノ牽付及後療ヲ受クルトキハ本票ヲ携帶スヘシ
本票ニハ必要事項ヲ記入スルモノトス

第二號樣式

郡市別去勢馬匹頭數表　（何郡市ノ分）

去勢班	郡名	去勢所地名	豫定頭數	乙種猶豫頭數 疾病	乙種猶豫頭數 發育不全	乙種猶豫頭數 事故	乙種猶豫頭數 計	去勢頭數	期限內治癒 頭數	期限內治癒 治療日數 計	期限內治癒 治療日數 平均	委託治療 頭數	委託治療 治療日數 計	委託治療 治療日數 平均	宿泊	癈斃(?)	摘要
第何班	何郡	何村大字何															

計	何箇所

備考

一、猶豫頭數ハ檢査請求ヲ除キタル屆出頭數ニ檢査不合格及檢査不參馬匹頭數ヲ加ヘタルモノトス
二、期限内治癒ハ去勢技術員ノ治療中ニ癒エタルモノニシテ癈斃馬ノ治療日數及委托治療ノ頭數日數ヲ含マス
三、委托治療ノ日數ハ委托ノ當日ヨリ治癒又ハ癈斃ニ至ル迄ノ日數トス
四、宿泊ハ規則第二十五條第三項ニ依リ宿泊ヲ命シタル馬匹數トス

第三號樣式

乙種猶豫證下付報告馬匹名簿

猶豫證下付年月日	馬匹所有者	馬匹管理者	馬匹名稱又ハ番號	猶豫ノ理由	備考

大正　年　月　日

報告年月日　大正　年　月　日

取扱主任㊞

第四號樣式

去勢施術簿

〔滋賀令〕

第　號

檢馬									所有者（管理者）住所氏名
名稱番號	種類	年齡	毛色	體尺	特徵	用途	體格	見込價額	郡市町村
								圓	

〔滋賀令〕

査	去勢						施術後ノ經過	成績	備考
健康	施術月日	施術式	終了月日	施術狀態	後療委託月日	特別施術	月日		
術前手當要旨	大正　年　月　日		大正　年　月　日		大正　年　月　日		月日		

技術員印

第五號樣式

馬匹牽出通知竝施術馬匹宿泊許可簿

所有者又ハ管理者住所氏名	去勢馬匹牽出通知			馬匹宿泊許可		
	牽出月日	摘要	取扱者印	宿泊月日	摘要	取扱者印
郡市町村大字	月日			月日		

號	知	月日	月日	可	月日	月日

●馬匹去勢術練習生志願者アリタルトキ副申方

明治三十五年二月二十六日
內四發一六五號部長通牒

各郡市長宛

本年二月農商務省令第二號馬匹去勢術練習生規則ニ依リ採用志願者有之候場合ニハ左記ノ事項御調査ノ上副申相成度依命此段及通知候也

調査事項

一　志願人及保證人ノ族籍、住所、職業ハ志願書ニ相違ナキヤ否又保證人ハ成年者ニシテ一家計ヲ立ツルモノナリヤ否

二　志願人ノ生年月日ハ履歷書ニ相違ナキヤ否

三　志願人ハ嘗テ處罰ヲ受ケタルコトナキヤ否及其素行ニツキ著シキ事項アリヤ否

●馬匹種類ノ稱呼竝馬匹特徵記載例

明治四十二年七月十七日
告示第二百三十三號

馬匹種類ノ稱呼竝馬匹特徵記載例別紙ノ通定メ自今之ニ據リ處理スヘキ旨馬政長官ヨリ通牒アリタリ

馬匹種類ノ稱呼

一、洋種

外國種ノ總稱ニシテ種類ノ原名明瞭ナルモノハ其ノ名稱ヲ用フ

〔滋賀令〕

例

サラブレッド　アラブ　アングロアラブ
ギドラン　トロッター　ハクニー
ノーニウス　アングロノルマン　ペルシユロン
プラバンソン　クライデスデール　等

各種類ノ馬匹ニシテ原產地以外ニ於テ同種繁殖ニヨリ生產シタルモノハ種類名ノ上ニ產地名ヲ冠ス

例

濠洲產サラブレッド　內國產ハクニー

純血種系ノ種類ニ純血種ヲ配合シテ生產シタルモノハ其ノ種類名ヲ變スルコトナシ

例

アングロノルマン
サラブレッド　ノ子　アングロノルマン

アングロアラブ
サラブレッド又アラブ　ノ子　アングロアラブ

サラブレッド
ハクニー　ノ子　ハクニー

異種繁殖ニヨリ生產シタルモノ及種類名ナキモノハ單ニ洋種ト稱シ產地名ヲ冠ス

例

サラブレッド
プラバンソン　ノ子　ハクニー
ノーニウス　ノ子

濠洲產馬
トロッター　ノ子ノ類ハ總テ何地產洋種ト稱ス

二、和種

內國產ニシテ洋種ノ血液ヲ混セサルモノヲ謂フ

三、雜種

和種ト洋種トノ血液相混シタルモノヽ總稱ニシテ種類名ノ明瞭ナル洋種ノ血量半以上ヲ有スルモノハ其ノ名ヲ冠ス

例

サラブレッド
和種　ノ子サラブレッド雜種

ハクニー
サラブレッド雜種　ノ子ハクニー雜種

アングロノルマン雜種
アングロノルマン雜種　ノ子アングロノルマン雜種

ハクニー雜種
アングロノルマン雜種　ノ子雜種

ハクニー雜種
和種　ノ子雜種

雜種
和種　ノ子雜種

馬匹特徵記載例

一、白毛

頭

額刺毛（ヒタヒサシケ）　額ニ生シタル少數ノ白毛ヲ謂フ

星（ホシ）　額ノ中央ニ存スル白斑ニシテ其著シク小ナルヲ小星（コホシ）ト謂フ

〔滋賀令〕

流星（ナカレホシ）　星ノ長ク下方ニ延タルモノヲ謂フ

鼻白（ハナシロ）　鼻端ニ存スル白斑ヲ謂フ

肢跡

白（ハク）　肢ノ下端ニアル白斑ニシテ其ノ稱呼左ノ如シ

左右前一白　前二白　左右二白
左右前左右後二白　左右後一白　後二白
左右前後三白　前左右後三白　四白

但シ白ノ完カラサルモノハ之ヲ半白（ハンハク）ト謂フ

二、瘢痕

瘢痕（キズアト）　創傷ニヨル禿痕ヲ謂フ疵白又ハ瘢痕ノ前膝ニアルモノハ特ニ膝ト謂フ

岩陷（イハオチ）　筋肉ノ一部窪ミテ皮上ニ陷凹ヲ呈セルモノヲ謂フ

瘢痕及岩陷ハ其ノ部位ヲ併記ス

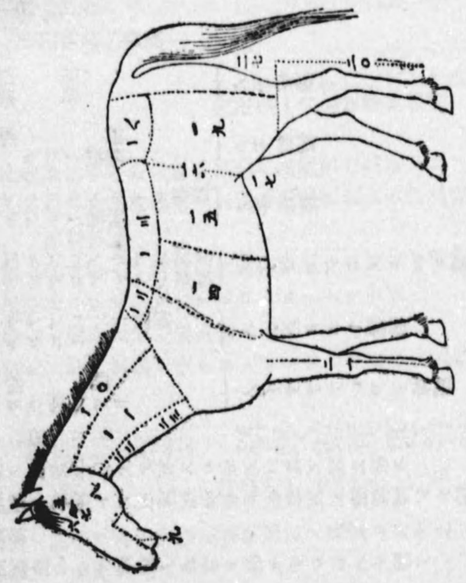
三、烙印

頸、軀、肢等ノ一部ニ烙印アルモノハ部位ト烙印ノ形狀トヲ併記ス

右ノ外局所ノ刺毛（サシケ）、異毛（カハリケ）先天、創傷ノ別ナク局部ニ生シタル異色毛ヲ謂フ裂（截）痕等ニシテ特徵トナルヘキモノハ之ヲ記載スヘシ

四、旋毛

旋毛ノ部位及名稱左ノ如シ



圖解	名稱		位置	摘要
	一	血醉（ケツスイ）	額部兩耳ノ下線以上	中央ヨリ偏スルトキハ上、下、左、右
	二	蓬萊（ホウライ）	兩耳ノ下線ヨリ兩眼上線ニ至ル	中央ヨリ偏スルトキハ上、下、左、右、二個並フ時ハ日月、三個ナレハ三光
	三	珠目（シユモク）	兩眼上線ヨリ鼻梁中央線ニ至ル	中央ヲ正トシ偏スルトキハ上、下、左、右、二個アルトキハ二列又上下
	四	華粧（ケサウ）	鼻梁中央ヨリ鼻孔ニ至ル	中央ヲ正トシ偏スルトキハ上、下、左、右
	五	面山（メンサン）	兩耳外側ヨリ眼側ニ至ル	
	六	見上（ケンジヨウ）	眼上	
	七	眼下（メシタ）	眼下	
	八	頰辻（ホホツジ）	頰ノ後部一圓	
	九	轡搦（クツハガラミ）	頰ノ前方鼻孔下ニ至ル一圓	
	一〇	髮中（カミナカ）	耳下ヨリ髻甲前端ニ至ル上緣部	上、下又ハ長
	一一	頸中（クビナカ）	中央頸部	同
	一二	押（オサヘ）	髻甲部	
	一三	鞍下（クラシタ）	背部	
	一四	鐙端（アブミノハナ）	肋ノ前半部ヨリ腹ニ至ル	上、下
	一五	芝引（シバヒキ）	肋ノ後半部ヨリ腹ニ至ル	同
	一六	芭蕉（バセウ）	膝部	同

〔滋賀令〕

〔滋賀令〕

	一七	骨正（コツセイ）	芭蕉ノ下端	
	一八	矢負（ヤオヒ）	尻部	
	一九	馴寄（ジユンキ）	股部	
	二〇	沙流上（サルノボリ）	脛及管部	上、下又ハ個數
	二一	初地（シヨチ）	前膊及管部	同
	二二	吭搦（フエカラミ）	咽喉部ヨリ頸下緣三分ノ一ニ至ル	同
	二三	波分（ナミワケ）	頸下緣三分ノ一以下頸礎ニ至ル	上、下又ハ長
	二四	柏生（ハクセイ）	胸前兩側下部	一定ノ形狀ヲ缺クトキハ大、小
	二五	雙門（サウモン）	胸前兩側上部	
	二六	浪門（ラウモン）	胸前中央	上、下又ハ個數
	二七	後雙門（ウシロサウモン）	臀部	

旋毛ハ特徴トナルヘキモノ三點以上ヲ記載スヘシ

左右對等ナルヘキ旋毛ニシテ一側ヲ缺クトキハ左又ハ右ト記スヘシ

●滋賀縣畜產獎勵規則

大正九年二月十四日
縣令第八號

沿革　大正一五年七月縣令第五一號改正

滋賀縣畜產獎勵規則左ノ通之ヲ定ム

畜產獎勵規則

第一條　郡市農會又ハ畜產組合ニシテ左記各號ノ一ニ該當スル事業ヲ行フトキハ豫算ノ範圍內ニ於テ獎勵金ヲ下附ス

一　種牡牛ノ設置又ハ牛ノ改良蕃殖ニ關スル事業

二　牛ノ飼育增殖又ハ肥育普及ニ關スル事業

三　畜產ニ關スル試驗又ハ飼料改良ニ關スル事業

四　牛馬耕ノ獎勵又ハ厩肥改良ニ關スル事業

五　畜產ニ關スル講習會講話會ノ開設
六　畜產ニ關スル品評會共進會ノ開設
七　其他畜產ノ改良發達ニ關シ必要ト認ムル事業

第二條　奬勵金ノ下附ヲ受ケムトスルトキハ左ノ書類ヲ添付シ毎年五月三十一日迄ニ知事ニ申請スヘシ

一　事業費豫算書
二　事業ノ實行方法書

第三條　前條ノ事業費豫算又ハ實行方法ヲ變更シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ遲滯ナク知事ニ報告スヘシ

第四條　奬勵金ノ下附ヲ受ケ施行スヘキ事業ニシテ左ノ事項ハ當廳ノ指揮ヲ受クヘシ

一　種牡牛ノ購入、選擇及廢止、變更
二　優良種牡牛及種付牝牛ノ選擇
三　其他特ニ指定シタル事項

期日及場所ヲ定メテ施行セムトスル事項ハ豫メ當廳ニ報告スヘシ

前二項ノ外施行事業ニ對シ特ニ必要ト認メタル事項ハ其ノ都度報告ヲ徵スルコトアルヘシ

第五條　奬勵金ハ同一區域內ニ在リテハ同種ノ事業ニ對シ二個以上ニ之ヲ下附セス但シ事業ノ種類ニ依リ必要ト認メタルトキハ此限ニ在ラス

第六條　奬勵金ノ下附ヲ受ケ施行シタル事業ノ成績ハ翌年四月三十日迄ニ知事ニ報告スヘシ

第七條　豫定事業又ハ指示事項ヲ施行セサルトキハ奬勵金ノ下附ヲ取消シ既ニ下附シタル奬勵金ノ全部又ハ一部ヲ返納セシムルコトアルヘシ

附　則

本則ハ大正九年四月一日ヨリ施行ス

第四章　商工業組合及農業倉庫

●市場取締規則

明治十九年一月二十八日
甲第三號

沿革　明治二〇年一二月縣令第二四九號、二一年三月第二九號、二七年六月第三三號、四一年一二月第八二號改正

市場取締規則別紙ノ通相定メ候條從來開設致候繼續セントスルモノハ來ル二月二十八日迄ニ夫々決定ノ上本廳へ可申出此旨布達候事

但明治十五年一本縣甲第十五號第三條第一項及同年同月甲第十六號布達ハ廢止候事

別紙

市場取締規則

第一條　市場ヲ分テ左ノ三種トナス

第一種　常ニ時日及場所ヲ定メ賣買主ノ中間ニ立チ物品ノ競賣ヲナスモノ

第二種　常ニ時日及場所ヲ定メ物品ノ出賣ヲナスモノ

第三種　臨時前二種ノ市場ヲ開設スルモノ

但營業ニアラサル自家ノ物品ヲ一時競賣スルモノハ此限ニアラス

第二條　第一種ノ市場ヲ開設セントスルモノハ左ノ各項ニ據リ規程ヲ定メ縣廳ノ許可ヲ受クヘシ

但規程ヲ變更セントスルトキハ縣廳ノ認可ヲ受クヘシ

一　賣品ノ種類及取扱手續
一　開市ノ日時竝ニ市場ノ位置
一　物品受渡順序
一　口錢其他手數料等ノ定額
一　賣上金ノ收入及荷主ヘ勘定ノ手續

一　前各項ノ外市場ニ關スル規程

第三條　第二種ノ市場ヲ開設セントスルモノハ前條第一項第二項第四項（若シ之アラハ）第六項ニ據リ規程ヲ定メ縣廳へ願出許可ヲ受クヘシ

第四條　第三種ノ市場ヲ開設セントスルモノハ其位置及開市ノ時日竝賣品ノ種類等ヲ詳記シタル書面ヲ以テ所管警察署又ハ分署へ願出許可ヲ受クヘシ

第五條　第一種及第二種ノ市場開設ノ許可ヲ得又ハ廢業シタル時ハ其旨所管警察署又ハ分署へ屆出ヘシ

第六條　同町村及隣接町村ニ於テ同性質ノ市場ヲ開設スルモノニシテ營業上保護ニ必要ト認ムルトキハ特ニ免許區域ヲ指定シ又ハ雙方へ規約ノ締結ヲ命スルコトアルヘシ若シ其命ヲ拒ミ又ハ遷延スルトキハ其一方若クハ雙方ノ市場ヲ停止スヘシ

第七條　第二種ノ市場ヲ開設スルニ多人數組合若クハ數町村相合スル時ハ相當ノ役員ヲ定メ市場ニ關スル取締ノ責ニ任セシメ且其住所姓名ハ縣廳及所管警察署又ハ分署へ屆出ヘシ

第八條　第一種ノ市場ヲ開設スルモノハ每年一月中其前年分市場ノ景況及賣上金高口錢手數料等ノ明細表ヲ製シ縣廳へ報告スヘシ

第九條　第一種第二種ノ市場ヲ廢業シタルトキハ其旨縣廳へ屆出ツヘシ

第十條　此規則第二條第三條第四條第五條ニ違背シタルモノハ違警罪トシ三十日未滿ノ拘留ニ處シ又ハ二十圓未滿ノ科料ニ處スヘシ

●家畜市場法施行細則

明治四十四年一月二十八日
縣令第十號

沿革　明治四五年二月縣令第一三號、大正九年二月第七號、一一年一月第二號、一五年七月第五七號改正

第七類　勸業、權度、氣象及測候　第四章　商工業組合及農業倉庫　三二三

家畜市場法施行細則左ノ通之ヲ定メ明治四十四年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

家畜市場法施行細則

第一條　常設家畜市場及定期家畜市場ハ其ノ構造及設備ニ對シ當廳ノ檢査ヲ受クルニ非サレハ之ヲ其ノ業務ノ爲使用スルコトヲ得ス

變更シタルトキ亦同シ

第二條　家畜市場法第四條ニ依リ私設家畜市場ノ廢止ヲ申請スルトキハ其ノ必要ト認ムル地區及市場名竝其ノ事由ヲ具シタル申請書ヲ差出スヘシ

第三條　家畜市場法第五條第二項ニ依リ補償金額ノ決定ヲ求ムルトキハ左ノ事項ヲ具シタル申請書ヲ差出スヘシ但シ連署ヲ妨ケス

一　協議ノ調ハサル事由
二　雙方主張ノ補償金額及其ノ算出ノ基礎

第四條　家畜市場法第七條第一項但書ノ行政官廳ハ其ノ區域ヲ管轄スル警察署長トス

第五條　家畜市場法第九條ニ依リ指定シタル區域內ニ於テハ牛馬宿ニ於ケル賣買交換ヲ禁止ス

第六條　家畜市場法施行規則第七條ニ依ル臺帳ハ第一號樣式ニ準シ調製スヘシ

家畜市場ノ開設者ハ其ノ市場ニ於テ賣買若ハ交換シタル家畜ニ對シ第一號樣式符票（入場證票）ヲ交付スヘシ

前項符票ハ屠畜ノ場合ハ屠畜檢查官吏又ハ立會警察官吏ニ提出スヘシ

第七條　家畜市場法施行規則第九條ニ依ル獸醫ノ住所氏名ハ之ヲ當廳ニ屆出ツヘシ其ノ變更ヲ生シタルトキ亦同シ

第八條　定期家畜市場ニ於テハ檢查所、賣場、隔離所及汚物溜ヲ設ケ其ノ構造設備ハ左ノ各號ニ依ルヘシ但シ市場ニ家畜ヲ宿泊セシムルモノニ在

リテハ第三號ニ依ル畜舍ヲ設クヘシ

一　檢査所ハ家畜ノ健康檢査及治療ニ必要ナル設備ヲ爲スヘシ

二　賣場ハ屋根ヲ設ケ石材、煉瓦、厚板又ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ地盤ヲ造リ六十分一ノ勾配ヲ附シ汚物溜ニ通スル汚水溝ヲ設クヘシ但畜舍ニ於テ賣買交換スル場合ハ賣場ヲ設ケサルコトヲ得

三　隔離所ハ石材、煉瓦、厚板又ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ地盤ヲ造リ六十分ノ一ノ勾配ヲ附シ其ノ内壁ハ石材、煉瓦、金屬板其ノ他不滲透質ノ材料若ハ厚板ヲ以テ四尺以上ノ腰張ヲ爲シ適當ノ窓ヲ設ケ欄房ノ前後ニ各三尺以上ノ通路ヲ附シ欄房ハ牛馬一頭毎ニ犢駒羊豚ハ適宜ニ之ヲ隔劃シ尿溜ヲ設クヘシ

四　汚物溜及尿溜ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ造リ覆蓋ヲ設ケ雨水ノ浸入ヲ防クヘシ

臨時家畜市場ニ於テハ前項第一號ニ依ル檢査所及舍內ニ於テ賣買交換ヲ爲スニ足ルヘキ畜舍ヲ設クヘシ

第九條　家畜市場ノ仲立業者タルノ認可ヲ受ムトスル者ハ家畜市場法施行規則第十三條第二項各號ニ該當セサル者タルコトヲ證スル所屬市町村長ノ證明書ヲ添ヘ申請書ヲ差出スヘシ

（第一號樣式）

市場　畜舍籍　牝　牡　牛、犢、馬、羊、豚　閹

入場　檢査印㊞　號

畜主管理者　縣　郡市　町村　氏　名

飼養地　用途　役用　乳用

種類　改良和種　ホルスタイン種　ヨークシャー種　何々種

年齡　何歲

毛色　何毛

體高重量　何尺何寸　何貫

產地　何地

（滋賀令）

第十條　家畜市場法施行規則第十三條ニ依リ仲立業者タルノ認可ヲ與ヘタル者ニハ第二號樣式ノ認可證ヲ下付ス

前項ノ認可證ヲ毀損亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ再渡方ヲ申請スヘシ

第十一條　家畜市場ノ仲立業者其ノ業務ヲ行フ場合ハ前條ノ認可證ヲ携帶スヘシ

第十二條　常設家畜市場及定期家畜市場開設者ハ每月其ノ取扱事項ニ付第三號樣式ニ準シ翌月十日迄ニ之ヲ當廳ニ報告スヘシ

臨時家畜市場ノ開設者ハ市場開設ノ都度閉場後十日以內ニ前項ノ報告ヲ爲スヘシ

第十三條　家畜市場法及家畜市場法施行規則竝本則ニ依リ當廳ニ差出ス書類ニハ所屬町村役場、市役所ヲ經由スヘシ

第十四條　第一條、第十一條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第十二條ノ報告ヲ爲サス若ハ虛僞ノ報告ヲ爲シタル者ハ貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス

附則

家畜市場法施行前本縣市場取締規則ニ依リ許可シタル家畜市場ノ開設者ハ明治四十四年二月十日迄ニ第七條ノ屆出ヲ爲スヘシ

（滋賀令）

臺帳符號

年月日	摘要	價額	取引	備考
		圓錢	交換差金	
		圓錢	入場料	
		圓錢	市場料	
		圓錢	仲立料	
		圓錢	其他	
		圓錢	計	

入場證票

割印……

年月日	畜籍	入場號	買人交換人	用途	年齡	毛色	備考
	牝牡 牛 閹 馬犢羊豚						
			縣	種類			
			何用	何種	何歲	何毛	

買人交換人　縣　郡市　町村　氏　名（又ハ商號）

摘要　月日　交換（賣買）　精算濟

……切……込……

（第二號樣式）

賣買	交換人	縣	郡市	町村	名（又ハ商號）	市場取引證印	印

備考

一、入場、賣買、交換頭數及價格月報ハ何市場ノ分ニテモ一括シテ提出スルコトヲ得

二、入場番號中檢印ハ市場取締ノ檢查濟ヲ證シ認印ハ同取引欄內ニ於テ記入スヘシ

三、取引欄內交換差金ハ交換ニ依リ生シタル追加金ヲ記入スヘシ同欄內其ノ他ハ當該市場ニ於テ收支スヘキ科目ヲ記入スヘシ

四、摘要欄內各目ハ其ノ約入決算濟ノモノニ限リ精算印ヲ捺スモ差支ナシ

五、備考欄ニハ交換家畜ノ番號或ハ該畜ニ關スル事故取引其ノ他必要ノ事項ヲ記入スヘシ

六、畜主管理者賣買交換人ノ定例アルモノハ單ニ商號チ記スルモ差支ナシ

（第二號樣式）

（滋賀令）

縱三寸五分　橫二寸三分

第　號	
一家畜市場仲立業認可證	縣郡（市）町（村）大字何番地 氏名
明治　年　月　日下付	
滋賀縣印	賣

（第三號樣式）

（滋賀令）

一　入場、賣買、交換頭數及價格月報

何市場　（何月分）

（一）畜牛

種類	用途	種	肉用			役用			乳用			外國種	肉用			役用			乳用		
		性	牡	牝	犢	牡	牝	犢	牡	牝	犢		牡	牝	犢	牡	牝	犢	牡	牝	犢
	成牛ノ又ハ別																				
入場頭數																					
賣買頭數																					
賣買價額																					
價格	最高																				
	最低																				
	平均																				
交換頭數																					

種類			內國種												備考
			肉用			役用			乳用			計			
			犢	成牛		犢	成牛		犢	成牛					
			牡	牝	牡	牝	牡	牝	牡	牝	牡	牝			
															產地別頭數(本縣產何頭、何縣ヨリ何頭) 牽付地別頭數(本縣內ヨリ牽付數何頭、何縣ヨリ牽付數何頭)

(二) 馬匹

種類			洋種						雜種						備考
			牡			牝			牡			牝			
			當歲	二歲	三歲以上	當歲	二歲	三歲以上	當歲	二歲	三歲以上	當歲	二歲	三歲以上	
入場頭數															
賣買頭數															
賣買總價額															
一頭ノ價格	最高														
	最低														
	平均														
交換頭數															

〔滋賀令〕

種別			和種						合計						備考
			牡			牝			牡			牝			
			當歲	二歲	三歲以上	當歲	二歲	三歲以上	當歲	二歲	三歲以上	當歲	二歲	三歲以上	
入場頭數															
賣買頭數															
賣買總價額															
一頭ノ價額	最高														
	最低														
	平均														
交換頭數															

(三) 羊、豚

種別			綿羊						山羊		
			計		其他		肉用		肉用		
			牡牝	牡牝	牡牝	牡牝	牡牝	種用	牡牝	種用	
入場頭數											
賣買頭數											
賣買總價額											
一頭ノ價額	最高										
	最低										
	平均										
交換頭數											

備考	豚								
	計	其他用		內用		種用		計	其他
	牡牝	牡	牝	牡	牝	牡	牝	牡牝	牡牝
産地別頭數（本縣内産何ヨリ頭、本縣何産何頭何縣ヨリ本年何頭移入數）									

二　家畜市場法施行規則第八條但書ニ依ル承認件數　羊馬若干　豚匹牛何何何　件件件

三　仲立業者ノ住所氏名

縣郡（市）町（村）大字　氏

（以下連名ノコト）　名

四　市場ノ狀況（狀不振並ニ其ノ原因等）

若及報告候也

明治　年　月　日

縣郡（市）町（村）大字　何家畜市場開設者　氏　名㊞

（裏面）

（備考）

一　本様式中價トアルハ生後滿一年以内ノモノヲ云フ

二　仲立業者ノ住所氏名ハ當月其ノ市場ニ於テ仲立シタル者ニ付記載スヘシ

●家畜市場ニ關スル件

動第二〇四八號　明治四十四年四月二十一日　内務部長通牒

一、左記各部内家畜市場開設者ニ御示達相成度右及通牒候也　各郡市長宛

家畜市場法施行規則第七條ニ依ル（家畜市場法施行規則第六條參照）

二、家畜市場仲立業者ノ認可ハ各府縣廳限リ之ヲ取扱ニ付他縣ニ於テ認可ヲ經タル仲立業者カ縣下ニ於テ仲立ヲ爲ス場合ハ更ニ當廳ノ認可ヲ要スル儀ニ付右取扱ハシメラレ度

三、家畜市場法施行細則第十二條第一項ニ依ル報告書ハ往々失期ノモノ又ハ何月分ヲ翌月十日不明ノモノ有之候條向後何月分ヲ翌月十日限リ提出セシメラレ度

●直接農商務省へ提出セシ書類ノ

謄本差出方　縣令第六十號　明治三十一年九月二十一日

農商務省ニ提出スル左記ノ書類ハ自今提出後直ニ其謄本ヲ當廳ニ差出スヘシ

（追加）　明治三十二年六月縣令第三二號改正

但提出後該書類中記載ノ事項ヲ變更シタルトキ亦同シ

一　（削除）

二　取引所ヨリ提出スル左記ノ報告

一、毎日公定相場表

一、毎月賣買高表

一、毎月商品集散及商況報告

一、毎月收支計算表

一、毎半季財産目錄

一、毎半季貸借對照表

一、毎半季損益計算表

一、毎半季末日現在會員株主住所氏名表

三　商業會議所會員役員ノ就任退任届書

●定時總會ニ承認ヲ得タル書類ノ

謄本差出方　縣令第三十二號　明治三十二年六月二十九日

株式會社ニ於テ銀行、取引所ヲ除ク）商法第百九十條ニ揭ケル書類ヲ定時總會ニ於テ承認ヲ得ルトキハ遲ニ其謄本ヲ當廳へ差出スヘシ

●大津ニ於ケル物價及賃錢表報告

方　明治三十一年一月二十五日

明治三十二年(六月)農商務省統第一二號達ニ依リ大津ニ於ケル物價及賃錢ノ高低ヲ調査シ主務省ヘ報告シタルトキハ直ニ同樣式ニ依リ當廳ヘモ報告スヘシ

大津商業會議所宛

●大津ニ於ケル玄米外五品平均物價表差出方

明治三十三年七月二十六日
第百六十五號

大津市ニ於ケル別表記載ノ物品ノ時價必要ニ付每月平均相場取調ヘ明治三十一年四月以降本年七月ニ至ル分ハ此際取纏メ本年八月以降ノ分ハ翌月二十日迄ニ報告スヘシ

右訓令ス

明治何年何月大津市平均物價表

品目	單位	價格	備考
玄米			軍隊用
精米		〃	
大麥		〃	馬糧
千草		〃	〃
藁		〃	〃
堅炭		〃	〃

●銀行定款變更ノ場合心得方ノ件

【滋賀令】

明治三十六年十月一日
內四第七四九一號內務部長通牒

(郡)市長宛

銀行ニ於テ定款ヲ變更シタル場合ニ往々何レノ條項ヲ變更シタルカヲ明示セス單ニ全部ノ改正定款ヲ提出スルモノ有之候處向後ハ變更條項ヲ明記シ且當該舊規定ヲモ併記シ差出ス樣致シ度依命此段及通牒候也

●金融概況月報票ニ關スル件

昭和二年五月六日
商第二九九二號內務部長通牒

各銀行代表者宛

從來提出相成標記月報票ハ翌月十日迄ニ其ノ筋ヘ提出ノ筈ノ處貴行ニ於テハ右月報票提出ニ當リ責任者ニ於テ計數ヲ正確ニシ字體ヲ明瞭ナラシメ所定ノ期日迄ニ提出スルコトニ努メ居ラレル儀トハ存候ヘ共客年七月以降ノ實績ニ徵スルニ提出ヲ遲怠スルモノ字體計數ノ不明不正確ナルモノ有之遺正確ト迅速トヲ尊フ斯種統計資料ニ關スル報告ノ價値ヲ減殺セルハ甚タ遺憾トスル所ニ有之候ニ付テハ爾今月報票ノ提出ニ際シテハ重役又ハ支配人ニ於テ前記諸點ヲ十分審査シ之カ證左トシテ月報票記載銀行名末尾ニ認印ノ上當局ノ督促ヲ俟タス必ス翌月十日迄ニ提出相成度右其ノ筋ヨリ通牒ノ次第モ有之候條御嚴守相成度候

●商法第七十八條第二項ノ準用ニ依ル公告方法ニ關スル件

昭和二年十月二十一日
商第四四六五號內務部長通牒

各銀行代表者　各無盡會社代表者
近江信託株式會社代表者宛

【滋賀令】

從來株式會社タル銀行、信託會社、無盡會社及有價證券割賦販賣會社ノ資本減少又ハ合併ヲ爲ス場合ニ於ケル商法第七十八條第二項ノ準用ニ依ル公告方法ハ商法施行法第三十三條ニ依リ裁判所カ登記事項ヲ公告スル方法ニ依ラシメ來リ候處右ハ當該會社ノ定款ニ定メタル公告方法ニ依ラシムルコトニ今般大藏省議決定相成趣其ノ筋ヨリ通牒有之候

●無盡事業方法書ニ關スル件

昭和二年三月十八日
商第七三八號內務部長通牒

各無盡株式會社長宛

無盡事業方法書ニ記載スル豫定收支計算書中往々一組ノ無盡ノ各回每ニ契約給付金額ニ差等ヲ設ケ居ルモノモ有之候得共右ハ最低手取金額ニ制限ヲ加ヘタル趣旨ニ反スル場合ヲ生スルヲ以テ一組ノ無盡ノ給付金額ハ均一トシテ調製セシムルコトニ決定相成候條從來一組ノ契約給付金額ニ差等ヲ付シ居ルモノハ新規募集ヲ中止セシメラレ度旨其ノ筋ヨリ通牒有之候條御含置相成度

●事業報告書作製ニ關スル件

昭和二年十一月十日
商第四九五九號內務部長通牒

各無盡會社長宛

事業報告書中ニハ其ノ勘定科目名ニ依リ直ニ其ノ性質ヲ見分得サルモノ往々有之候ニ付爾今無盡業法施行細則附屬雛形ニ例示スル勘定科目以外ノ科目ヲ設ケタル場合ハ營業報告書中當該勘定內譯ノ項ニ備考欄ヲ設ケ其ノ性質ヲ明記相成度其ノ筋ヨリ通牒ノ次第モ有之

追テ本件ニ付テハ昭和二年下期ヨリ實行相成度尙每期提出スル貸借對照表中ニ掲上スル諸勘定中營業報告書中ニ掲記ナキモノ往々有之候得共右ハ營業報告書中ニモ口座ヲ設ケ他ノ口座ノ例ニ準シ內譯ヲ記載スヘキ儀ニ付爲念申添候

●營業稅廢止ニ伴フ善後處置ニ關スル件

大正十五年十二月二十一日
商第七〇六四號內務部長通牒

大津商業會議所會頭宛

營業稅廢止ニ伴フ善後處置ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ本年七月九日付商第五三七九號ヲ以テ通牒致置候處尙營業收益稅實施後ニ於ケル法人ノ議員選舉權ノ決定方ニ付テハ左記ノ通處理スヘキ樣其ノ筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度

記

一、法人ノ一事業年度カ一年ヨリ短キトキハ營業收益稅實施ノ日ヲ含ム事業年度ノ初日ヨリ起算シ一年ニ相當スル各事業年度ニ對スル營業收益稅ヲ合算シタルモノカ商業會議所法施行規則第七條ノ制限ニ達スルヤ否ヤニ依リ右期間內ニ於ケル選舉權ノ有無ヲ決ス

一、法人ノ大正十六年一月一日以後ニ終了スル事業年度ノ期間カ大正十五年ニ跨ルモノニ付テハ當該事業年度ニ對スル營業收益稅額ニ之ヲ標準トシテ月割計算ノ方法ニ依リ大正十五年ニ跨タル月ニ對スル割合額ヲ算出加算シタル額ヲ以テ當該事業年度ニ於テ右法人カ納ムル營業收益稅額ト看做ス

●輸出羽二重開業戶數其他製產高報告方

明治三十八年三月十六日
內四第一六一一號內務部長通牒

(郡)市長宛

輸出羽二重製織ニ從事スルモノニシテ明治三十七年下半期ニ於ケル新規開業ノ戶數及其他別表(第一表)竝ニ三十六年下半期三十七年下半期間ノ生産高價額其他別表(第二表)記載ノ事項至急承知致度候ニ付テハ御部內ニ於ケル當該事項御取調ノ上來ル二十五日迄ニ御回報相成度此段及照會候也

追テ本文ノ事項ハ今後前半期ニ御報告相成度右申添候也

(第一表)

輸出羽二重製織新規開業戶數其他調

生産者住所氏名	開業年月日	生産地名	機數	職工數 男	職工數 女	數量	價額

(第二表)

輸出羽二重生産戶數其他調

三十六年下半期戶數	機數	職工數	數量	價額	三十七年下半期戶數	機數	職工數	數量	價額	備考

附記

一開業以來ノ狀況(原料ノ供給製品ノ實測及販路事業奬勵ニ關スル施設等)

一其他參考トナルヘキ事項

●輸出莫大小製品檢查規則

大正七年八月十日
縣令第三十六號

輸出莫大小製品檢查規則左ノ通相定ム

第一條　本縣ニ於テ製造シタル左記莫大小製品ニシテ營利ノ目的ヲ以テ輸出スルモノハ本則ノ定ムル所ニ依リ檢查ヲ行フ

一　肌衣
一　手袋
一　靴下

第二條　檢查ヲ受ケムトスルモノハ左記事項ヲ具シ知事ニ出願スヘシ

一　製品ノ種類
二　受檢數量
三　製造場所
四　受檢月日
五　輸出港
六　仕向地

第三條　檢查ハ製造場所又ハ檢查事務ニ從事スル吏員ノ適當ト認ムル場所ニ於テ荷造ノ際之ヲ行フ

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ不合格トス

一　商慣習ニ合致セサル寸法ニ仕立テタルモノ但シ正當ノ事由アルモノヲ除ク
二　組合物ニシテ品位、形狀又ハ大サ著シク不同ナルモノ
三　甚シク粗笨ナル生地又ハ不當ニ引延シタル生地ヲ使用シタルモノ
四　厚サ均等ナラサルモノ
五　精練、漂白、染色、起毛若ハ整理著シク不良ナルモノ又ハ容易ニ變色若ハ褪色スルモノ
六　瑕疵、汚染、其他ノ缺點目立ツモノ
七　縫目粗雜ナルモノ纖弱ナル縫絲ヲ使用シタルモノ又ハ生地ノ伸度ニ

副ハサル縫合ヲ爲シタルモノ
八　人造絹絲ヲ使用シテ其ノ旨ヲ明示セサルモノ
九　紐鉤其ノ他附屬品ノ品質著シク不良ナルモノ又ハ其ノ附方亂雜ナルモノ
十　著シク粗惡ナル原料ヲ使用シタルモノ又ハ不正ノ加工ヲ爲シタルモノ
十一　前各號ノ一ニ該當スルニ至ラサルモ前各號ヲ參酌シ實用ニ適セスト認ムルモノ

第五條　檢查合格シタルモノニハ其ノ輸出荷造ノ外裝ニ第一號樣式ノ檢查合格證票ヲ貼付ス

第六條　檢查合格證票貼付後荷造ノ外裝ヲ改メムトスルトキハ其ノ旨知事ニ屆出指示ヲ受クヘシ檢查合格證票ヲ毀損又ハ亡失シ其ノ再貼付ヲ要スル場合亦同シ

第七條　吏員檢查事務ヲ執行スルトキハ第二號樣式ノ證票ヲ携帶ス

第八條　吏員必要アリト認ムルトキハ檢查濟ノ製品ニ付荷造ヲ解裝シ再檢查ヲ行フコトアルヘシ

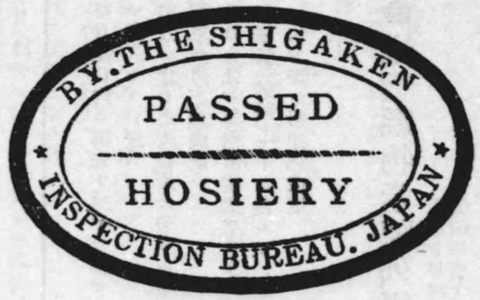
第九條　第六條ノ規定ニ違反シ又ハ前條ノ再檢查ヲ拒ミタルモノハ科料ニ處ス

前項ノ規定ハ法人ニ在リテハ其ノ代表者ニ之ヲ適用ス

附　則

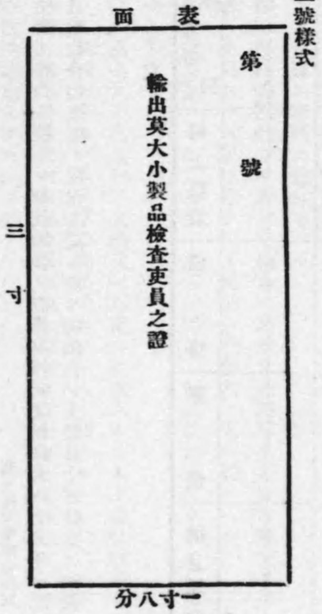
本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式



楕圓形
外圓
長徑六寸五分
外圓
短徑三寸七分
赤色

第二號樣式



裏面

滋賀縣印

●花莚檢査成績通告ヲ望ム者端書豫納方ノ件

明治三十八年七月五日
三勸第一二〇五號第三部長通知
各(郡)市長宛

左記通知候也

花莚檢査成績ハ花莚檢査規則施行細則第十九條ニ㆓リ檢査請求者ニ通知スヘキ規定ノ處荷受人カ檢査請求者タル場合ニ於テ荷送人ニ於テモ其ノ檢査成績ノ通告ヲ望ム向ヘハ特ニ通告スヘク尤モ其費用ハ檢査所ニ於テ支出ノ限リニ無之ニ付通告ヲ望ム向ニ於テ成績通告方請求ト共ニ半箇年又ハ一箇年間ノ豫想ニヨリ相當ノ端書豫納致シ置クヘキ樣當業者ヘ通達方檢査所長ヨリ通知有之候間當業者ヘ可然通達相成リタシ

以上

●主要工產物生產狀況調査ノ件

大正十五年十二月九日
商第七〇二五號內務部長通牒

【滋賀令】

縣內主要工產物ニ關スル消長推移ノ概況承知致度候條大正十五年十二月以降每月貴組合內生產ノ狀況左記ニ依リ御調査ノ上翌月十五日迄ニ御報告相成度

記

生產品ノ種別	同上數量	價格	單價	前月單價
合計				

備考

一　每月期日內ニ調査ヲ完了シ得サルモノニアリテハ見込數量及金額ヲ記入セラレ度

二　前月ニ比シ生產數量ニ著シキ增減アリタルトキハ其ノ主要原因ヲ簡單ニ附記相成度

三　前月ニ比シ單價ニ變動アリタルトキハ其ノ原因ヲ例ヘハ一般市價ノ騰貴(低落)セシニ依ル又ハ原料(工賃)ノ何割方騰貴(低落)セシニ依ル等ト附記相成度

●滋賀縣物產陳列場改稱

大正十年四月一日
告示第百十三號

滋賀縣物產陳列場ヲ滋賀縣商品陳列所ト改稱ス

縣下各同業組合長宛

【滋賀令】

●滋賀縣商品陳列所規則

大正十年四月一日
告示第百十四號

滋賀縣商品陳列所規則左ノ通之ヲ定ム

明治三十六年四月滋賀縣告示第九十七號滋賀縣物產陳列場規則ハ之ヲ廢止ス

滋賀縣商品陳列所規則

第一章

第一條　滋賀縣商品陳列所ハ大津市ニ設置ス

第二條　本所ハ本縣產業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トシ左ノ業務ヲ行フ

一、商品ノ見本及參考品ヲ陳列シ公衆ノ觀覽ニ供スルコト

二、陳列品中縣內ノ生產製造物ニ就テハ當業者ノ委托ニ應シ之ヲ卽賣スルコト

三、商品ニ關スル各種ノ調査ヲナシ又ハ當業者ノ依賴ニ應スルコト

四、商取引ニ關シ各種ノ紹介ヲナスコト

五、縣內當業者ノ產業上必要ナル圖案調製ノ依賴ニ應スルコト

六、巡回陳列ヲ爲スコト

七、產業ニ關スル圖書其ノ他刊行物ヲ蒐集シテ公衆ノ閱覽ニ供スルコト

八、其ノ他商品ノ改良及販路擴張ニ必要ナル事項

第三條　本所ノ陳列品ハ參考品及販賣品ノ二種トス

第一、參考品

一、購入品　本所ニ於テ購入シタルモノ

二、寄贈品　當業者其ノ他ヨリ本所ヘ寄贈シタルモノ

第七類　勸業、權度、氣象及測候　第四章　商工業組合及農業倉庫

三、委托品　當業者其ノ他ヨリ見本又ハ參考トシテ陳列ヲ委托シタルモノ

第二、販賣品

一、當業者ニ於テ販賣ノ爲陳列ヲ委托シタルモノ

第二章

第四條　本所ニ出品若ハ寄贈セムトスルモノハ別記樣式ノ目錄竝說明書ヲ差出シ本所ノ承認ヲ受クヘシ

第五條　左記ノ物品ハ出品若ハ寄贈ヲ承認セス

一、危險ノ虞アリト認ムルモノ

二、風俗壞亂ノ虞アリト認ムルモノ

三、衞生ニ妨害アリト認ムルモノ

四、他ノ物品ニ妨害アリト認ムルモノ

五、陳列ノ價值ナシト認ムルモノ

第六條　出品人若ハ寄贈者ニ於テ第四條ノ承認ヲ得タルトキハ堅牢ナル荷造ヲナシ直ニ本所ニ送付スヘシ

第七條　出品物運送中ニ於ケル損害ニ對シテハ本所其ノ責ニ任セス

第八條　出品人ハ入記目錄ヲ作リ荷送ノ際函內ニ入レ置クヘシ

第九條　販賣品ニハ每品番號、品名、數量、價額產地及出品人氏名ヲ記載シタル附札ヲ添付スヘシ

第十條　出品人ハ出品物ノ交換又ハ返還ヲ請求スルコトヲ得又本所ノ都合ニヨリ陳列ヲ中止シ又ハ撤去交換ヲナサシムル事アルヘシ

第十一條　出品目錄及說明書記載事項ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ本所ニ通知スルコトヲ要ス

第十二條　出品物ノ陳列及裝飾ハ本所ニ於テ適宜之ヲ定ム

第十三條　出品人ハ本所ノ承認ヲ得テ自費ヲ以テ特別ノ陳列及裝飾ヲ施ス事ヲ得

第十四條　出品物ノ荷造、運送ニ要スル費用ハ出品人ノ負擔トス

第十五條　出品物ハ本所ニ於テ相當ノ保護ヲ爲スヘシト雖水、火盜難其ノ他避クヘカラサル事故ニ依リ生シタル損害ハ本所其ノ責ニ任セス

第三章　販賣

第十六條　販賣品ヲ購入セムトスルモノハ其ノ旨看守人ニ申出ツヘシ

第十七條　販賣品ハ卽時現金引換ニ交付スヘシ

第十八條　販賣品ノ賣上代金ハ每月一回精算シテ出品人ニ送付スルモノトス

送金ニ關スル費用ハ出品人ノ負擔トス

第四章　調査及取引紹介

第十九條　商品ニ關シ調査ヲ望ムモノハ其ノ旨本所ニ申出ツヘシ但シ調査ノ事項ニヨリ依賴ニ應セサル事アルヘシ

第二十條　陳列品ノ取引紹介ヲ望ムモノハ其ノ旨本所ニ申出ツヘシ

第二十一條　前二條ノ調査及紹介ニ對シテハ特ニ要スルモノノ外費用ヲ徵セス

第五章　圖案調製

第二十二條　本縣當業者ニシテ其ノ產業上必要ナル圖案ノ調製ヲ望ムモノハ左ノ事項ヲ記載シタル依賴書ヲ差出スヘシ但シ調製ノ必要ナシト認ムルモノ又ハ事故アルトキハ之ニ應セサルコトアルヘシ

一、依賴者ノ住所、職業、氏名

二、圖案ヲ應用スヘキ物品ノ名稱、品質、色彩、寸法、用途

三、圖案ヲ應用スヘキ物品ノ重ナル販路及需用者ノ種類

四、前各號ノ外圖案調製上必要ナル事項

第二十三條　圖案ハ無料ニテ之ヲ交付ス但シ圖案調製ニ要スル材料ヲ提供セシムル事アルヘシ

第二十四條　圖案ハ特ニ必要ヲ認ムルモノノ外同時ニ二種以上ノ依賴ニ應セス

第二十五條　圖案調查上必要アルトキハ其ノ應用スヘキ物品ヲ提供セシムル事アルヘシ

前項物品ノ運送ニ要スル費用ハ依賴者ノ負擔トス

第二十六條　前條ノ物品ハ相當ノ保護ヲナスヘシト雖紛失、毀損ニ對シテハ本所其ノ責ニ任セス

第六章　圖書其ノ他刊行物ノ閱覽

第二十七條　本所ハ產業ニ關スル圖書其ノ他刊行物ヲ備ヘ觀覽人ノ閱覽ニ供ス

第二十八條　圖書其ノ他刊行物ヲ閱覽セムト欲スルモノハ所員ニ申込ミ閱覽後ハ直ニ之ヲ返還スヘシ

第二十九條　閱覽ノ圖書其ノ他刊行物ハ一切室外ニ携帶スルコトヲ許サス

第三十條　閱覽ノ圖書刊行物ヲ紛失、毀損又ハ汚損シタルトキハ本所指定ノ價格ヲ辨償セシムヘシ

第七章　觀覽

第三十一條　本所ノ觀覽時間左ノ如シ但シ時宜ニヨリ之ヲ伸縮シ又ハ臨時觀覽ヲ停止スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ之ヲ門前ニ公示ス

自十月一日　至翌年三月三十一日　午前九時開場午後四時閉場

自四月一日　至九月三十日　午前八時開場午後五時閉場

第三十二條　瘋癲又ハ醉狂者ト認ムルモノ若ハ他ノ觀覽人ノ妨害ヲ爲ス行爲アリト認ムルモノハ入所ヲ拒絕シ又ハ退所セシムルコトアルヘシ

第三十三條　觀覽人ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一、危險物、汚穢物若ハ杖傘等ヲ携帶シ入所スヘカラス

二、所內ニ於テ畜類ヲ率キ若ハ喫煙又ハ喧噪スルコトヲ得ス

三、看守人ノ承諾ヲ經スシテ陳列品ニ手ヲ觸ルヘカラス

第三十四條　觀覽人所內ノ物品ヲ毀損シタルトキハ其ノ損害ヲ賠償セシムルコトアルヘシ

其ノ價格ハ本所之ヲ指定ス

第八章　巡回陳列

第三十五條　本所ハ左ノ場合ニ於テ巡回陳列ヲ行フ

一、縣內實業團體其ノ他ノ請求アリタルトキ

二、本所ニ於テ必要ヲ認メタルトキ

前項第一號ノ場合ニハ其ノ必要ヲ認メサルトキ又ハ事故アルトキハ其ノ請求ニ應セサルコトアルヘシ

第三十六條　前條第一項第一號ノ場合ニハ陳列、看守、運搬ニ關スル經費ハ請求者ノ負擔トス但シ時宜ニヨリ本所ニ於テ其ノ幾分ヲ負擔スルコトアルヘシ

（樣式）

出品目錄

番號	品名	數量	單價	代價	製產人	住所氏名
			圓	圓		

右寄贈（販賣ノ爲出品）（見本トシテ出品）（參考トシテ出品）致度候間承認相成度候也

年　月　日

住所、職業

氏名　㊞

滋賀縣商品陳列所長宛

說明書

一、品名

一、品質

一、用途

一、產地及製造元

一、原料及其ノ產地

一、一ケ年產額

一、一ケ年販賣額

一、本支店所在地

一、商號

一、主ナル需用地名
一、卸直段（割引歩合ヲ記載スヘシ）
一、注文シ得ラルル額
一、其ノ他發明、效用、使用法、製造法等特別ノ說明ヲ要スルモノハ之ヲ詳記スヘシ

●商品陳列所附屬建物貸付ノ場合知事ノ認可ヲ要スル件

明治三十七年四月十五日
訓令第百八號

沿革　大正一〇年五月訓令第二七號改正

內務部　商品陳列所

本縣商品陳列所附屬建物（倶樂部）ヲ貸付セントスル場合ハ所長ハ其事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

●物產陳列場附屬建物貸付期間七日以內ノ場合ハ知事ニ於テ專決處分ノ件

明治三十七年五月五日
議第七五號決議

縣會議事堂同議員控所及物產陳列場附屬建物（倶樂部）ノ貸付ハ其期間七日以內ノ場合ニ限リ府縣制第八十七條ニ依リ縣知事ニ於テ專決處分スルモノトス

（滋賀令）

●滋賀縣工業試驗場位置及名稱

大正八年四月三十日
告示第百五十八號

大正八年五月一日ヨリ滋賀縣工業試驗場ノ位置及名稱ヲ左ノ通之ヲ定ム

名稱	位置
滋賀縣能登川工業試驗場	神崎郡五峰村大字佐野
滋賀縣長濱工業試驗場	阪田郡長濱町大字南吳服

●滋賀縣工業試驗場講習生規程

大正八年三月一日
告示第六十六號

沿革　大正九年三月告示第八九號、一一年四月第一五五號改正

大正五年四月滋賀縣告示第百四十號滋賀縣工業試驗場講習生規程左ノ通改正ス

滋賀縣工業試驗場講習生規程

第一條　機業ニ須要ナル學理及技術ヲ修得セシムル目的ヲ以テ滋賀縣工業試驗場ニ講習生ヲ置ク

第二條　講習生ヲ二部ニ分チ左ノ科目ヲ講習セシム但シ長濱工業試驗場ニ於テハ機織部ノ內圖案大意及圖案部ノ全部ヲ除ク

機織部

機織法總論機織用機械器具論織物原料論織物製造準備工程法織物組織法織物製造法並仕上法圖案大意、ドビー及ジヤカード機使用法力織機使用法　實習

圖案部

意匠資料論　圖案法　配色法　用器畫法　機織法大意　實習

第三條　講習生ノ修業期間ハ六箇月以上壹箇年以內トス

第四條　講習修了後更ニ研究ヲ爲サムトスル者ハ工業試驗場長ニ於テ一箇年以內研究生トシテ在場ヲ許可スルコトアルヘシ

第五條　講習生ハ左ノ資格ヲ有スル男子ニ限ル

一、本縣居住者タルコト
二、年齡滿十五歲以上ニシテ身體强壯、品行方正ナルモノ
三、高等小學校ヲ卒業セシ者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スト認メタルモノ

第六條　講習生ノ募集ハ其ノ都度之ヲ公告ス

第七條　講習生ニハ手當トシテ月額金五圓以內ヲ給與ス

第八條　講習生ノ定員ハ每年度豫算ノ範圍內ニ於テ工業試驗場長之ヲ定ム

第九條　講習生ヲ志願セムトスル者ハ第一號書式ノ願書ヲ工業試驗場長ニ差出スヘシ

第十條　講習生入場ノ許可ヲ得タルトキハ第二號書式ノ保證書ヲ工業試驗場長ニ差出スヘシ

第十一條　身元保證人ハ丁年以上ノ戶主ニシテ工業試驗場長ニ於テ適當ト認メタル者ニ限ル

第十二條　講習生又ハ研究生ニシテ左記各號ノ一ニ該當スルトキハ退場ヲ命スヘシ

一、品行不良ナリト認メタルトキ
二、成業ノ見込ナシト認メタルトキ
三、屢々缺席ヲ爲シ修業ヲ怠リタルトキ

第十三條　講習生所定ノ課業ヲ修得シタルトキハ第三號書式ノ修業證書ヲ授與ス

（第一號書式）

入場願

住所　族籍職業戶主又ハ某子弟
氏名
生年月日

私儀今般貴場講習生トシテ入場致度候ニ付御許可相成度戶主連署履歷書相添此段相願候也

年　月　日

右
氏名㊞
戶主氏名㊞

滋賀縣工業試驗場長氏名殿

履歷書

住所　族籍職業戶主又ハ某子弟
氏名
生年月日

一、何年何月何地何學校ニ入學何年何月卒業又ハ修業ス
一、何年何月ヨリ何年何月マテ何地誰ニ就テ何學ヲ修ム
一、何年何月ヨリ何年何月マテ何地何業ニ從事ス
一、何年何月何々ニ依リ何々ノ賞又ハ罰ヲ受ク

右ノ通リ相違無之候也

年　月　日

右　氏　名㊞

滋賀縣工業試驗場長氏名殿

（第二號書式）

身元保證書

印紙

住所　族籍職業戶主又ハ某子弟

氏　名　生年月日

右者今般貴場講習生トシテ入場御許可相成候ニ付テハ御規程竪ク爲相守可申ハ勿論本人ニ關スル一切ノ事件ハ私ニ於テ引受可申依テ保證書差入候也

年　月　日

住所

保證人　氏　名㊞

生年月日

滋賀縣工業試驗場長氏名殿

（第三號書式）

修業證書

住所

氏　名

右者本場講習生規程ニヨリ六箇月間（又ハ何箇月間）何部ヲ修業シタルコトヲ證ス

年　月　日

場　名㊞

【滋賀令】

●滋賀縣工業試驗場手數料規則

昭和二年三月五日
縣令第十五號

縣會ノ議決ヲ經テ滋賀縣工業試驗場手數料規則左ノ通定ム

滋賀縣工業試驗場手數料規則

第一條　滋賀縣工業試驗場ハ事務ニ支障ナキ場合ニ於テ當業者ノ依賴ニ應シ手數料ヲ徵收シテ染織物ニ關スル製作又ハ加工ヲ行フ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ縣參事會ノ議決ヲ經テ手數料ヲ減免スルコトアルヘシ

第二條　製作又ハ加工ヲ依賴セムトスル者ハ其ノ品名、數量、作業ノ目的及成功ノ期限等ヲ場長ニ申出承認ヲ受クヘシ

前項ノ承認ヲ受ケタルトキハ場長ノ指定ニ依リ其ノ原品又ハ材料ヲ提供スヘシ

第三條　手數料ハ其ノ工程ヲ區分シ別表ノ範圍内ニ於テ知事之ヲ定ム

別表ニ揭ケサルモノノ手數料ハ前項ノ例ニ準シ其ノ都度知事之ヲ定ム

第四條　手數料ハ前納スヘシ但シ相當ノ擔保物件ヲ提供シタルトキハ三月以内延納ヲ許可スルコトアルヘシ

既納ノ手數料ハ之ヲ還付セス但シ知事ニ於テ特別ノ事情アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

【滋賀令】

第五條　手數料ニ付テハ本則ニ定ムルモノノ外ハ滋賀縣稅外收入徵收規則ニ依ル

附　則

本令ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

滋賀縣能登川工業試驗場手數料徵收規程ハ之ヲ廢止ス

別表

一　精練漂白			
綿絲	一瓩ニ付	四錢乃至二十五錢	
麻絲	同	四錢乃至五十錢	
絹絲	同	十錢乃至八十錢	
毛絲	同	三十錢乃至一圓	
綿布	四平方米ニ付	四錢乃至四十錢	
麻布、綿麻交織布	同	六錢乃至六十錢	
蚊帳地	同	二錢乃至二十五錢	
平絹布	一疋ニ付	三十錢乃至八十錢	
縮緬	同	四十錢乃至一圓	
原絲シルケツト	同	十六錢乃至四十錢	
二　染色			
綿絲	一瓩ニ付	六錢乃至二圓七十錢	
麻絲	同	六錢乃至三圓五十錢	
絹絲	同	二十六錢乃至八圓	
人造絹絲、毛絲	同	十錢乃至二圓七十錢	
綿布	四平方米ニ付	十錢乃至二圓	
麻布、綿麻交織布	同	十錢乃至三圓	
蚊帳地	同	四錢乃至一圓	
ベッチン	一疋ニ付	三十錢乃至一圓五十錢	
人造絹絲交織布	同	八十錢乃至二圓	
三　糊付加工			
綿絲	一瓩ニ付	四錢乃至一圓四十錢	
麻絲	同	四錢乃至一圓六十錢	
絹絲	同	一圓乃至二圓五十錢	
人造絹絲	同	壹十錢乃至二圓	
四　撚絲			
綿絲	一瓩ニ付	十六錢乃至一圓四十錢	
麻絲	同	二十六錢乃至二圓二十錢	
絹絲	同	一圓乃至四圓五十錢	
人造絹絲	同	二十錢乃至三圓五十錢	
五　蒸熱			
綿、麻	一立方米一時間ニ付	一圓乃至一圓五十錢	
六　織布仕上			
綿布、麻布、綿麻交織布、人造絹絲交織綿麻布、絹麻又ハ絹綿交織布	四平方米ニ付	二錢乃至八十錢	
天鵞絨	同	八錢乃至二十五錢	
七　織布マーセライズ			